

H51605-22-006-04

【配布先】

核燃料取扱主任者
 ウラン濃縮工場長
 濃縮安全・品質部長（品質保証責任者）
 濃縮運転部長
 濃縮保全部長
 品質保証課長
 運転管理課長
 保全管理課長
 機械保全課長
 電気計装保全課長

日本原燃株式会社

濃縮・埋設事業所 加工施設（ウラン濃縮工場）

使用前事業者検査計画書（第4回、第5回申請）

承認			審査			作成
品質保証課長	運転管理課長	保全管理課長	品質保証課員	運転管理課員	保全管理課員	保全管理課員

改正来歴表

改正 番号	施行日	提案事項（改正内容）および理由	承認 承認日	審査 審査日	作成 作成日
			品質保証課長 運転管理課長 保全管理課長	品質保証課員 運転管理課員 保全管理課員	保全管理課員
03	2022.10.25	<p>1. 別紙記載事項</p> <p>(1) 別紙5 2. 基本設計方針に係る検査について、設備工事の形態が複数あること（設備全体か、部分的か）を反映し、検査項目に係る注釈を細分化した。</p> <p>(2) 別紙5 3. 検査方法選定の考え方について、上記(1)の注釈を反映した。</p> <p>(3) 別紙5 記載の適正化</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>■■■■</p> <p>2022/10/25</p> <p>■■■■</p> <p>2022/10/25</p> <p>■■■■</p> <p>2022/10/25</p>	<p>■■■■</p> <p>2022/10/25</p> <p>■■■■</p> <p>2022/10/25</p> <p>■■■■</p> <p>2022/10/25</p>	<p>■■■■</p> <p>2022/10/25</p>
04	2022.10.26	<p>1. 別紙記載事項</p> <p>(1) 別紙2-2（5回申請設備）以下の対象機器の記載漏れを追記した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 天井走行クレーン(C) ・ 天井走行クレーン(D) 	表紙による	表紙による	表紙による

改正履歴表

改正 番号	施行日	提案事項（改正内容）および理由	承認 承認日	審査 審査日	作成 作成日
			品質保証課長 運転管理課長 保全管理課長	品質保証課員 運転管理課員 保全管理課員	保全管理課員
02	2022.10.12	<p>2. 本文記載事項</p> <p>(1) 本文 2. 本計画書の構成 実績管理について表現を修正した。 (別紙1 データを用いて、から基 づきに修正)</p> <p>3. 別紙記載事項</p> <p>(4) 別紙 1, 2 検査方法の修正（様式-8 修正の反 映）</p> <p>(5) 別紙 1 ・ 検査時期の記入 ・ QA 検査の欄を追加（別紙 1-1 4 回申請、別紙 1-2 5 回申請）</p> <p>(6) 別紙 3 様式-8 リストを最新図書 に更新した。</p> <p>(7) 別紙 4 実績管理について不要部 分を削除した。</p> <p>(8) 別紙 5 2. 仕様表変更の対象で はないが更新等の工事を行うもの について、1号または2号検査を 実施することに修正した。</p> <p>(9) 別紙 5 3. 1号または2号検査 の「検査項目」について、設工認 申請書添付書類(3)に示す内容を 含めて選定するよう修正した。</p> <p>(10) 別紙 5 3. 設定値確認検査につ いて、インターロック検査による 確認から、ループ試験または単体 試験結果等による確認に修正し た。</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>■</p> <p>2022/10/12</p> <p>■</p> <p>2022/10/12</p> <p>■</p> <p>2022/10/12</p>	<p>■</p> <p>2022/10/12</p> <p>■</p> <p>2022/10/12</p> <p>■</p> <p>2022/10/12</p>	<p>■</p> <p>2022/10/12</p>

改正来歴表

改正 番号	施行日	提案事項（改正内容）および理由	承認 承認日	審査 審査日	作成 作成日
			品質保証課長 運転管理課長 保全管理課長	品質保証課員 運転管理課員 保全管理課員	保全管理課員
01	2022.8.17	<p>1. 本文記載事項</p> <p>(1) 本文 2. 本計画書の構成 検査項目および方法の設定についての表現を修正した。</p> <p>(2) 本文 3. 検査時期を「使用前確認申請内容の変更について（2022年7月29日 濃計発第34号）」に基づく時期に変更するとともに、表現を修正した。</p> <p>(3) 本文 4. 検査計画の責任者について 検査実施責任者の指名に係る記録の最新版を反映した。</p> <p>2. 別紙記載事項</p> <p>(1) 別紙3 様式-8リストを最新図書（設工認申請書 4回、5回申請分が網羅された図書）に更新した。</p> <p>(2) 別紙2 上記の最新図書に基づき対象機器、検査方法等を追記および修正</p> <p>(3) 別紙1 別紙2の追記および修正内容を反映</p> <p>(4) 別紙5 記録確認検査について「記録の信頼性確認」を行う旨を追記した。</p> <p>(5) 別紙5 無停電電源設備等の検査項目設定を一部修正した。</p> <p>3. 補足</p> <p>以下事項については、次回以降反映する。</p> <p>(1) 別紙1 検査時期の追而</p> <p>(2) 別紙1,2 検査方法の修正（様式-8修正の反映）</p> <p style="text-align: right;">以上</p>	<p>■</p> <p>2022/8/17</p> <p>■</p> <p>2022/8/17</p> <p>■</p> <p>2022/8/17</p>	<p>■</p> <p>2022/8/17</p> <p>■</p> <p>2022/8/17</p> <p>■</p> <p>2022/8/17</p>	<p>■</p> <p>2022/8/17</p>

改正来歴表

改正 番号	施行日	提案事項（改正内容）および理由	承認 承認日	審査 審査日	作成 作成日
			品質保証課長 運転管理課長 保全管理課長	品質保証課員 運転管理課員 保全管理課員	保全管理課員
00	2022. 5. 11	新規作成	<div style="background-color: black; width: 20px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> 2022/5/11	<div style="background-color: black; width: 20px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> 2022/5/11	<div style="background-color: black; width: 20px; height: 15px; margin-bottom: 5px;"></div> 2022/5/11
		以下余白			

1. 検査対象

(1) 対象施設

日本原燃株式会社 濃縮・埋設事業所 加工施設（ウラン濃縮工場）

(2) 対象設備

以下の認可を受けた、ウラン濃縮工場に関する設計及び工事の計画の認可申請における適合性確認対象設備

【設工認可日および認可番号】

- ・令和3年7月26日付け原規規発第2107268号（第4回申請）
- ・令和4年2月4日付け原規規発第2202048号（第5回申請）

2. 本計画書の構成

本計画書は以下のとおり構成する。

(1) 別紙1 適合性確認検査対象、項目および時期集約表

本表により、適合性確認対象設備ごとの検査項目および検査時期を工事工程より設定するとともに、本表データに基づきQA検査を含む実績管理を行う。

(2) 別紙2 検査項目・検査方法集約表

本表により、様式-8による検査項目・検査方法を抽出し集約し、その結果を別紙1に展開する。

なお、検査項目および方法の設定は別紙5の方針により、様式-8にて決定する。

(3) 別紙3 様式-8リスト

「加工施設の適合性確認について」（H51601-20-003-03 2021年10月4日施行）様式-8に該当する各文書による。

(4) 別紙4 別紙1,別紙2に示す検査以外の検査について

(5) 別紙5 使用前事業者検査における検査項目および検査方法の設定方針について

3. 検査時期

「使用前確認申請内容の変更について（2022年7月29日 濃計発第34号）」に基づく期間とする。個別の検査（別紙4に示す各検査以外）は、別紙1に示す時期に実施する。

自 2021年8月

至 2023年1月

4. 検査計画の責任者（本計画の承認者）について

「使用前事業者検査細則」第2章により、検査実施責任者は検査を計画する。

検査実施責任者は以下の文書によりウラン濃縮工場長が指名し、指名された検査に関する責任を負う。

- 使用前事業者検査の検査実施責任者の指名に係る記録

（本計画発行時最新版：H51605-21-012-03 2022年6月30日施行）

以上

適合性確認検査対象、項目および時期集約表

別紙 1-1

「設工認申請書（第 5 回） 添付書類（3）加工施設の技術基準への適合性に関する説明書 設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」のうち「申請回 4」の機器¹

別紙 1-2

「設工認申請書（第 5 回） 添付書類（3）加工施設の技術基準への適合性に関する説明書 設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」のうち「申請回 5」の機器（同上）²

別紙 1-3

「資料番号：濃縮個別 60 R3 提出年月日 令和 4 年 6 月 1 日 加工施設（ウラン濃縮）の設工認申請全体の関係性，網羅性に係る補足説明資料 添付 1-1 別添 1 添付 1-1 の設備リスト以外の抽出機器」のうち「①施設共通の基本設計方針として示す設備（不法侵入の防止に係る機器等） ②仕様表対象機器又は基本設計方針対象機器の付属・関連機器」の機器

別紙 1-4

上記以外の基本設計方針に示す評価、運用

¹ 「資料番号：濃縮個別 60 R3 提出年月日 令和 4 年 6 月 1 日 加工施設（ウラン濃縮）の設工認申請全体の関係性，網羅性に係る補足説明資料 添付 1-1 設工認申請対象設備リスト」による修正箇所（設備区分等）について、修正を反映する。

² 同上

適合性確認検査対象、項目および時期集約表

「設工認申請書（第 5 回） 添付書類（3）加工施設の技術基準への適合性に関する
説明書 設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」のうち「申請回 4」
の機器

Table with multiple columns: Project Name, Work Item, Status, Date, and various performance metrics. The table is organized into sections like '2号異常対応作業' and '3号異常対応作業'.

適合性確認検査対象、項目および時期集約表

「設工認申請書（第 5 回） 添付書類（3）加工施設の技術基準への適合性に関する
説明書 設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」のうち「申請回 5」
の機器

Table with columns for equipment type (設備区分), model (機種), manufacturer (メーカー), and detailed inspection items (検査項目). It includes specific technical details like '圧入圧力', '回転速度', and '温度' across various rows.

適合性確認検査対象、項目および時期集約表

「資料番号：濃縮個別 60 R3 提出年月日 令和 4 年 6 月 1 日 加工施設（ウラン濃縮）の設工認申請全体の関係性，網羅性に係る補足説明資料 添付 1-1 別添 1 添付 1-1 の設備リスト以外の抽出機器」のうち「①施設共通の基本設計方針として示す設備（不法侵入の防止に係る機器等） ②仕様表対象機器又は基本設計方針対象機器の付属・関連機器」の機器

設備番号	設備中継書記載区分				設備重要変更		検査項目 (△は最終検査区分、○は検査済、●は検査済、★は検査済、▼は検査済、▼は検査済、▼は検査済、▼は検査済、▼は検査済)													備考										
	施設区分	設備区分	系統名	機種	名称	変更内容	安全確認済	重要変更	検査済み	検査済	1号機室						2号機室						3号機室 区分外 に属する							
											高圧			1号機室			2号機室				高圧			1号機室			2号機室			
											材料検査	設備検査	検査済	材料検査	設備検査	検査済	材料検査	設備検査	検査済		材料検査	設備検査		検査済	材料検査	設備検査	検査済	材料検査	設備検査	検査済
439					1号選流ダクトの支持構造	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
440					1号扇形排気ダクトの支持構造	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
441					2号扇形排気ダクトの支持構造	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-						
442					1号排気ダクトの支持構造	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
443					2号排気ダクトの支持構造	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
444					排気口	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
445	液体漏洩物の発生設備	各系統共通	-	基本設計方針	主要放射用排水配管の支持構造	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
446					排水口	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
447	液体漏洩物の発生設備	-	-	基本設計方針	20 Lドラム缶	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
448					200 Lドラム缶	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
449	その他の給工施設	非常用設備	非常用電源系	-	ディーゼル発電機制御盤	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
450					燃料サービスタンク	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
451					燃料給油タンク	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
452					燃料移送ポンプ	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
453					燃料配管	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
454					ディーゼル発電機を自動起動させる機能(遅燃焼、過電圧等)	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
455					ディーゼル発電機燃焼系(加熱器)	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
456					ディーゼル発電機燃焼系(加熱器以外)	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
457					非常用高圧母線	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
458	その他の給工施設	安全確認通過済設備	-	基本設計方針	立入制限区域フェンス	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
459					出入管理装置	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
460						-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
461	その他の給工施設	安全確認通過済設備	-	基本設計方針	安全避難通路	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
462	基本設計方針			基本設計方針	排水設備	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
463					取水設備	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
464					電灯設備	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
465					経費設備	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
466					防災電灯設備	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
467					保安装置	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					

設備種別	設計書中詳書記載区分				設備重要度等		検査項目 (△:点検 検査分級:○:検査済 ●:検査中 ●:検査完了,点検済 下線線:検査済(点検済又は点検済,検査完了時) 点検済(検査済又は点検済,検査完了時) 点検済(検査済又は点検済,検査完了時)															備考							
	施設区分	設備区分	系統名	機種	名称	変更内容	安全装置	耐震装置	機能場所	1号検査										2号検査				3号検査 発生 割合 に 関 し て					
										材料検査	性能試験	許容試験	運用試験	高圧試験	漏洩試験	内観検査	寸法検査	閉鎖・開閉試験	閉鎖・開閉試験	閉鎖・開閉試験	閉鎖・開閉試験		閉鎖・開閉試験		閉鎖・開閉試験	閉鎖・開閉試験	閉鎖・開閉試験	閉鎖・開閉試験	閉鎖・開閉試験
488	基本設計方針			基本設計方針	計測制御設備及び電気設備	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
									事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		-
489				防火等	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
490				自動弁	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
491				地震警報装置	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
492				機間ケーブル	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
493				潤滑油内包機等の分散配管	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
494				計装空気系統(外気取入口)	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	ハードスクリンにて確認する。
								事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
495				ハードスクリン(外気取入口)	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
496				電線管・ケーブル	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
497				扉(ノンアタイト)	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
498				監視操作部による中央制御室からの監視	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
499				監視操作部に関する設計(建設, インターロックによる非作動等)	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
								事業所	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

適合性確認検査対象、項目および時期集約表

別紙 1-1～1-3 以外の基本設計方針に示す評価、運用

設工事中請書記載区分					設備重要変更		検査項目 (上の欄: 検査区分(○) 検査済、●検査中、●検査完了済設備、下の欄: 検査済(○)検査中(●)検査完了済(●)使用開始検査完了済(●))																備考						
設備番号	施設区分	設備区分	系統名	機種	名称	変更内容	安全装置	制御装置	機能場所	1号検査											2号検査				3号検査(安全計測)				
										共通					閉鎖性装置						機器等								
										材料検査	性能試験	調整試験	運用試験	保守試験	選定試験	電気試験	内装試験	寸法検査	開閉試験	閉鎖試験	閉鎖試験	閉鎖試験	閉鎖試験	閉鎖試験			閉鎖試験	閉鎖試験	閉鎖試験
558					電巻影響詳細(建物)	-	-	-	工場																				
									事業所																				○
559					電巻影響詳細(防護機、公道車両)	-	-	-	工場																				2022/12
									事業所																				○
560					車両運送	-	-	-	工場																				2022/12
									事業所																				○
561					資機材置場	-	-	-	工場																				-
									事業所																				-
562					北ステード設備の生産停止及び北ステード設備内のIPの移転取組	-	-	-	工場																				2022/12
									事業所																				-
563					生産停止及びシリンダ等への取組	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
564					隣件事象の想定及び評価	-	-	-	工場																				-
									事業所																				-
565					電巻により資機材等が高変位とならないよう制御・保安する手続の決定	-	-	-	工場																				-
									事業所																				-
566					操巻により船舶内の乗組員が乗高物とならないよう訓練・確認する手続の決定	-	-	-	工場																				-
									事業所																				-
567					電巻に対する既対策区域の決定	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
568					音響環境	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
569					鎮下火警報機の設置	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
570					火山影響詳細	-	-	-	工場																				○
									事業所																				2022/12
571					換気	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
572					外周火災影響詳細	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
573					送排風機停止	-	-	-	工場																				2022/12
									事業所																				-
574					自衛消防隊を構成する体制の整備	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
575					防火観及び空気呼吸器の整備	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
576					火災防護材層の策定	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
577					入力条件が変更になった場合の再評価	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
578					初動対応の決定	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
579					人為事象の選定	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
580					オイルヤード内重油タンク	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
581					補助燃焼室内重油タンク	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
582					危険物・薬品貯蔵庫	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
583					航空機降下機群詳細	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
584					■■■■■における目視点検	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
585					■■■■■の外観との選定	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○
586					■■■■■	-	-	-	工場																				-
									事業所																				○

設備 番号	設備中継書記載区分				設備重要度等														3年 後 費 用 計 算 に 関 する 備 考								
	施設区分	設備区分	系統名	機種	名称	変更 内容	安全 対策 内容	設置 場所	検査項目 (△は故障 検査対象△○ 検査済 ●検査中 ● 検査完了済設備 下線線 検査前1-6ヶ月平均検査設備 検査完了前1-6ヶ月平均検査設備完了済設備)																		
									1年検査							2年検査							3年 後 費 用 計 算 に 関 する 備 考				
高圧	配電			送電			変電			変圧			配電			送電			変電			変圧					
816					警備区域の検査当量等の管理区域入口への検定	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
817					液体廃棄物の年間放出量	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
818					浮気口における放射能汚染の平均濃度評価	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
819					液体廃棄物の公衆の実効線量評価	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
820					液体廃棄物の年間放出量	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
821					液体廃棄物の公衆の実効線量評価	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
822					形状化廃棄物処理場の設定	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
823					保管廃棄物スラッジ量場の設定	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
824					廃棄物処理場の設定	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
825					並びに評価	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
826					その他の繰越配置	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
827					放射線効果のある状態への射入及び放射コンクリート等の設置(使用済み燃料ドラム缶)・スラッジドラム缶)	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
828					管理区域における経路管理及び作業管理	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
829					識別、施設等の設備作務法に関する運用	-	-	-	工場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

検査項目・検査方法集約表

別紙 2-1

別紙 1-1 に示す以下の機器

「設工認申請書（第 5 回） 添付書類（3）加工施設の技術基準への適合性に関する説明書 設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」のうち「申請回 4」の機器

別紙 2-2

別紙 1-2 に示す以下の機器

「設工認申請書（第 5 回） 添付書類（3）加工施設の技術基準への適合性に関する説明書 設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」のうち「申請回 5」の機器

別紙 2-3

別紙 1-3 に示す以下の機器

「資料番号：濃縮個別 60 R3 提出年月日 令和 4 年 6 月 1 日 加工施設（ウラン濃縮）の設工認申請全体の関係性、網羅性に係る補足説明資料」のうち「①施設共通の基本設計方針として示す設備（不法侵入の防止に係る機器等） ②仕様表対象機器又は基本設計方針対象機器の付属・関連機器」の機器

別紙 2-4

別紙 1-4 に示す以下の機器

別紙 1-1～1-3 以外の基本設計方針に示す評価、運用

検査項目・検査方法集約表

別紙 1-1 に示す以下の機器

「設工認申請書（第 5 回） 添付書類（3）加工施設の技術基準への適合性に関する説明書 設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」のうち「申請回 4」の機器

様式-8	施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	指定前事業者検査計画書		検査項目																				3号検査 基本設計 方針に係 る検査		
					確認対象		1号検査										2号検査												
					注	共通	材料検査		状態確認検査		建物・構築物		機器等		電気・配線検査		機械・性能検査		構造耐力検査		環境性能検査・通風検査・系統運転検査・等価確認検査		接続耐力検査		ロジック回路動作確認検査・警報検査・インテークロッキング検査			計測範囲確認検査・設定値確認検査	
					検査有りの場合、計画書検査項目欄に詳しくの項目を添付する。なお、他の条、項目に係る場合は項目番号を記載しない(当該条項例で記載)。																								
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号発生回収系)	5.6.8.11.14	2.0.23	1号給気ダクト	シート	条文	検査有無														あり				あり				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号発生回収系)	5.6.8.11.14.2	2.0.23	1号送気ダクト	シート	条文	検査有無														あり				あり				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号発生回収系)	5.6.8.10.11.1	4.20.23	1号排気ダクト	シート	条文	検査有無																		あり				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号発生回収系)	5.6.8.11.2.1	4.20.23	1号発生回収系排気フィルタユニット	シート	条文	検査有無																		あり				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号発生回収系)	5.6.8.11.2.1	4.20.23	1号発生回収系排気フィルタユニット	シート	条文	検査有無																		あり				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号発生回収系)	5.6.8.11.4.2	2.0.23	1号発生回収系送気フィルタユニット	シート	条文	検査有無																		あり				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号発生回収系)	5.6.14.18		負圧計(第1種管理区域)	シート	条文	検査有無														あり(注)				あり(注)				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号発生回収系)	5.6.8.10.11.1	4.18	第1種管理区域の排気扇増付(1号発生回収系排気扇)	シート	条文	検査有無																あり(注)		あり(注)				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号発生回収系)	5.6.11.14		1号発生回収系送風機	シート	条文	検査有無																		あり				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号均質室系)	5.6.8.11.4.2	2.0.23	1号均質室送気風機	シート	条文	検査有無																		あり				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号均質室系)	5.6.8.10.11.1	2.14.20.23	1号均質室排気扇	シート	条文	検査有無																		あり				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号均質室系)	5.6.8.11.14		1号給気ダクト	シート	条文	検査有無																		あり				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号均質室系)	5.6.8.11.14.2	2.0.23	1号送気ダクト	シート	条文	検査有無																		あり				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	
放射線廃棄物の廃棄施設	廃棄物の廃棄設備(1号均質室系)	5.6.8.10.11.1	4.20.23	1号排気ダクト	シート	条文	検査有無																		あり				
					増設	5	あり																				1		
					地震	6	あり																					3	
					外部衝撃	8	あり																					26,38	
					火災	11	あり																					24	

様式-8			旧設備更新調査計画書					検査項目																
施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	確認対象			1号検査								2号検査						3号検査	基本設計方針に係る検査		
				注	共通	特記事項	材料検査	設置要求	評価要求	運用要求	基礎検査	構造検査	強度検査	外観検査	寸法検査	閉込・漏えい検査	配付・外観検査	機能・性能検査	系統構成確認検査	運転性能検査・通水検査・系統運転検査・器資確認検査			総線耐力検査	ロジック回路動作確認検査・監視検査・インテーク・ロケット検査
放射線業務物の廃棄施設	廃棄業務物の廃棄設備(1号均質室系)	5.6.8.11.12.1 4.20.23	1号均質室系排気フィルタユニット	シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ		
				地盤	5	あり																	1	
				地震	6	あり																		3
						外部衝撃	8	あり													2,3,4,5			
						圧空	11	あり														9		
						閉じ込め	10	あり														4,14		
						火災	11	あり														2,3		
						安全機能	14	あり														2,3		
						漏洩	20	あり														3,5,7,9		
						廃棄	20	あり														2,3		
						換気	23	あり														3,5,7,9,9		
放射線業務物の廃棄施設	廃棄業務物の廃棄設備(1号均質室系)	5.6.8.11.14.2 0.23	1号均質室系送気フィルタユニット	シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ		
				地盤	5	あり																	1	
				地震	6	あり																		3
						外部衝撃	8	あり													2,3,4,5			
						圧空	11	あり														9		
						閉じ込め	10	あり														4,14		
						火災	11	あり														2,3		
						安全機能	14	あり														2,3		
						漏洩	20	あり														3,5,8,9		
						廃棄	20	あり														3,5,8,9		
						換気	23	あり														3,5,7,9,9		
放射線業務物の廃棄施設	廃棄業務物の廃棄設備(1号均質室系)	5.6.14.18	負圧計(第1種管理区域)	シート	英文	検査有無									あり(別事業所のみ)					あり(別事業所のみ)	あり(別事業所のみ)	あり 事業所のみ		
				地盤	5	あり																	1	
				地震	6	あり																		3
						外部衝撃	8	あり														2,3		
						圧空	14	あり														2,3		
						管轄	18	あり														2,3		
放射線業務物の廃棄施設	廃棄業務物の廃棄設備(1号均質室系)	5.6.8.10.11.1 4.18	第1種管理区域の排気機能付(1号均質室系排風機)	シート	英文	検査有無									27					27	27	あり 事業所のみ		
				地盤	5	あり																	1	
				地震	6	あり																		3
						外部衝撃	8	あり													2,3,4,5,29,39			
						閉じ込め	10	あり														27		
						火災	11	あり														9		
						安全機能	14	あり														2,3		
						漏洩	20	あり														3		
						管轄	18	あり														2,3		
						換気	23	あり														2,3		
放射線業務物の廃棄施設	廃棄業務物の廃棄設備(1号均質室系)	5.6.11.14	1号均質室系送風機	シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ		
				地盤	5	あり																	1	
				地震	6	あり																		3
						外部衝撃	8	あり														9		
						火災	11	あり														2,3,4		
						安全機能	14	あり														2,3,4		
放射線業務物の廃棄施設	廃棄業務物の廃棄設備(1号均質室系)	5.6.11.14	分析室送風機	シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ		
				地盤	5	あり																	1	
				地震	6	あり																		3
						外部衝撃	8	あり														9		
						圧空	14	あり														2,3,4		
						管轄	18	あり														2,3,4		
放射線業務物の廃棄施設	廃棄業務物の廃棄設備(2号均質室系)	5.6.8.10.11.1 2.14.20.23	2号均質室系排気機	シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ		
				地盤	5	あり																	1	
				地震	6	あり																		3
						外部衝撃	8	あり														2,3,4,5		
						閉じ込め	10	あり														2,3,4,5		
						火災	11	あり														2,3,4,5,9		
						安全機能	14	あり														2,3		
						漏洩	20	あり														3,5,7,9		
						廃棄	20	あり														3,5,7,9		
						換気	23	あり														3,5,7,9,9		
放射線業務物の廃棄施設	廃棄業務物の廃棄設備(2号均質室系)	5.6.8.11.14	2号給気ダクト	シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ		
				地盤	5	あり																	1	
				地震	6	あり																		3
						外部衝撃	8	あり														26,38		
						火災	11	あり														9,24		
						安全機能	14	あり														2,3		
放射線業務物の廃棄施設	廃棄業務物の廃棄設備(2号均質室系)	5.6.8.10.11.1 4.20.23	2号排気ダクト	シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ		
				地盤	5	あり																	1	
				地震	6	あり																		3
						外部衝撃	8	あり														2,3,4,5,26,38		
						閉じ込め	10	あり														2,3,4,5,26,38		
						火災	11	あり														9,24		
						安全機能	14	あり														2,3		
						漏洩	20	あり														3,5,7,9		
						廃棄	20	あり														3,5,7,9		
						換気	23	あり														3,5,7,9,9		
放射線業務物の廃棄施設	廃棄業務物の廃棄設備(2号均質室系)	5.6.8.11.12.1 4.20.23	2号均質室系排気フィルタユニット	シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ		
				地盤	5	あり																	1	
				地震	6	あり																		3
						外部衝撃	8	あり														2,3,4,5		
						圧空	11	あり														9		
						閉じ込め	10	あり														4,14		
						火災	11	あり														2,3		
						安全機能	14	あり														2,3		
						漏洩	20	あり														3,5,7,9		
						廃棄	20	あり														3,5,7,9,9		
						換気	23	あり														3,5,7,9,9		
放射線業務物の廃棄施設	廃棄業務物の廃棄設備(2号均質室系)	5.6.14.18	負圧計(第1種管理区域)	シート	英文	検査有無									あり(別事業所のみ)					あり(別事業所のみ)	あり(別事業所のみ)	あり 事業所のみ		
				地盤	5	あり																		1
				地震	6	あり																		
						外部衝撃	8	あり														2,3		
						圧空	14	あり														2,3		
放射線業務物の廃棄施設	廃棄業務物の廃棄設備(2号均質室系)	5.6.8.10.11.1 4.18	第1種管理区域の排気機能付(2号均質室系排風機)	シート	英文	検査有無									27					27	27	あり 事業所のみ		
				地盤	5	あり																		1
				地震	6	あり																		
						外部衝撃	8	あり														2,3,4,5,26,38		
						閉じ込め	10	あり														2,3,4,5,29,39		
						火災	11	あり														9,24		
						安全機能	14	あり														2,3		
						漏洩	20	あり														3,5,7,9		
						廃棄	20	あり														3,5,7,9		
						換気	23	あり														3,5,7,9,9		
放射線業務物の廃棄施設	廃棄業務物の廃棄設備(2号均質室系)	5.6.11.14	2号均質室系送風機	シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ		
				地盤	5	あり																		1
				地震	6	あり																		
						外部衝撃	8	あり														9		
						火災	11	あり														2,3,4		
						安全機能	14	あり	</															

施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	後援事業者検査計画書															
				確認対象	検査項目														
					共通	1号検査					2号検査					3号検査			
注 検査有りの場合、計画書検査項目欄(様式-9)の項目番号を記載し、他の条、項目に係る場合は項目番号を記載しない当該条項例で記載。	材料検査	設置要求	評価要求	運用要求	基盤検査	構築検査	強度検査	外観検査	寸法検査	耐圧・漏えい検査	配付・外観検査	系統構成確認検査	運転性能検査、通水検査、系統運転検査、空圧確認検査	総線耐力検査	ロジック回路動作検査、警報検査、インテラロック検査	計測範囲確認検査、設定値確認検査	基本設計方針に係る検査		
放射線医薬物の廃棄施設	廃棄装置(1号局所排気系)	5.6.8.11.14.2 4.20.23	1号局所排気フィルタユニット	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり													1
				地盤	6	あり													
放射線医薬物の廃棄施設	1号局所排気装置	5.6.11.14	1号局所排気装置	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線医薬物の廃棄施設	廃棄装置(2号局所排気系)	5.6.8.10.11.1 4.20.23	2号局所排気機	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線医薬物の廃棄施設	2号局所排気ファン	5.6.8.10.11.1 4.20.23	2号局所排気ファン	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線管理施設	放射線監視測定装置	5.6.8.11.12.1 4.18.19	排気用HFモニタ	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線管理施設	放射線監視測定装置	5.6.8.11.12.1 4.18.19	排気用HFモニタB	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線管理施設	放射線監視測定装置	5.6.8.11.12.1 4.18.19	発生回収室換気用モニタ	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線管理施設	放射線監視測定装置	5.6.8.11.12.1 4.18.19	均質室換気用モニタ	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線管理施設	放射線監視測定装置	5.6.14.18.19	モニタリングポスト	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線管理施設	放射線監視測定装置	5.6.14.19	エアスニッファ	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線管理施設	放射線監視測定装置	5.6.14.19	サーベイメータ	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線管理施設	放射線監視測定装置	5.6.14.19	積算線量計(屋内用)	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線管理施設	放射線監視測定装置	5.6.14.19	積算線量計(屋外用)	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線管理施設	放射線監視測定装置	5.6.14.19	ダストサンプリャ(屋内用)	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線管理施設	放射線監視測定装置	5.6.14.19	ダストサンプリャ(屋外用)	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線管理施設	放射線監視測定装置	5.6.14.19	可搬式HF検知警報装置	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3
放射線管理施設	放射線監視測定装置	5.6.14.19	放射線測定装置	シート	条文	検査有無												あり	
				増設	5	あり												1	
				地盤	6	あり													3

施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	信田前 事業者検査計画書																			
				確認対象																			
				検査項目													3号検査 基本設計 方針に係 る検査						
				共通						1号検査			2号検査										
材料検査	状態確認検査	設置要求	評価要求	運用要求	共通	建物・構築物	機器等	寸法検査	耐久・漏えい検査	配付・外観検査	機能・性能検査	系統構成確認検査	運転性能検査・過電圧検査・系統運転検査・容量確認検査	総線耐力検査	ロジック回路動作検査・監視検査・インターロック検査	計測範囲確認検査・設定値確認検査							
その他の加工施設	非常用設備	5.6.6.11.14.2 4	2号直流電源設備(蓄電装置)	シート	条文	検査有無																	
				地盤	5	無し																	
				地盤	6	無し																	
				外部衝撃	8	無し																	
				火災	11	無し																	
				安全機能	14	無し																	
その他の加工施設	非常用設備	5.6.6.11.14.2 4	2号直流電源設備(充電装置)	シート	条文	検査有無																	
				地盤	5	無し																	
				地盤	6	無し																	
				外部衝撃	8	無し																	
				火災	11	無し																	
				安全機能	14	無し																	
その他の加工施設	非常用設備	5.6.6.11.14.2 4	直流電源設備(充電装置)	シート	条文	検査有無																	
				地盤	5	無し																	
				地盤	6	無し																	
				外部衝撃	8	無し																	
				火災	11	無し																	
				安全機能	14	無し																	
その他の加工施設	非常用設備	5.6.6.11.14.2 4	直流電源設備(充電装置)	シート	条文	検査有無																	
				地盤	5	無し																	
				地盤	6	無し																	
				外部衝撃	8	無し																	
				火災	11	無し																	
				安全機能	14	無し																	
その他の加工施設	非常用設備	5.6.6.11.14.2 4	直流電源設備(充電装置)	シート	条文	検査有無																	
				地盤	5	無し																	
				地盤	6	無し																	
				外部衝撃	8	無し																	
				火災	11	無し																	
				安全機能	14	無し																	
その他の加工施設	非常用設備	5.6.6.11.14.2 4	直流電源設備(充電装置)	シート	条文	検査有無																	
				地盤	5	無し																	
				地盤	6	無し																	
				外部衝撃	8	無し																	
				火災	11	無し																	
				安全機能	14	無し																	

検査項目・検査方法集約表

別紙 1-2 に示す以下の機器

「設工認申請書（第 5 回） 添付書類（3）加工施設の技術基準への適合性に関する説明書 設工認申請対象機器の技術基準への適合性に係る整理」のうち「申請回 5」の機器

Table with columns for Section, Sub-section, Reference, Equipment Name, Confirmation Object, and various Test Items (Material, Safety, etc.).

様式-8	施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	設備概要		確認対象	検査項目																												
					注 検査有りの場合、計圖書検査項目 欄に記載の項目番号を記入する。 お、他の条、項目に係る場合は項目 番号を記載しない。当該条項例 で記載。	仕様		1号検査											2号検査																	
								共通	共通			建物・構築物		機器等		2号検査		2号検査		2号検査		2号検査		2号検査		2号検査		2号検査								
									材料検査	設置要項	評価要項	運用要項	基礎検査	構造検査	強度検査	外観検査	寸法検査	耐圧・漏えい検査	配付・外観検査	機能・性能検査	系統構成確認検査	運転性能検査、通水検査、系統運転検査、空気品質確認検査	総線耐力検査	ロジック回路動作確認検査、監視検査、インテークロップ検査	計測範囲確認検査、設定確認検査	基本設計方針に係る検査										
遮熱施設	均質・フレンジング設備	5.6.8.10.11.1 4.18	地震発生時のUP、漏えい防止インテークロップ(2号局所排気装置)	シート	条文	検査有無																														

様式-8

施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	確認対象		検査項目																											
				注 検査有りの場合、計画書検査項目欄の様式への項目番号を記入し、他の条、項目に依る場合は項目番号等は記載しない(当該条項例で記載)。	共通	1号検査								2号検査						3号検査 基本設計方針に係る検査													
						材料検査	状態確認検査	設置要求	評価要求	運用要求	基礎検査	構造検査	強度検査	外観検査	寸法検査	耐久・漏えい検査	取付・外観検査	系統構成確認検査	運転性能検査・通水検査・系統運転検査・容積確認検査		繰繰耐力検査	ロジック回路動作検査・監視検査・インターネット接続検査	計測範囲確認検査・設定確認検査										
放射性廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備(管理廃水処理設備)	5.6.8.10.11.1 4.15.20	脱有機凝集液ポンプ	シート	英文	検査有無															あり 事業所のみ	1	3	2,3,4,5,8,1	9	2	2,3	10,11,12,1	10,11,13				
				増設	5	あり																		1	4		9	2	2,3				
				増設	6	あり																				4		9	2	2,3			
				外部劣化	8	あり																				2,3,4,5,8,1		9	2	2,3			
				閉じ込め	10	無し																				29		9	2	2,3			
				火災	11	あり																				9		9	2	2,3			
				安全機能	14	あり																				9		9	2	2,3			
				安全機能	14	あり																				9		9	2	2,3			
				材料検査	15	あり																				9		9	2	2,3			
				強度	20	あり																				9		9	2	2,3			
				5.6.8.10.11.1 4.15.20	主要放射性廃水配管(高放射性廃水処理系)	シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ	1	3	2,3,4,5,8	9	2	2,3	10,11,12,1	10,11,13	
				増設		5	あり																		1	4		9	2	2,3			
				増設		6	あり																				4		9	2	2,3		
				外部劣化		8	あり																				2,3,4,5,8		9	2	2,3		
				閉じ込め		10	無し																				29		9	2	2,3		
				火災		11	あり																				9		9	2	2,3		
				安全機能		14	あり																				9		9	2	2,3		
				安全機能		14	あり																				9		9	2	2,3		
				材料検査		15	あり																				9		9	2	2,3		
				強度		20	あり																				9		9	2	2,3		
5.6.8.10.11.1 4.15.20	管理廃水処理配水機	シート	英文	検査有無																	あり 事業所のみ	1	3	2,3,4,5,8,1	9	2	2,3	10,11,12,1	10,11,13				
増設		5	あり																				1	4		9	2	2,3					
増設		6	あり																					4		9	2	2,3					
外部劣化		8	あり																					2,3,4,5,8,1		9	2	2,3					
閉じ込め		10	あり																					29		9	2	2,3					
火災		11	あり																					9		9	2	2,3					
安全機能		14	あり																					9		9	2	2,3					
安全機能		14	あり																					9		9	2	2,3					
材料検査		15	あり																					9		9	2	2,3					
強度		20	あり																					9		9	2	2,3					
5.6.14.18		凝集槽液位計	シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ	1	3	2,3	29	3,9	2,3	10,11,13					
増設			5	あり																			1	4		9	2	2,3					
増設			6	あり																				3		9	2	2,3					
外部劣化			8	あり																				2,3		9	2	2,3					
閉じ込め			10	無し																				29		9	2	2,3					
火災			11	あり																				9		9	2	2,3					
安全機能			14	あり																				9		9	2	2,3					
安全機能			14	あり																				9		9	2	2,3					
材料検査			15	あり																				9		9	2	2,3					
強度			20	あり																				9		9	2	2,3					
5.6.14.18	脱有機液タンク液位計		シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ	1	3	2,3	29	3,9	2,3	10,11,13					
増設			5	あり																			1	4		9	2	2,3					
増設			6	あり																				3		9	2	2,3					
外部劣化			8	あり																				2,3		9	2	2,3					
閉じ込め			10	無し																				29		9	2	2,3					
火災			11	あり																				9		9	2	2,3					
安全機能			14	あり																				9		9	2	2,3					
安全機能			14	あり																				9		9	2	2,3					
材料検査			15	あり																				9		9	2	2,3					
強度			20	あり																				9		9	2	2,3					
5.6.14.18		受入れ停止による漏えい防止機能(凝集槽)	シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ	1	3	2,3,4,5,29,39	3,9	2,3	10,11,13						
増設			5	あり																			1	4		9	2	2,3					
増設			6	あり																				3		9	2	2,3					
外部劣化			8	あり																				2,3,4,5,29,39		9	2	2,3					
閉じ込め			10	無し																				29		9	2	2,3					
火災			11	あり																				9		9	2	2,3					
安全機能			14	あり																				9		9	2	2,3					
安全機能			14	あり																				9		9	2	2,3					
材料検査			15	あり																				9		9	2	2,3					
強度			20	あり																				9		9	2	2,3					
5.6.8.10.11.1 4.18	受入れ停止による漏えい防止機能(脱有機タンク)		シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ	1	3	2,3,4,5,29,39	3,9	2,3	10,11,13						
増設			5	あり																			1	4		9	2	2,3					
増設			6	あり																				3		9	2	2,3					
外部劣化			8	あり																				2,3,4,5,29,39		9	2	2,3					
閉じ込め			10	無し																				29		9	2	2,3					
火災			11	あり																				9		9	2	2,3					
安全機能			14	あり																				9		9	2	2,3					
安全機能			14	あり																				9		9	2	2,3					
材料検査			15	あり																				9		9	2	2,3					
強度			20	あり																				9		9	2	2,3					
5.6.10.11.14 4.18		漏A	シート	英文	検査有無																あり 事業所のみ	1	3	2,3	29	3,9	2,3	10,11,13					
増設			5	あり																			1	4		9	2	2,3					
増設			6	あり																				3		9	2</						

様式-8

施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	検査項目																3号検査 基本設計 方針に係る 検査	
				確認対象				1号検査						2号検査							
				注 検査有りの場合、計画書検査項目 欄に様式-7の項目番号を記載し、 おの他の条、項目に係る場合は項目 番号等は記載しない(当該受領例 で記載)				共通	建物・構築物		機器等		系統構成 確認検査	運転性能 検査、通 水検査、 系統運転 検査、容 積確認検 査	総線耐力 検査	ロジック回 路動作検 査、監視 検査、イン ターロッ ク検査	計測範囲確認 検査、設定値 確認検査				
				シート	条文	検査有無	材料検査		状態確認検査	設置要 求	評価要 求	運用要 求						基礎検査	構造検査		強度検査
放射線汚染 物の廃棄施 設	液体汚染物 の廃棄設備 (管理廃水処 理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	管理廃水処理第1法 収容槽塔				シート	条文	検査有無												あり 事業所のみ
				地盤	5	あり														1	
				地盤	6	あり															3
				外部衝撃	8	あり															2,3,4,5,8,1 9
				閉じ込め	10	無し															9
				火災	11	あり															2,3
				安全機能	14	あり															9
				廃棄	20	あり															10,11,13
				20	あり																10,11,13
放射線汚染 物の廃棄施 設	液体汚染物 の廃棄設備 (管理廃水処 理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	マイクロフィルタ	シート	条文	検査有無												あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり														1	
				地盤	6	あり															3
				外部衝撃	8	あり															2,3,4,5,8,1 9
				閉じ込め	10	無し															9
				火災	11	あり															2,3
				安全機能	14	あり															9
				廃棄	20	あり															10,11,13
				20	あり																10,11,13
放射線汚染 物の廃棄施 設	液体汚染物 の廃棄設備 (管理廃水処 理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	ろ過器循環タンク	シート	条文	検査有無												あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり														1	
				地盤	6	あり															3
				外部衝撃	8	あり															2,3,4,5,8,1 9
				閉じ込め	10	無し															9
				火災	11	あり															2,3
				安全機能	14	あり															9
				廃棄	20	あり															10,11,13
				20	あり																10,11,13
放射線汚染 物の廃棄施 設	液体汚染物 の廃棄設備 (管理廃水処 理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	ろ過器	シート	条文	検査有無												あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり														1	
				地盤	6	あり															3
				外部衝撃	8	あり															2,3,4,5,8,1 9
				閉じ込め	10	無し															9
				火災	11	あり															2,3
				安全機能	14	あり															9
				廃棄	20	あり															10,11,13
				20	あり																10,11,13
放射線汚染 物の廃棄施 設	液体汚染物 の廃棄設備 (管理廃水処 理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	ろ過器逆流タンク	シート	条文	検査有無												あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり														1	
				地盤	6	あり															3
				外部衝撃	8	あり															2,3,4,5,8,1 9
				閉じ込め	10	無し															9
				火災	11	あり															2,3
				安全機能	14	あり															9
				廃棄	20	あり															10,11,13
				20	あり																10,11,13
放射線汚染 物の廃棄施 設	液体汚染物 の廃棄設備 (管理廃水処 理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	ろ過器pH調整タンク	シート	条文	検査有無												あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり														1	
				地盤	6	あり															3
				外部衝撃	8	あり															2,3,4,5,8,1 9
				閉じ込め	10	無し															9
				火災	11	あり															2,3
				安全機能	14	あり															9
				廃棄	20	あり															10,11,13
				20	あり																10,11,13
放射線汚染 物の廃棄施 設	液体汚染物 の廃棄設備 (管理廃水処 理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	ろ過器処理水タンク	シート	条文	検査有無												あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり														1	
				地盤	6	あり															3
				外部衝撃	8	あり															2,3,4,5,8,1 9
				閉じ込め	10	無し															9
				火災	11	あり															2,3
				安全機能	14	あり															9
				廃棄	20	あり															10,11,13
				20	あり																10,11,13
放射線汚染 物の廃棄施 設	液体汚染物 の廃棄設備 (管理廃水処 理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	排素吸着塔	シート	条文	検査有無												あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり														1	
				地盤	6	あり															3
				外部衝撃	8	あり															2,3,4,5,8,1 9
				閉じ込め	10	あり															9
				火災	11	あり															2,3
				安全機能	14	あり															9
				廃棄	20	あり															10,11,13
				20	あり																10,11,13
放射線汚染 物の廃棄施 設	液体汚染物 の廃棄設備 (管理廃水処 理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	フラン吸着塔	シート	条文	検査有無												あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり														1	
				地盤	6	あり															3
				外部衝撃	8	あり															2,3,4,5,8,1 9
				閉じ込め	10	無し															9
				火災	11	あり															2,3
				安全機能	14	あり															9
				廃棄	20	あり															10,11,13
				20	あり																10,11,13
放射線汚染 物の廃棄施 設	液体汚染物 の廃棄設備 (管理廃水処 理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	イオン交換樹脂塔	シート	条文	検査有無												あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり														1	
				地盤	6	あり															3
				外部衝撃	8	あり															2,3,4,5,8,1 9
				閉じ込め	10	無し															9
				火災	11	あり															2,3
				安全機能	14	あり															9
				廃棄	20	あり															10,11,13
				20	あり																10,11,13
放射線汚染 物の廃棄施 設	液体汚染物 の廃棄設備 (管理廃水処 理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	中和タンク	シート	条文	検査有無												あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり														1	
				地盤	6	あり															3
				外部衝撃	8	あり															2,3,4,5,8,1 9
				閉じ込め	10	無し															9
				火災	11	あり															2,3
				安全機能	14	あり															9
				廃棄	20	あり															10,11,13
				20	あり																10,11,13
放射線汚染 物の廃棄施 設																					

様式-8	施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	旧標準事業者検査計画書		確認対象	検査項目																		3号検査 基本設計 方針に係 る検査				
					共通			1号検査						2号検査																
					材料検査	状態確認検査		設置要求	評価要求	運用要求	共通	建物・構築物			機器等			機能・性能検査			その他									
												基礎検査	構造検査	強度検査	外観検査	寸法検査	耐久・漏えい検査	継接合 検査	系統構成 確認検査	運転性能 検査・通 水検査・ 系統運転 検査・容 積確認検 査	総線耐力 検査	ロジック回 路動作検 査・監視 検査・イン ターロッ ク検査	計測範囲確認 検査・設定値確 認検査							
遮断	接地	防火	断熱	防振			防音					防塵	防湿	防汚	防臭	防漏	防振							防音	防塵	防湿	防汚	防臭	防漏	
5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30					
放射線廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備(管理廃水処理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	第1反応タンク送水ポンプ	シート	英文	検査有無																			あり					
							地盤		遮断		接地		防火		断熱		防振		防音		防塵		防湿		防汚		防臭		防漏	
							あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり	
							5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備(管理廃水処理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	管理廃水処理排水機送水ポンプ	シート	英文	検査有無																			あり					
							地盤		遮断		接地		防火		断熱		防振		防音		防塵		防湿		防汚		防臭		防漏	
							あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり	
							5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備(管理廃水処理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	砂ろ過槽送水ポンプ	シート	英文	検査有無																			あり					
							地盤		遮断		接地		防火		断熱		防振		防音		防塵		防湿		防汚		防臭		防漏	
							あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり	
							5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備(管理廃水処理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	ろ過器送水ポンプ	シート	英文	検査有無																			あり					
							地盤		遮断		接地		防火		断熱		防振		防音		防塵		防湿		防汚		防臭		防漏	
							あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり	
							5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備(管理廃水処理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	排水設備増設送水ポンプ	シート	英文	検査有無																			あり					
							地盤		遮断		接地		防火		断熱		防振		防音		防塵		防湿		防汚		防臭		防漏	
							あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり	
							5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備(管理廃水処理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	第1処理水ポンプ	シート	英文	検査有無																			あり					
							地盤		遮断		接地		防火		断熱		防振		防音		防塵		防湿		防汚		防臭		防漏	
							あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり	
							5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備(管理廃水処理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	再生廃液ポンプ	シート	英文	検査有無																			あり					
							地盤		遮断		接地		防火		断熱		防振		防音		防塵		防湿		防汚		防臭		防漏	
							あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり	
							5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備(管理廃水処理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	主要放射線廃水配管系(低放射線廃水処理系)	シート	英文	検査有無																			あり					
							地盤		遮断		接地		防火		断熱		防振		防音		防塵		防湿		防汚		防臭		防漏	
							あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり	
							5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備(管理廃水処理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	分析廃水ポンプ	シート	英文	検査有無																			あり					
							地盤		遮断		接地		防火		断熱		防振		防音		防塵		防湿		防汚		防臭		防漏	
							あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり	
							5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備(管理廃水処理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	第1廃水調整ヒット	シート	英文	検査有無																			あり					
							地盤		遮断		接地		防火		断熱		防振		防音		防塵		防湿		防汚		防臭		防漏	
							あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり	
							5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備(管理廃水処理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	減次処理水ポンプ	シート	英文	検査有無																			あり					
							地盤		遮断		接地		防火		断熱		防振		防音		防塵		防湿		防汚		防臭		防漏	
							あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり	
							5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28
放射線廃棄物の廃棄施設	液体廃棄物の廃棄設備(管理廃水処理設備)	5.6.8.10.11.1 4.20	第1処理水ポンプ	シート	英文	検査有無																			あり					
							地盤		遮断		接地		防火		断熱		防振		防音		防塵		防湿		防汚		防臭		防漏	
							あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり		あり	
							5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28

形式-8	施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	使用前検査者検査計画書		検査項目																3号検査	基本設計方針に係る検査				
					確認対象		1号検査											2号検査										
					注 検査有りの場合、計画書検査項目欄の様式の項目番号を記載し、他の条、項目に依る場合は項目番号は記載しない当該条項例で記載。	共通	材料検査	設置状況	評価要求	運用要求	基礎検査	構造検査	強度検査	外觀検査	機器等	寸法検査	耐久・漏えい検査	取付・外観検査	系統構成確認検査	運転性能検査・通水検査・系統運転検査・管線確認検査	総線耐力検査	ロジック回路動作検査・管線検査・インターロック検査			計測範囲確認検査・設定値確認検査			
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.8.10.11.1.4.20	再生廃液ピット	シート	英文	検査有無																					あり 事業所のみ	1 3 2.3,4.5,8 9 2.3 10,11,13	
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.14.18	分断廃水ピット液位スイッチ	シート	英文	検査有無																					あり 事業所のみ	1 3 2.3 2.3 2.3	
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.14.18	第1廃水調整ピット液位計	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ	1 3 2.3 2.3 2.3		
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.14.18	汚泥タンク液位計	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ	1 3 2.3 2.3 2.3		
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.8.10.11.1.4.18	漏えい防止機能(廃水液面異常警報)(分断廃水ピット)	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ	1 3 2.3,4.5,29,39 3.9 2.3 2.3		
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.8.10.11.1.4.18	漏えい防止機能(廃水液面異常警報)(第1廃水調整ピット)	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ	1 3 2.3,4.5,29,39 3.9 2.3 2.3		
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.8.10.11.1.4.18	保入れ停止による漏えい防止機能(汚泥タンク)	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ	1 3 2.3,4.5,29,39 3.9 2.3 2.3		
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.10.11.4	櫃C	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ	1 3 30 9 2.3 2.3		
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.10.11.4	櫃D	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ	1 3 30 9 2.3 2.3		
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.8.10.11.1.4.20	管理廃水処理第2活性炭吸着塔	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ	1 3 2.3,4.5,8,18 9 2.3 10,11,13		
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.8.10.11.1.4.20	脱着移送水ポンプ	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ	1 3 2.3,4.5,8,18 9 2.3,4 10,11,13		
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.8.10.11.1.4.20	第2処理水ポンプ	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ	1 3 2.3,4.5,8,18 9 2.3,4 10,11,13		
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.8.10.11.1.4.20	主要放射性廃水配管(新放射性廃水処理系)	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ	1 3 2.3,4.5,8 9 2.3,4 10,11,13		
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.8.10.11.1.4.20	手洗機水ピット	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ	1 3 2.3,4.5,8 9 2.3 10,11,12,13		
放射性廃棄物の廃棄施設	5.6.8.10.11.1.4.20	第2廃水調整ピット	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ	1 3 2.3,4.5,8 9 2.3 10,11,13		

様式-8				信田前事業者検査計画書																									
施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	確認対象		検査項目																							
				シート	英文	共通		1号検査							2号検査							3号検査							
						材料検査	状態確認検査	建物・構築物	機器等	系統構成確認検査	機能・性能検査	基本設計方針に係る検査																	
設置要求	評価要求	運用要求	基礎検査	構造検査	強度検査	外観検査	寸法検査	耐圧・漏えい検査	配付・外観検査	系統構成確認検査	運転性能検査・通水検査・系統運転検査・容量確認検査	総線耐力検査	ロジック動作検査・監視検査・インターロック検査	計測範囲確認検査・設定値確認検査															
その他の加工施設	通信連絡設備(所外通信連絡設備)	5.6.14.25	ファクシミリ装置	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり																						1	
				地盤	6	あり																							3
				安全機能	14	あり																							2,3,6
				通信連絡	25	あり																							1,3,4,5,6
その他の加工施設	通信連絡設備(所外通信連絡設備)	5.6.14.25	携帯電話	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり																						1	
				地盤	6	あり																							3
				安全機能	14	あり																							2,3,6
				通信連絡	25	あり																							1,3,4,5,6
その他の加工施設	通信連絡設備(所外通信連絡設備)	5.6.14.25	携帯電話	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり																						1	
				地盤	6	あり																							3
				安全機能	14	あり																							2,3,6
				通信連絡	25	あり																							1,3,4,5,6
その他の加工施設	通信連絡設備(所外通信連絡設備)	5.6.14	緊急時対策所(事業部対策本部室)	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり																						1	
				地盤	6	あり																							3
				安全機能	14	あり																							2,3,6
				通信連絡	25	あり																							1,3,4,5,6
その他の加工施設	通信連絡設備(所外通信連絡設備)	5.6.14	中央制御室	シート	英文	検査有無																				あり 事業所のみ			
				地盤	5	あり																						1	
				地盤	6	あり																							3
				安全機能	14	あり																							2,3,6
				通信連絡	25	あり																							1,3,4,5,6

検査項目・検査方法集約表

別紙 1-3 に示す以下の機器

「資料番号：濃縮個別 60 R3 提出年月日 令和 4 年 6 月 1 日 加工施設（ウラン濃縮）の設工認申請全体の関係性，網羅性に係る補足説明資料」のうち「①施設共通の基本設計方針として示す設備（不法侵入の防止に係る機器等） ②仕様表対象機器又は基本設計方針対象機器の付属・関連機器」の機器

様式-8

施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	使用阻害検査計画書 確認対象		検査項目													3号検査 基本設計 方針に係 る検査								
						1号検査						2号検査					3号検査										
						共通	建物・構築物		機器等			系統構成 確認検査	運転性能 検査・雨水 検査・系統 運転検査・ 容量確認 検査		総括耐力 検査	ロジック回 路動作検 査・並行検 査・イン ターロック 検査		計測範囲 確認検査・ 設定確認 検査									
						材料検査	状態確認検査	設置要求	評価要求	運用要求	基礎検査	構造検査	強度検査	外観検査	寸法検査	耐圧・漏え い検査	据付・外観 検査	機能・性能検査									
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)(1号発生回収系)	5.6.8.14	1号給気ダクト(主要ダクト以外)	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	無し																					2.3
				安全確認	14	あり																					2.3
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)(1号発生回収系)	5.6.8.14.20.23	1号送気ダクト(主要ダクト以外)	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	あり																					2.3,4.5
				安全確認	14	あり																					2.3
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)(1号発生回収系)	5.6.8.10.14.20.23	1号排気ダクト(主要ダクト以外)	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	あり																					2.3,4.5
				安全確認	14	あり																					2.3
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)(1号均質室系)	5.6.8.14	1号給気ダクト(主要ダクト以外)	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	無し																					2.3
				安全確認	14	あり																					2.3
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)(1号均質室系)	5.6.8.14.20.23	1号送気ダクト(主要ダクト以外)	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	あり																					2.3,4.5
				安全確認	14	あり																					2.3
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)(1号均質室系)	5.6.8.10.14.20.23	1号排気ダクト(主要ダクト以外)	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	あり																					2.3,4.5
				安全確認	14	あり																					2.3
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)(1号均質室系)	5.6.8.10.14.20.23	1号給気ダクト(主要ダクト以外)	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	無し																					2.3
				安全確認	14	あり																					2.3
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)(2号発生均質室系)	5.6.8.14	2号給気ダクト(主要ダクト以外)	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	無し																					2.3
				安全確認	14	あり																					2.3
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)(1号局所排気系)	5.6.8.10.14.20.23	1号局所排気ダクト(主要ダクト以外)	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	あり																					2.3,4.5
				安全確認	14	あり																					2.3
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)(2号局所排気系)	5.6.8.10.14.20.23	2号局所排気ダクト(主要ダクト以外)	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	あり																					2.3,4.5
				安全確認	14	あり																					2.3
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)	5.6.14	1号給気ダクトの支持構造	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	あり																					2.3
				安全確認	14	あり																					2.3
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)	5.6.14	2号給気ダクトの支持構造	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	あり																					2.3,4.5
				安全確認	14	あり																					2.3
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)	5.6.8.14	1号送気ダクトの支持構造	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	あり																					2.3,4.5
				安全確認	14	あり																					2.3
放射線廃棄物の廃棄施設	気体廃棄物の廃棄設備(排気設備)	5.6.8.14	1号局所排気ダクトの支持構造	シート	楽文	検査有無																	あり 事業所のみ				
				地盤	5	あり																				1	
				地盤	6	あり																					3
				外部衝撃	8	あり																					2.3,4.5
				安全確認	14	あり																					2.3

様式-8

施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	使用前査査者検査計画書 確認対象 注： 検査有りの場合、計画書検査項目 欄に様式-8の項目番号を記載。な お、他の条、項目に依る場合は項 目番号は記載しない(当該条項例 で記載)。		検査項目																										
						1号検査					2号検査					3号検査																
						共通		建物・構築物			機器等			材料検査		状態確認検査		基礎検査		構造検査		強度検査		外観検査		寸法検査		耐圧・漏入 い検査		据付・外観 検査		機能・性能検査
設置要求	評価要求	運用要求	基礎検査	構造検査	強度検査	外観検査	寸法検査	耐圧・漏入 い検査	据付・外観 検査	系統構成 確認検査	運転性能 検査・漏水 検査・高圧 運転検査、 容量確認 検査	絶縁耐力 検査	ロジック回 路動作検 査、接地検 査、イン ターロック 検査	計画範囲 確認検査	設計確認 検査																	
その他の加 工施設	非常用設備	5.6.14.24	非常用高圧母線	シート	条文	検査有無																						あり	事業所のみのみ			
				接地	5	あり																								1		
				接地	6	あり																									3	
				安全機能	14	あり																									2.3	
その他の加 工施設	不法侵入等 防止設備	5.6.9.14	立入制限区域フェンス	シート	条文	検査有無																						あり	事業所のみのみ			
				接地	5	あり																								1		
				接地	6	あり																									3	
				不法侵入	9	あり																									2.4	
その他の加 工施設	不法侵入等 防止設備	5.6.9.14	出入管理装置	シート	条文	検査有無																						あり	事業所のみのみ			
				接地	5	あり																								1		
				接地	6	あり																									3	
				不法侵入	9	あり																									2.4	
その他の加 工施設	不法侵入等 防止設備	5.6.9.14	安全機能	シート	条文	検査有無																						あり	事業所のみのみ			
				接地	5	あり																								1		
				接地	6	あり																									3	
				不法侵入	9	あり																									2.3	
その他の加 工施設	安全避難通 路等設備	5.6.13.14	安全避難通路	シート	条文	検査有無																						あり	事業所のみのみ			
				接地	5	あり																								1		
				接地	6	あり																									3	
				安全機能	14	あり																									2.3	
基本設計方 針	-	8	排水設備	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	8	あり																								5		
基本設計方 針	-	8	取水設備	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	8	あり																								8		
基本設計方 針	-	8	電気設備	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	8	あり																								8		
基本設計方 針	-	8	避雷設備	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	8	あり																								8		
基本設計方 針	-	8	保安装置	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	8	あり																								31		
基本設計方 針	-	8	針形制御設備及び電 気設備	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	8	あり																								33		
基本設計方 針	-	8	防火帯	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	8	あり																								33.39		
基本設計方 針	-	8	自動弁	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	8	あり																								25		
基本設計方 針	-	18	地盤管設置	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	18	あり																								31		
基本設計方 針	-	10	地震警報装置	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	10	あり																								28		
基本設計方 針	-	11	難燃性ケーブル	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	11	あり																								3.8		
基本設計方 針	-	11	燃料油内包機種の分 散配置	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	11	あり																								3.9		
基本設計方 針	-	8	計装気系統(外気取 入口)	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	8	あり																								21		
基本設計方 針	-	8	ハードスクリーン(外 気取入口)	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	8	あり																								8		
基本設計方 針	-	12	電線管・ケーブル	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	12	あり																								9		
基本設計方 針	-	12	扉(ノンエアタイト)	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	12	あり																								15		
基本設計方 針	-	22	監視操作盤による中央 制御室からの監視	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	22	あり																								4		
基本設計方 針	-	-	誤操作防止に関する設 計(急設計、インク ロックによる非作動等)	シート	条文	検査有無																					あり	事業所のみのみ				
				外部調査	14	あり																								7		

検査項目・検査方法集約表

別紙 1-4 に示す以下の機器

別紙 1-1～1-3 以外の基本設計方針に示す評価、運用

施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	使用数量検査計画書 確認対象 注： 検査有りの場合、計画書検査項目欄に様式-8の項目番号を記載。なお、他の条、項目に依る場合は項目番号は記載しない(当該条項例で記載)。		検査項目																							
						1号検査							2号検査							3号検査									
						共通		建物・構築物			機器等		基礎検査		構造検査		強度検査		外観検査		寸法検査		耐圧・漏えい検査		据付・外観検査		機能・性能検査		基本設計方針に係る検査
						材料検査	状態確認検査	設置要求	評価要求	運用要求	基礎検査	構造検査	強度検査	外観検査	寸法検査	耐圧・漏えい検査	据付・外観検査	機能・性能検査	系統構成確認検査	運転性能検査	漏水検査	高圧運転検査	容量確認検査	絶縁耐力検査	ロジック回路動作確認検査	設定確認検査	インターロック検査	計画範囲確認検査	
その他の加工施設	重大事故等対応装置	24	携帯用照明器具	シート	条文	検査有無			あり																				
その他の加工施設	重大事故等対応装置	24	消防自動車(化学消防自動車)	シート	条文	検査有無			あり																				
その他の加工施設	重大事故等対応装置	24	資機材搬送車	シート	条文	検査有無			あり																				
その他の加工施設	重大事故等対応装置	24	緊急搬送車	シート	条文	検査有無			あり																				
その他の加工施設	重大事故等対応装置	24	泡消火剤	シート	条文	検査有無			あり																				
基本設計方針		4	必要に応じた原料取扱い操作	シート	条文	検査有無			あり																				
基本設計方針		4	分析室で取り扱うUF6サンプル等の管理	シート	条文	検査有無			あり																				
基本設計方針		4	廃棄物前処理室にてドラム缶に封入するまでの間の使用済UF6の最大取扱いワラン量を200Lドラム缶当たり約29kg-Uとする。	シート	条文	検査有無			あり																				
基本設計方針		4	管理廃水処理室にてドラム缶に封入するまでの間のスランジの最大取扱いワラン量を20Lドラム缶当たり約2kg-Uとする。	シート	条文	検査有無			あり																				
基本設計方針		4条	分析室にて取扱い作業するまでの間の分析沈殿物の最大取扱いワラン量を分析沈殿物作業当たり約1kg-Uとする。	シート	条文	検査有無			あり																				
基本設計方針		4	廃棄物前処理室にてドラム缶に封入するまでの間の分析沈殿物の最大ワラン取扱い量を20Lドラム缶当たり約2kg-Uとする。	シート	条文	検査有無			あり																				
基本設計方針		4	他ユニットとの接触を考慮した臨界計算	シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		7	津波評価	シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	自然現象の選定	シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	低温極値	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	高温極値	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	最大降水量	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	最大風速(設計竜巻)の設定	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	設計飛来物の選定	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	竜巻影響評価(建物)	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	竜巻影響評価(防護板、公道車両)	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	車両選定	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	資機材固縛	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8.10	カスケード設備の生産停止及びカスケード設備内のUF6の排気回収	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8.10.11	生産停止及びシリンダ類等への回収	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	隣接施設の想定及び評価	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	竜巻により資機材等が飛来物とならないよう固縛・撤去する手順の制定	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	竜巻により敷地内の車両が飛来物とならないよう固縛・選定する手順の制定	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	竜巻に対する飛来対象区域の設定	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
基本設計方針		8	落雷規模	外部審査 シート	条文	検査有無																			あり 事業所のみ				
				外部審査	8	あり																			30				

様式-8	施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	使用前置業者検査計画書 確認対象 注: 検査有りの場合、計画書検査項目欄に様式-8の項目番号を記載。なお、他の条、項目に依る場合は項目番号は記載しない(当該条項例で記載)。	検査項目															
						1号検査				2号検査					3号検査						
						共通	設置要求	評価要求	運用要求	基礎検査	構造検査	強度検査	外観検査	寸法検査	耐圧・漏えい検査	据付・外観検査	機能・性能検査	系統構成確認検査	運転性能検査 漏水 検査 系統 運転後 容量確認 検査	総線耐力 検査	ロジック回 路動作検 査 異常検 査 イン ターロック 検査
基本設計方針	-	8	落下火砕物の設定	シート	案文	検査有無													あり 非常時のみ		
基本設計方針	-	8	火山影響評価	外部審査 シート	案文	検査有無															36
基本設計方針	-	8	灰灰	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	8	外部火災影響評価	外部審査 シート	案文	検査有無															あり 非常時のみ
基本設計方針	-	8.11	送排風機停止	外部審査 シート	案文	検査有無															24
基本設計方針	-	8.11	自然消防隊を編成する体制の整備	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	8.11	防火服及び空気呼吸機の配備	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	8.11	火災防護計画の策定	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	8	入力条件が必要になった場合の再評価	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	8	初動対応の制定	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	8	人為事象の選定	外部審査 シート	案文	検査有無															あり 非常時のみ
基本設計方針	-	8	オイルヤード内重油タンク	外部審査 シート	案文	検査有無															あり 非常時のみ
基本設計方針	-	8	補助建屋内重油タンク	外部審査 シート	案文	検査有無															23
基本設計方針	-	8	危険物・薬品貯蔵庫	外部審査 シート	案文	検査有無															あり 非常時のみ
基本設計方針	-	8	航空機落下確率評価	外部審査 シート	案文	検査有無															23
基本設計方針	-	9	における目標点検	外部審査 シート	案文	検査有無															41
基本設計方針	-	9	の外部との遮断	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	9		外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	9		外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	9	所定の手続及び承認行為の実施	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	10	機器の取替時におけるリークテスト等の実施	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	10	運転区域と工事区域の区分(識別)	閉じ込め シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	10	均質槽崩壊放時の工程用モニタによる漏えい確認	閉じ込め シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	10	渣化を行う均質槽の槽数を1基にする。	閉じ込め シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	10	工事区分への間仕切り板等の設置	閉じ込め シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	10	二重仕切り	閉じ込め シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	10	可搬式H2検知警報装置の携帯	閉じ込め シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	10	従事者進退場所の設定	閉じ込め シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	10	遠程状況確認のための監視カメラ配備	閉じ込め シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	10	漏えい対策に用いる資機材の配備	閉じ込め シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	10	管理区域の区分の設定	閉じ込め シート	案文	検査有無															あり 非常時のみ
基本設計方針	-	11	Aセクションの取扱量制限	閉じ込め シート	案文	検査有無															27
基本設計方針	-	11	潤滑油、機械油の保管管理	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	11	火災使用制限	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	11	監視点検及び監視	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	11	可燃物管理	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	11	火災発生時のホールドアップ運転を15分以下に制限	外部審査 シート	案文	検査有無															
基本設計方針	-	11	火災発生時のアクセスルート確保	外部審査 シート	案文	検査有無															

様式-8	施設区分	設備区分	関連条文	機器名称	使用設置業者検査計画書 確認対象 注: 検査有りの場合、計画書検査項目 欄に様式-8の項目番号を記載。な お、他の条、項目に該当する場合は項目 番号は記載しない(当該条項例 で記載)。		検査項目															
							1号検査							2号検査					3号検査			
							共通		建物・構築物		機器等			基礎等					計測範囲		基本設計	
							材料検査	状態確認検査	設置要求	評価要求	運用要求	基礎検査	構造検査	強度検査	外観検査	寸法検査	耐圧・漏入 い検査	据付・外観 検査	系統構成 確認検査	運転性能 検査・漏水 検査・高圧 運転検査・ 容量確認 検査	絶縁耐力 検査	ロジック回 路動作検 査・監視検 査・イン ターロック 検査
基本設計方 針-		11	内部火災影響評価(火 災ハザード解析)	シート	英文	検査有無														あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		12	洪水影響評価	シート	英文	検査有無														28.29.30 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		12	屋外水タンク	シート	英文	検査有無														2.3.4.5.6.7 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		12	ユーティリティ配管類	シート	英文	検査有無														2.6 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		12	洪水による火災発生防 止のための計装・監 視操作盤等の電源断	シート	英文	検査有無														2.3 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		14	安全機能を有する施設 等以外が安全機能を有 する施設等の安全性に 影響を及ぼさないこと に対する考慮	シート	英文	検査有無														9 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		19	積重告示に基づく管理 区域区分の設定	シート	英文	検査有無														8 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		19	人の立入制限及び出 入管理	シート	英文	検査有無														14 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		19	物品の搬入管理	シート	英文	検査有無														14 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		19	運搬に係る措置及び積 重当量率等の検査	シート	英文	検査有無														14 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		19	管理区域の積重当量 等の管理区域入口へ の表示	シート	英文	検査有無														14 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		20	気体廃棄物の年間放 出量	シート	英文	検査有無														4 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		20	排気口における放射 物質の平均濃度評価	シート	英文	検査有無														3 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		20	気体廃棄物の公衆の 実効線量評価	シート	英文	検査有無														3 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		20	液体廃棄物の年間放 出量	シート	英文	検査有無														3 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		20	液体廃棄物の公衆の 実効線量評価	シート	英文	検査有無														10 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		20	固形処理待ち機械油 置場の設定	シート	英文	検査有無														20 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		20	廃棄物待ちスラッジ 置場の設定	シート	英文	検査有無														13 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		20	廃棄物前処理室の設 定	シート	英文	検査有無														15 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		22	振ばく評価	シート	英文	検査有無														15 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		22	その他の線源配置	シート	英文	検査有無														22 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		22	遮蔽効果のある容器 への射入及び放射コン クリート道の建屋に収納 (使用済NaF(ドラム 缶)、スラッジ(ドラム 缶))	シート	英文	検査有無														2 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		22	管理区域における線量 管理及び作業管理	シート	英文	検査有無														2 あり 事業所のみ		
基本設計方 針-		14	識別、施設等の誤操作 防止に関する運用	シート	英文	検査有無														4 あり 事業所のみ		
			安全機能	14	あり															7 あり 事業所のみ		

様式-8 リスト

様式-8 リスト

主管箇所	文書番号	作成日	名称
機械保全課（または電気計装保全課）	J-650-AA-3256 Rev. 2	2022/10/12	新型遠心機プラント（RE-2 前半）製作・据付工事 様式-8 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表 （第 4 回申請）
機械保全課（または電気計装保全課）	J-650-AA-3257 Rev. 2	2022/10/12	新型遠心機プラント（RE-2 前半）製作・据付工事 様式-8 基準適合性を確保するための設計結果と適合性確認状況一覧表 （第 5 回申請）

別紙 1, 別紙 2 に示す検査以外の検査について

1. 第 1 回～第 3 回申請と第 4 回, 第 5 回申請の検査の関連性について
2. 第 1 回～第 3 回申請で別途申請するとした加工施設の性能検査の内容について
3. 品質マネジメントシステムに係る検査

別紙 1, 別紙 2 に示す検査以外の検査について

別紙 1, 別紙 2 に示す検査以外の使用前事業者検査として、以下の検査を実施する。

1. 第 1 回～第 3 回申請と第 4 回, 第 5 回申請の検査の関連性について¹

第 1 回～第 3 回申請の旧法に基づく使用前検査の記録等を用いて、施設全体として必要な確認が全て完了していることを検査する。本検査は、基本設計方針検査の一部として実施する。

2. 第 1 回～第 3 回申請で別途申請するとした加工施設の性能検査の内容について²

「商業電源喪失を想定した場合の非常用ディーゼル発電機の総合負荷試験」を実施する。
なお、本検査は、第 4 回, 第 5 回申請に基づき実施する機能及び性能に係る検査（2 号検査）として、検査の最終段階に実施する。

本検査における具体の検査の方法及び判定基準は以下のとおりである。

【加工施設全体の確認として実施する「加工施設の性能検査」】

検査の項目	検査の方法	判定基準
性能検査	商用電源を模擬停電させ、ディーゼル発電機が自動で起動し、非常用電源系統に接続されている設備・機器が作動し、第 1 種管理区域を有する建物の負圧が維持されていることを確認する。	ディーゼル発電機が自動で起動し、非常用電源に接続されている各設備・機器が正常に作動するとともに、第 1 種管理区域を有する建物の負圧が維持されていること。

3. 品質マネジメントシステムに係る検査

品質マネジメントシステムに係る検査（以下「QA 検査」という。）は、業務管理文書「使用前事業者検査（QA 検査）に係る対応ガイドライン H50051-21-020 施行日 2022 年 4 月 1 日」に基づき検査要領書を制定し、実施する。

以上

¹ 工事の方法に係る補足説明資料

資料番号 濃縮個別 50 R4 提出年月日令和 4 年 1 月 18 日 添付 6

² 工事の方法に係る補足説明資料

資料番号 濃縮個別 50 R4 提出年月日令和 4 年 1 月 18 日 添付 7

使用前事業者検査における検査項目および検査 方法の設定方針について

使用前事業者検査における検査項目および検査方法の設定方針について

本資料は、設工認申請書ならびに補足説明資料により設定する「検査項目、検査方法」について、その設定方針を示すものである。

1. 使用前事業者検査における検査項目および検査方法は、以下に基づき設定する。

「工事の方法に係る補足説明資料 資料番号 濃縮個別 50 R4 提出年月日令和 4 年 1 月 18 日 添付 4 加工施設における使用前事業者検査の実施方針について」

加工施設における使用前事業者検査の実施方針について

5. 検査実施要領の制定

「共通 11」で示すとおり、上記の実施方法を検査実施要領に定めて品質を確保し、検査を実施する。検査実施要領に定める主な事項は以下のとおり。

① 検査対象機器に対する検査項目の決定

- ・ 設工認に係る設計プロセスにより検査項目を決定すること

② 検査方法の選定

- ・ 検査方法選定の考え方

- 検査対象設備の健全性評価結果等により設備の状態を把握したうえで、検査項目ごとに実検査、記録確認検査または代替検査から検査方法を選定すること

- 選定の考え方

- ・ 検査に用いる検査記録等の検証

- 記録確認検査及び記録等を用いた代替検査を行う場合は、検査に用いる記録の妥当性を検証すること

- 検証方法

- ・ 代替検査の検査目的に対する代替性の評価（施設に共通的な代替検査の評価を含む）

- 代替検査を実施する場合の検査目的に対する代替性を評価すること

- 評価方法

- 施設に共通的な代替検査の評価

2. 検査項目について

本計画の対象設工認申請は、炉規法「(設計及び工事の計画の認可) 第十六条の二 1 項 加工施設の設置又は変更の工事 (=1 項申請)」に該当することから、変更または工事について 1 号検査または 2 号検査を実施し、それ以外は変更なしとして基本設計方針に係る検査（以下「基本設計方針検査」という）とする。

基本設計方針検査については、「工事の方法に係る補足説明資料（濃縮個別 50 R4/令和 4 年 1 月 18 日） 添付 6 第 1 回～第 3 回申請と第 4 回, 第 5 回申請の検査の関連性について」のとおり、第 1 回～第 3 回申請で示した基本設計方針も含めて、施設全体を対象に実施する。

なお、適合性確認対象設備のうち、運用要求に係る事項については、次表によらず状態確認検査を実施する（評価要求についても、対象がある場合は同様）。

(1) 下表のとおり検査項目として「加工規則 第三条の四の二」の何れか¹を設定する。

申請回次	主要な設備か	仕様変更有無	検査項目(号)
4回、5回	「主要設備」対象、 仕様表あり	仕様変更あり (別紙1 変更内容欄： 「改造」「新設」「撤去」)	1号、2号 (項目は3.項のとおり) 3号(基本設計方針検査) ²
		仕様変更なし、工事あり ³ (別紙1 変更内容欄： 「変更なし」、工事有無欄 「工事有り」)	1号、2号 (項目は3.項のとおり) 3号(基本設計方針検査) ^{4, 5}
		仕様変更なし、工事なし	3号(基本設計方針検査) ^{6, 7}
	「主要設備」対象外、仕様表なし (=基本設計方針のみ対象)		3号(基本設計方針検査) 8, 9, 10

(2) (1)項により1号、2号検査対象とした設備について、「設工認申請書 添付書類(2) 設計及び工事に係る品質マネジメントシステムに関する説明書第3.5-2表 検査項目、検査概要及び判定

¹ 加工規則(使用前事業者検査の実施)第三条の四の二

使用前事業者検査は、次に掲げる方法により行うものとする。

- 一 構造、強度及び漏えいを確認するために十分な方法
 - 二 機能及び性能を確認するために十分な方法
 - 三 その他設置又は変更の工事がその設計及び工事の計画に従って行われたものであることを確認するために十分な方法(本資料では「品質マネジメントシステムに係る検査」を除いた検査項目について整理する)
- ² 1号、2号検査対象設備(仕様表変更あり)について、仕様表記載変更の範囲外で基本設計方針との整合を確認する事項(工事が無い場合、検査方法は注釈5と同様とする)
- ³ 仕様表記載事項の変更を伴わない工事を行った既設設備
対象は、添付書類(3) V-2 加工施設に関する図面およびV-1-1-10 警報設備等に関する説明書による(計装盤の更新を行う、機能変更の無いインターロックおよび計器を含む)。
- ⁴ 更新など対象機器全体に対する工事を行った設備
- ⁵ 耐震補強など既設設備の一部に対する工事の場合で、工事対象範囲外の部分
(カスケード、UF6処理等の計器、インターロックについては、計装設備が注釈4に該当(更新)、計器更新の場合は計器本体が注釈4に該当(更新)、既設計器を継続使用する場合は計器本体が注釈5に該当(既設))
- ⁶ 評価を行った設備
- ⁷ 工事も評価も行わない設備
- ⁸ 工事を行った設備
- ⁹ 評価を行った設備
- ¹⁰ 工事も評価も行わない設備

基準の考え方について（代表例）」による検査項目を設定する。

3. 検査方法について

2項で設定した検査項目に対する「検査方法」および「選定の考え方」「検証方法」を次頁の表に示す。

なお、1号または2号検査の「検査項目」については、設工認申請書仕様表記載事項または添付書類(3)に示す内容により「据付・外観検査」「計測範囲確認検査」など、仕様を確認するにあたり適当な項目を選定する。

条項	検査項目、検査方法 ¹¹	検査方法選定の考え方	検証方法 ¹²
1号	【検査項目】材料検査 【検査方法】記録確認検査	調達管理記録により確認する。	調達管理（工事主管箇所による供給者の履行管理） ¹³
	【検査項目】状態確認検査 【検査方法】記録確認検査	保安規定等該当文書により確認する。	－（文書確認のため、検証不要）
	【検査項目】寸法検査 【検査方法】記録確認検査	調達管理記録により確認する。	同上
	【検査項目】据付・外観検査 【検査方法】実検査(立会い) ¹⁴	－	－
2号	【検査項目】系統運転検査 【検査方法】実検査(立会い) ¹⁵	－	－
	【検査項目】計測範囲確認検査 【検査方法】記録確認検査	据付後の試験記録（または調達管理記録）により確認する。	計器校正およびループ試験等の記録により確認
	【検査項目】設定値確認検査 【検査方法】記録確認検査	据付後の試験記録（または調達管理記録）により確認する。	ループ試験または単体試験結果等により、設定値(作動値)を確認
	【検査項目】インターロック検査 【検査方法】実検査(立会い) ¹⁶	－	－

¹¹ 記録確認検査については、使用前事業者検査細則等に基づき「工事実施箇所が実施する検査の記録の信頼性確認」を行う。

¹² 代替検査およびその検証方法について、代替検査は原則的に採用しない（寸法検査のように実検査で対応できるものは、実検査を実施する）。ただし、既設設備であって「記録確認検査」の対象となる記録（例：材料証明）が存在せず、実検査も実施不可の場合に、採用することがあり得る。その場合の「検証方法」については、その手段ごとに明確にするものとする。

¹³ 「調達管理」について、設工認申請に基づく工事は基本グレード「Ⅱ」とし、工事主管箇所は履行に関して下記の管理を行う。

品質マネジメントシステムの計画（契約）の承認、調達物品等のトレーサビリティの確保（確認）、供給者の調達先の管理状況の確認、不適合の報告（確認）、特別監査（重度の不適合発生時等）、試験・検査の実施（立合(抜取))、施工評価の作成

¹⁴ 「仕様変更あり」については全数立会い。「仕様変更なし、工事あり」については代表性を持つ対象を立会い、それ以外を記録確認とすることを許容し、要領書で明確にする。

¹⁵ 同上

¹⁶ 同上

条項	検査項目、検査方法	検査方法選定の考え方	検証方法	
3号	【検査項目】 基本設計方針検査 【検査方法】 記録確認検査	前々頁脚注 2、4、8の 検査	設計および工事、また は、設計の記録により 確認する。	設計、調達、工事管理 (工事主管箇所による管理)
		前々頁脚注 6、9の設備	設計の記録により確認 する。	設計管理 (設計主管箇所による管理)
		前々頁脚注 5、7、10 の設備	施設管理状況を確認す る。	施設管理 (保修担当箇所による管理)

4. 設工認申請書（仕様表）と検査項目および検査方法の関連について

設工認申請書（仕様表）と検査項目および検査方法の関連を次頁以降に示す。

以上

設工認仕様表	検査項目																																																																				
<p>2A 製品ブースタポンプ</p> <p>1. 設計条件及び仕様</p> <p>1.1 カスケード設備</p> <p>(1) 2A カスケード系 (共通)</p> <p>a. ポンプ</p> <table border="1" data-bbox="290 590 1056 1470"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>-</td> <td>2A 製品ブースタポンプ</td> <td rowspan="18" style="text-align: center; vertical-align: middle;">撤去</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>-</td> <td>ルーツプロ式</td> </tr> <tr> <td>容量^{*3}</td> <td>m³/h/基</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>揚程又は吐出圧力</td> <td>-</td> <td>-^{*10}</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力^{*4}</td> <td>hPa</td> <td>上限：960^{*11} 下限：0^{*11}</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度^{*4}</td> <td>℃</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*5}</td> <td>-</td> <td>気体 UF₆</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">臨界管理 核的制限値</td> <td>濃縮度</td> <td>%</td> <td>5 以下</td> </tr> <tr> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要寸法^{*6}</td> <td>横</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料^{*7}</td> <td>ケーシング</td> <td>-</td> <td>■</td> </tr> <tr> <td>個数^{*8}</td> <td>基</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>2A カスケード系 (共通) ^{*12}</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称) ^{*9}</td> <td>-</td> <td>2A 中間室</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原動機</td> <td>種類</td> <td>-</td> <td>誘導電動機^{*12}</td> </tr> <tr> <td>出力</td> <td>kW/基</td> <td>1.5^{*12}</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>基</td> <td>2^{*12}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>取付箇所</td> <td>-</td> <td>2A 中間室^{*12}</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1：記載の適正化。既設工認には「機器名」と記載。 *2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3：記載の適正化。既設工認には「その他の性能」と記載。 *4：記載の適正化。既設工認には「温度、圧力」と記載。 *5：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *6：記載の適正化。既設工認には「寸法」と記載。 *7：記載の適正化。既設工認には「主要な構造材」と記載。 *8：記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *9：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *10：真空ポンプであり、揚程、吐出圧力は設計条件とならないため「-」とする。 *11：圧力の表記は、絶対圧力とする。なお、ゲージ圧力を示す場合は単位記号の後に G 又は Gauge を付し、ゲージ圧力であることを明確にする。以降の圧力の表記も同様とする。 *12：既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p> <p style="text-align: center;">ロ-1-1</p>			変更前	変更後	名称 ^{*1}	-	2A 製品ブースタポンプ	撤去	種類 ^{*2}	-	ルーツプロ式	容量 ^{*3}	m ³ /h/基	■	揚程又は吐出圧力	-	- ^{*10}	最高使用圧力 ^{*4}	hPa	上限：960 ^{*11} 下限：0 ^{*11}	最高使用温度 ^{*4}	℃	40	流体等の種類 ^{*5}	-	気体 UF ₆	臨界管理 核的制限値	濃縮度	%	5 以下	たて	mm	■	主要寸法 ^{*6}	横	mm	■	高さ	mm	■	主要材料 ^{*7}	ケーシング	-	■	個数 ^{*8}	基	2	取付箇所	系統名 (ライン名)	-	2A カスケード系 (共通) ^{*12}	設置床 (室名称) ^{*9}	-	2A 中間室	原動機	種類	-	誘導電動機 ^{*12}	出力	kW/基	1.5 ^{*12}	個数	基	2 ^{*12}		取付箇所	-	2A 中間室 ^{*12}	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 23 R4 令和 3 年 6 月 29 日) 抜粋</p> <div style="text-align: center;"> <p>改造工事 撤去工事</p> <p>機器及び配管</p> <pre> graph TD A[既設設備] --> B[インターロック 新設及び更新] A --> C[配管改造] A --> D[製品ブースタポンプ撤去 及び配管新設] B --> E[カバー等 の施工] C --> E D --> E E --> F[検査] </pre> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">図-1 カスケード設備 (第4回申請) の工事フロー</p>
		変更前	変更後																																																																		
名称 ^{*1}	-	2A 製品ブースタポンプ	撤去																																																																		
種類 ^{*2}	-	ルーツプロ式																																																																			
容量 ^{*3}	m ³ /h/基	■																																																																			
揚程又は吐出圧力	-	- ^{*10}																																																																			
最高使用圧力 ^{*4}	hPa	上限：960 ^{*11} 下限：0 ^{*11}																																																																			
最高使用温度 ^{*4}	℃	40																																																																			
流体等の種類 ^{*5}	-	気体 UF ₆																																																																			
臨界管理 核的制限値	濃縮度	%		5 以下																																																																	
	たて	mm		■																																																																	
主要寸法 ^{*6}	横	mm		■																																																																	
	高さ	mm		■																																																																	
主要材料 ^{*7}	ケーシング	-		■																																																																	
	個数 ^{*8}	基		2																																																																	
取付箇所	系統名 (ライン名)	-		2A カスケード系 (共通) ^{*12}																																																																	
	設置床 (室名称) ^{*9}	-		2A 中間室																																																																	
原動機	種類	-		誘導電動機 ^{*12}																																																																	
	出力	kW/基		1.5 ^{*12}																																																																	
	個数	基		2 ^{*12}																																																																	
	取付箇所	-	2A 中間室 ^{*12}																																																																		

設工認申請書と検査項目および検査方法の関連 (2/41)

設工認仕様表	検査項目																																																				
<p>廃品 UF₆ 圧力計 (製品濃縮度)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="2">名称</th> <td colspan="2">[製品濃縮度] *1</td> <td colspan="2">[製品濃縮度] *1</td> </tr> <tr> <th colspan="2">検出器の種類</th> <td colspan="2">[製品濃縮度] 検出器</td> <td colspan="2">[製品濃縮度] 検出器</td> </tr> <tr> <th colspan="2">計測範囲</th> <td>0 ~ 13.33 hPa</td> <td>0 ~ 700.0 gL/F₆/min (流量)</td> <td>変更なし</td> <td>—</td> </tr> <tr> <th colspan="2">警報動作範囲</th> <td colspan="2">製品濃縮度5%以下</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <th colspan="2">個数</th> <td>台 2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>—</td> </tr> <tr> <th rowspan="2">取付箇所</th> <th>系統名 (ライン名)</th> <td colspan="2">[製品濃縮度]</td> <td colspan="2">[製品濃縮度]</td> </tr> <tr> <th>設置床 (室名称)</th> <td colspan="2">2A中間室</td> <td colspan="2">変更なし</td> </tr> </thead> </table> <p>注記 *1: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。</p>			変更前		変更後		名称		[製品濃縮度] *1		[製品濃縮度] *1		検出器の種類		[製品濃縮度] 検出器		[製品濃縮度] 検出器		計測範囲		0 ~ 13.33 hPa	0 ~ 700.0 gL/F ₆ /min (流量)	変更なし	—	警報動作範囲		製品濃縮度5%以下		変更なし		個数		台 2	2	2	—	取付箇所	系統名 (ライン名)	[製品濃縮度]		[製品濃縮度]		設置床 (室名称)	2A中間室		変更なし		<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 23 R4 令和3年6月29日) 抜粋</p> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>水色: 変更なし、工事有り (計装盤更新含む)</p> <p>【検査項目】 計測範囲確認検査 (2号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 設定値確認検査 (2号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (据付後の試験記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 インターロック検査 (2号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (代表立会い)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> <p>既存機能および使用を停止する計器の機能について、基本設計方針検査として実施する。なお、仕様表上は検出器の削除だが、当該計器は監視用として使用継続するため据付・外観検査は対象外とする。</p> </div>					
		変更前		変更後																																																	
名称		[製品濃縮度] *1		[製品濃縮度] *1																																																	
検出器の種類		[製品濃縮度] 検出器		[製品濃縮度] 検出器																																																	
計測範囲		0 ~ 13.33 hPa	0 ~ 700.0 gL/F ₆ /min (流量)	変更なし	—																																																
警報動作範囲		製品濃縮度5%以下		変更なし																																																	
個数		台 2	2	2	—																																																
取付箇所	系統名 (ライン名)	[製品濃縮度]		[製品濃縮度]																																																	
	設置床 (室名称)	2A中間室		変更なし																																																	
<p>圧力・流量及び濃縮度測定装置による濃縮度管理のインターロック (主要配管 (RE-2A))</p> <p>(b) インターロック</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th colspan="4">変更前</th> <th colspan="4">変更後</th> </tr> <tr> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">圧力・流量及び濃縮度測定装置による濃縮度管理のインターロック (主要配管 (RE-2A))</td> <td>[製品濃縮度]</td> <td>2**</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2A中間室</td> <td rowspan="4">1**</td> <td rowspan="4">製品濃縮度 5%以下</td> <td rowspan="4">変更なし</td> <td>[製品濃縮度]</td> <td>2</td> <td>変更なし</td> <td>変更なし</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>[圧力]</td> <td>2**</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2A中間室</td> <td>変更なし</td> <td>変更なし</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>[製品濃縮度]</td> <td>2**</td> <td>設置床 (室名称) 2A中間室</td> <td>変更なし</td> <td>変更なし</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>[製品濃縮度]</td> <td>1**</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号Qマス室</td> <td>変更なし</td> <td>変更なし</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2: 本インターロックは、カスケード設備の製品側出口における濃縮度が5%を超える場合に、警報を発するとともに自動的にカスケード設備の生産を停止する。 *3: 二重化して[製品濃縮度]を監視することによりUF₆の濃縮度を管理し、製品側出口における濃縮度が5%を超える場合は、インターロックの起動信号を発する。 *4: 製品濃縮度測定装置によりUF₆の濃縮度を測定し、製品側出口における濃縮度が5%を超える場合は、インターロックの起動信号を発する。なお、製品濃縮度測定装置は2基設置し、通常1基で測定する。</p>			変更前				変更後				インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	圧力・流量及び濃縮度測定装置による濃縮度管理のインターロック (主要配管 (RE-2A))	[製品濃縮度]	2**	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2A中間室	1**	製品濃縮度 5%以下	変更なし	[製品濃縮度]	2	変更なし	変更なし	変更なし	[圧力]	2**	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2A中間室	変更なし	変更なし	変更なし	[製品濃縮度]	2**	設置床 (室名称) 2A中間室	変更なし	変更なし	変更なし	[製品濃縮度]	1**	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号Qマス室	変更なし	変更なし	変更なし	<p>図-1 カスケード設備 (第4回申請) の工事フロー</p>
		変更前				変更後																																															
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値																																										
圧力・流量及び濃縮度測定装置による濃縮度管理のインターロック (主要配管 (RE-2A))	[製品濃縮度]	2**	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2A中間室	1**	製品濃縮度 5%以下	変更なし	[製品濃縮度]	2	変更なし	変更なし	変更なし																																										
	[圧力]	2**	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2A中間室				変更なし	変更なし	変更なし																																												
	[製品濃縮度]	2**	設置床 (室名称) 2A中間室				変更なし	変更なし	変更なし																																												
	[製品濃縮度]	1**	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号Qマス室				変更なし	変更なし	変更なし																																												

設工認申請書と検査項目および検査方法の関連 (3/41)

設工認仕様表	検査項目																																																															
<p>地震計</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2" style="text-align: left;">名称</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>地震計 振子型地震検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>Gal</td> <td></td> <td>100 ~ 500^{*1}</td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>Gal</td> <td>—</td> <td>250 (水平) 125 (鉛直)</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>台</td> <td></td> <td>6 6</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—^{*2}</td> </tr> <tr> <td></td> <td>設置床 (室名称)</td> <td>—</td> <td>2号UF₀電源室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 加速度設定範囲を示す。 *2: 系統区別を必要としないため「—」とする。</p> <p>【検査項目】据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】実検査 (立会い)</p>	名称		変更前	変更後	検出器の種類	—		地震計 振子型地震検出器	計測範囲	Gal		100 ~ 500 ^{*1}	警報動作範囲	Gal	—	250 (水平) 125 (鉛直)	個数	台		6 6	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	— ^{*2}		設置床 (室名称)	—	2号UF ₀ 電源室	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 23 R4 令和 3 年 6 月 29 日) 抜粋</p> <div style="text-align: center;"> <p>改造工事 撤去工事</p> <p>機器及び配管</p> <p>既設設備</p> <pre> graph TD A[既設設備] --> B[インターロック 新設及び更新] A --> C[配管改造] A --> D[製品ブースタポンプ撤去 及び配管新設] B --> E[カバー等 の施工] C --> E D --> E E --> F[検査] </pre> </div> <p>【検査項目】計測範囲確認検査 (2号検査) 【検査方法】記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> <p>【検査項目】設定値確認検査 (2号検査) 【検査方法】記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> <p>【検査項目】インターロック検査 (2号検査) 【検査方法】実検査 (立会い)</p> <p>【検査項目】基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p>																																			
名称		変更前	変更後																																																													
検出器の種類	—		地震計 振子型地震検出器																																																													
計測範囲	Gal		100 ~ 500 ^{*1}																																																													
警報動作範囲	Gal	—	250 (水平) 125 (鉛直)																																																													
個数	台		6 6																																																													
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	— ^{*2}																																																													
	設置床 (室名称)	—	2号UF ₀ 電源室																																																													
<p>地震発生時のカスケード排気のインターロック (主要配管(RE-2A))</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="6">変更前</th> <th colspan="6">変更後</th> </tr> <tr> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="4">地震発生時のカスケード排気のインターロック (主要配管 (RE-2A))^{*1}</td> <td rowspan="4">地震計</td> <td>3^{*2}</td> <td>系統名 (ライン名) — 設置床 (室名称) 2号UF₀電源室</td> <td>2^{*2}</td> <td>250 Gal (水平)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3^{*2}</td> <td>系統名 (ライン名) — 設置床 (室名称) 2号UF₀電源室</td> <td>2^{*2}</td> <td>125 Gal (鉛直)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3^{*2}</td> <td>系統名 (ライン名) — 設置床 (室名称) 2号UF₀電源室</td> <td>2^{*2}</td> <td>250 Gal (水平)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3^{*2}</td> <td>系統名 (ライン名) — 設置床 (室名称) 2号UF₀電源室</td> <td>2^{*2}</td> <td>125 Gal (鉛直)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本インターロックは、第1類に求められる地震力を超えない程度の地震加速度 (震度5強~6弱程度 (第2類の地震力に相当する水平方向250 Gal又は鉛直方向125 Gal)) を検知して警報を発するとともに、カスケード設備のUF₀をカスケード排気系で排気する。 *2: 地震計は水平3台1組及び鉛直3台1組で、2系統設置する。検出器1組ごとに3個中2個の地震計が設定値に達した場合にインターロックの起動信号を発し、インターロックが動作する。</p>	変更前						変更後						インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値							地震発生時のカスケード排気のインターロック (主要配管 (RE-2A)) ^{*1}	地震計	3 ^{*2}	系統名 (ライン名) — 設置床 (室名称) 2号UF ₀ 電源室	2 ^{*2}	250 Gal (水平)						3 ^{*2}	系統名 (ライン名) — 設置床 (室名称) 2号UF ₀ 電源室	2 ^{*2}	125 Gal (鉛直)						3 ^{*2}	系統名 (ライン名) — 設置床 (室名称) 2号UF ₀ 電源室	2 ^{*2}	250 Gal (水平)						3 ^{*2}	系統名 (ライン名) — 設置床 (室名称) 2号UF ₀ 電源室	2 ^{*2}	125 Gal (鉛直)	<p>図-1 カスケード設備 (第4回申請) の工事フロー</p>
変更前						変更後																																																										
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値																																																					
						地震発生時のカスケード排気のインターロック (主要配管 (RE-2A)) ^{*1}	地震計	3 ^{*2}	系統名 (ライン名) — 設置床 (室名称) 2号UF ₀ 電源室	2 ^{*2}	250 Gal (水平)																																																					
					3 ^{*2}			系統名 (ライン名) — 設置床 (室名称) 2号UF ₀ 電源室	2 ^{*2}	125 Gal (鉛直)																																																						
					3 ^{*2}			系統名 (ライン名) — 設置床 (室名称) 2号UF ₀ 電源室	2 ^{*2}	250 Gal (水平)																																																						
					3 ^{*2}			系統名 (ライン名) — 設置床 (室名称) 2号UF ₀ 電源室	2 ^{*2}	125 Gal (鉛直)																																																						

設工認仕様表	検査項目																																																																		
<p>温水ユニット温度計、製品ガス移送ヘッダ圧力計、廃品ガス移送ヘッダ圧力計</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td colspan="2">温水ユニット温度計*</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>-</td> <td colspan="2">測温抵抗体</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>℃</td> <td colspan="2">0.0 ~ 100.0</td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>-</td> <td colspan="2">管理温度 (■℃) を超えない範囲</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>-</td> <td colspan="2">2</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td colspan="2">温水ユニット温度</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td colspan="2">2号発回均質室</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)</td> <td>-</td> <td colspan="2"></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本機器は、既存の設備である。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content;"> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <p>温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロック (2号発生槽) 製品ガス移送ヘッダ配管圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2号製品コールドトラップ) 廃品ガス移送ヘッダ配管圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2A 廃品コールドトラップ) 回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2号一般パージ系コールドトラップ) 【5回申請】</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>設定値</th> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロック (2号発生槽) *1*2</td> <td>温水ユニット温度計</td> <td>1</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号発回均質室</td> <td>■℃ 以下</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本インターロックは、原料ラインの加熱中に加熱用温水の温度が上昇した場合に、警報を発するとともに自動的に加熱用温水の供給を停止する。 *2: 本インターロックは温水ユニットの温水ユニット温度計ごとに設置する。温水ユニットの温水ユニット温度計は2台あるため、本インターロックは計2式設置する。</p>	変更前		変更後		名称		温水ユニット温度計*		検出器の種類	-	測温抵抗体		計測範囲	℃	0.0 ~ 100.0		警報動作範囲	-	管理温度 (■℃) を超えない範囲		個数	-	2		取付箇所		温水ユニット温度		系統名 (ライン名)	-	2号発回均質室		設置床 (室名称)	-			変更前					変更後					インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	設定値	-	-	-	-	-	温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロック (2号発生槽) *1*2	温水ユニット温度計	1	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号発回均質室	■℃ 以下	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 23 R4 令和3年6月29日) 抜粋</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>更新工事</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>耐震補強工事</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>改造工事</p> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content;"> <p>【検査項目】 計測範囲確認検査 (2号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <p>【検査項目】 設定値確認検査 (2号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (据付後の試験記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <p>【検査項目】 インターロック検査 (2号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い) (設定値をあわせて確認する)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; width: fit-content; margin-top: 10px;"> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> </div> </div>
変更前		変更後																																																																	
名称		温水ユニット温度計*																																																																	
検出器の種類	-	測温抵抗体																																																																	
計測範囲	℃	0.0 ~ 100.0																																																																	
警報動作範囲	-	管理温度 (■℃) を超えない範囲																																																																	
個数	-	2																																																																	
取付箇所		温水ユニット温度																																																																	
系統名 (ライン名)	-	2号発回均質室																																																																	
設置床 (室名称)	-																																																																		
変更前					変更後																																																														
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	設定値																																																										
-	-	-	-	-	温水ユニット温度高高による加熱停止のインターロック (2号発生槽) *1*2	温水ユニット温度計	1	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号発回均質室	■℃ 以下																																																										

図-2 UF₆処理設備の工事フロー

設工認仕様表	検査項目																																																								
<p>地震発生時の加熱停止のインターロック (2号発生槽) 地震発生時の加熱停止のインターロック (2号製品コールドトラップ) 地震発生時の加熱停止のインターロック (2A 廃品コールドトラップ) 地震発生時の加熱停止のインターロック (2号一般バージ系コールドトラップ) 地震発生時のUF6漏えい防止インターロック (2号均質槽) 【5回申請】 地震発生時の加熱停止のインターロック (2号製品シリンダ槽) 【5回申請】 地震発生時の加熱停止のインターロック (2号原料シリンダ槽) 【5回申請】 地震発生時の加熱停止のインターロック (2号サンプル小分け装置) 【5回申請】 地震発生時のUF6漏えい防止インターロック (2号局所排気装置) 【5回申請】 地震発生時の加熱停止のインターロック (2号均質バージ系コールドトラップ) 【5回申請】</p>	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 23 R4 令和3年6月29日) 抜粋</p>																																																								
<p>ロー2-9</p> <table border="1" data-bbox="276 1140 1448 1686"> <thead> <tr> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>設定値</th> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="4">地震発生時の加熱停止のインターロック (2号発生槽) **2</td> <td rowspan="4">地震計</td> <td>3** (水平)</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号UF₆電源室</td> <td>2** (水平)</td> <td>250 Gal (水平)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3** (鉛直)</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号UF₆電源室</td> <td>2** (鉛直)</td> <td>125 Gal (鉛直)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3** (水平)</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号UF₆電源室</td> <td>2** (水平)</td> <td>250 Gal (水平)</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3** (鉛直)</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号UF₆電源室</td> <td>2** (鉛直)</td> <td>125 Gal (鉛直)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記: *1: 本検出器は、ガスケット設備の地震発生時のガスケット排気のインターロックとして使用する検出器とされている。 *2: 本インターロックは、第1類に求められる地震力を超えない程度の地震加速度 (震度5強~6弱程度 (第2類の地震力に相当する水平方向250 Gal又は鉛直方向125 Gal)) を検知して警報を発するとともに、自動的に2号発生槽の加熱を停止し、UF₆を閉じ込める。 *3: 地震計は水平3台1組及び鉛直3台1組で、2系統設置する。検出器1組ごとに3個中2個の地震計が設定値に達した場合にインターロックの起動信号を発生し、2号発生槽 (7基) に対してインターロックが動作する。</p>	変更前					変更後					インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値						地震発生時の加熱停止のインターロック (2号発生槽) **2	地震計	3** (水平)	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号UF ₆ 電源室	2** (水平)	250 Gal (水平)					3** (鉛直)	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号UF ₆ 電源室	2** (鉛直)	125 Gal (鉛直)					3** (水平)	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号UF ₆ 電源室	2** (水平)	250 Gal (水平)					3** (鉛直)	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号UF ₆ 電源室	2** (鉛直)	125 Gal (鉛直)	<p>【検査項目】 インターロック検査 (2号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p> <p>図-2 UF₆処理設備の工事フロー</p>
変更前					変更後																																																				
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値																																															
					地震発生時の加熱停止のインターロック (2号発生槽) **2	地震計	3** (水平)	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号UF ₆ 電源室	2** (水平)	250 Gal (水平)																																															
				3** (鉛直)			系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号UF ₆ 電源室	2** (鉛直)	125 Gal (鉛直)																																																
				3** (水平)			系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号UF ₆ 電源室	2** (水平)	250 Gal (水平)																																																
				3** (鉛直)			系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号UF ₆ 電源室	2** (鉛直)	125 Gal (鉛直)																																																

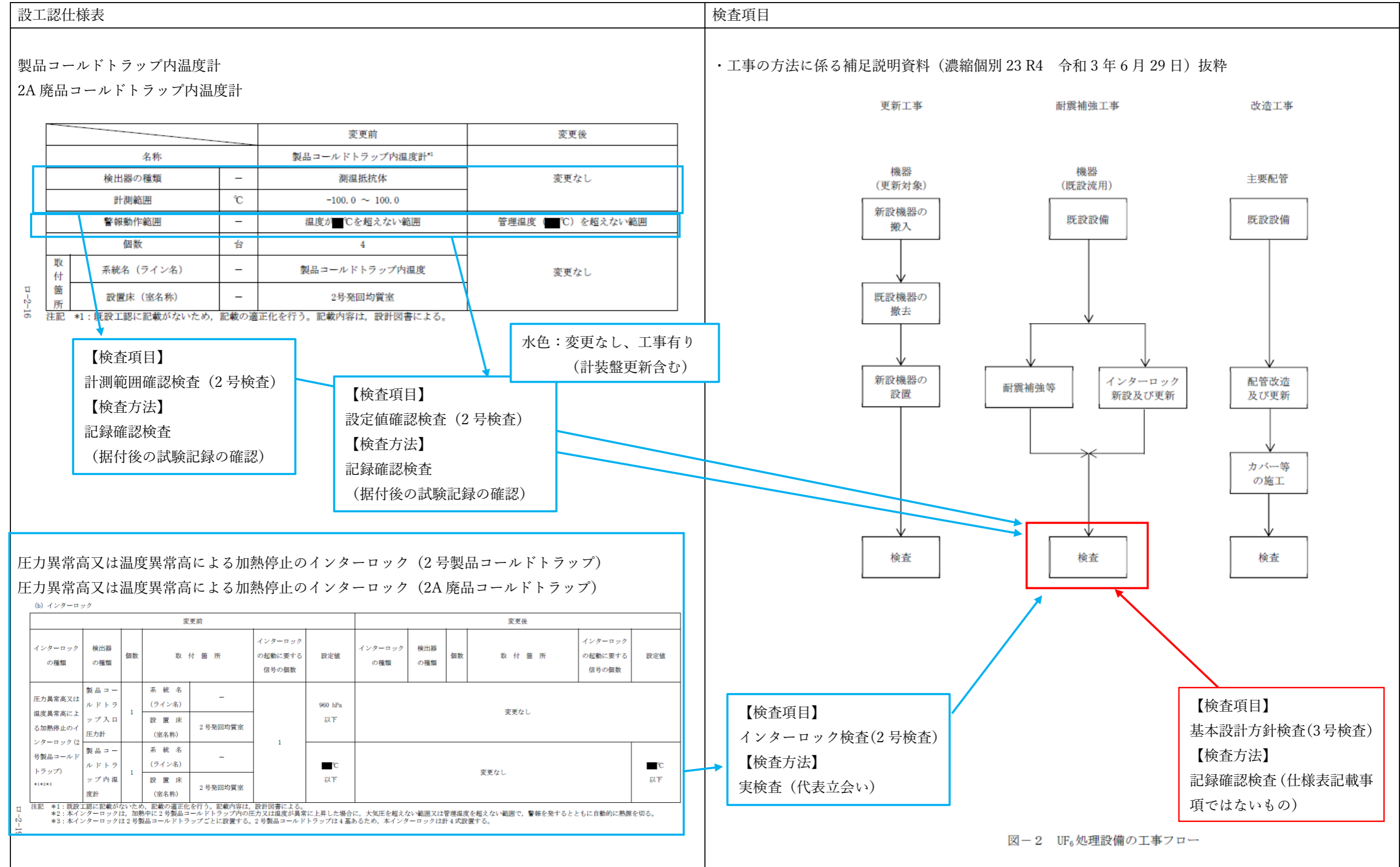
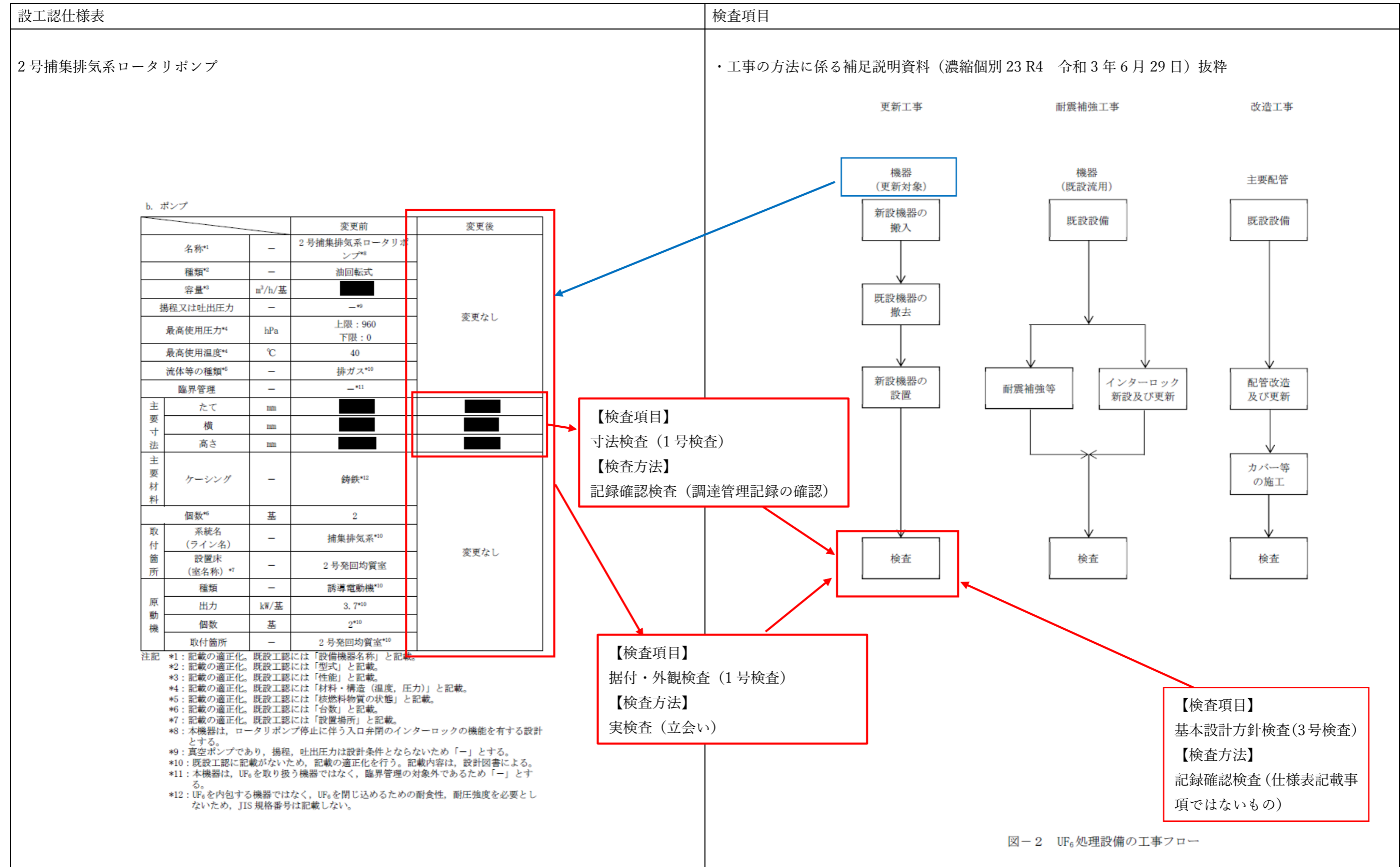


図-2 UF₆処理設備の工事フロー

設工認仕様表	検査項目																																		
<p>廃品回収槽回収停止による待機槽回収開始インターロック (2号廃品回収槽)</p> <table border="1" data-bbox="255 1297 1448 1581"> <thead> <tr> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>廃品回収槽回収停止による待機槽回収開始インターロック (2号廃品回収槽)</td> <td>2号廃品回収槽</td> <td>1</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号発回均質室</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本インターロックは、2A 廃品コールドトラップから2号廃品回収槽へのガス移送時に2号廃品回収槽の故障に伴う回収停止が発生した場合に、系内の圧力の上昇を避けるため、待機中の2号廃品回収槽が自動で回収する。 *2: 本インターロックは2号廃品回収槽ごとに設置する。150 tSWU/y分 (BE-2A) の運転に使用する2号廃品回収槽8基のうち3基が本機能を有するため、本インターロックは計3式設置する。</p>	変更前					変更後					インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	-	-	-	-	-	-	廃品回収槽回収停止による待機槽回収開始インターロック (2号廃品回収槽)	2号廃品回収槽	1	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号発回均質室	1	-	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 23 R4 令和3年6月29日) 抜粋</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; text-align: center;"> <div data-bbox="1721 420 1899 1302"> <p>更新工事</p> <p>機器 (更新対象)</p> <p>新設機器の搬入</p> <p>↓</p> <p>既設機器の撤去</p> <p>↓</p> <p>新設機器の設置</p> <p>↓</p> <p>検査</p> </div> <div data-bbox="1958 420 2315 1302"> <p>耐震補強工事</p> <p>機器 (既設流用)</p> <p>既設設備</p> <p>↓</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div>耐震補強等</div> <div>インターロック新設及び更新</div> </div> <p>↓</p> <p>検査</p> </div> <div data-bbox="2404 420 2552 1302"> <p>改造工事</p> <p>主要配管</p> <p>既設設備</p> <p>↓</p> <p>配管改造及び更新</p> <p>↓</p> <p>カバー等の施工</p> <p>↓</p> <p>検査</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div data-bbox="1484 1449 1929 1638" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【検査項目】 インターロック検査 (2号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <div data-bbox="2285 1491 2671 1722" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> </div> </div>
変更前					変更後																														
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値																								
-	-	-	-	-	-	廃品回収槽回収停止による待機槽回収開始インターロック (2号廃品回収槽)	2号廃品回収槽	1	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号発回均質室	1	-																								

図-2 UF₆処理設備の工事フロー

ロー-2-35



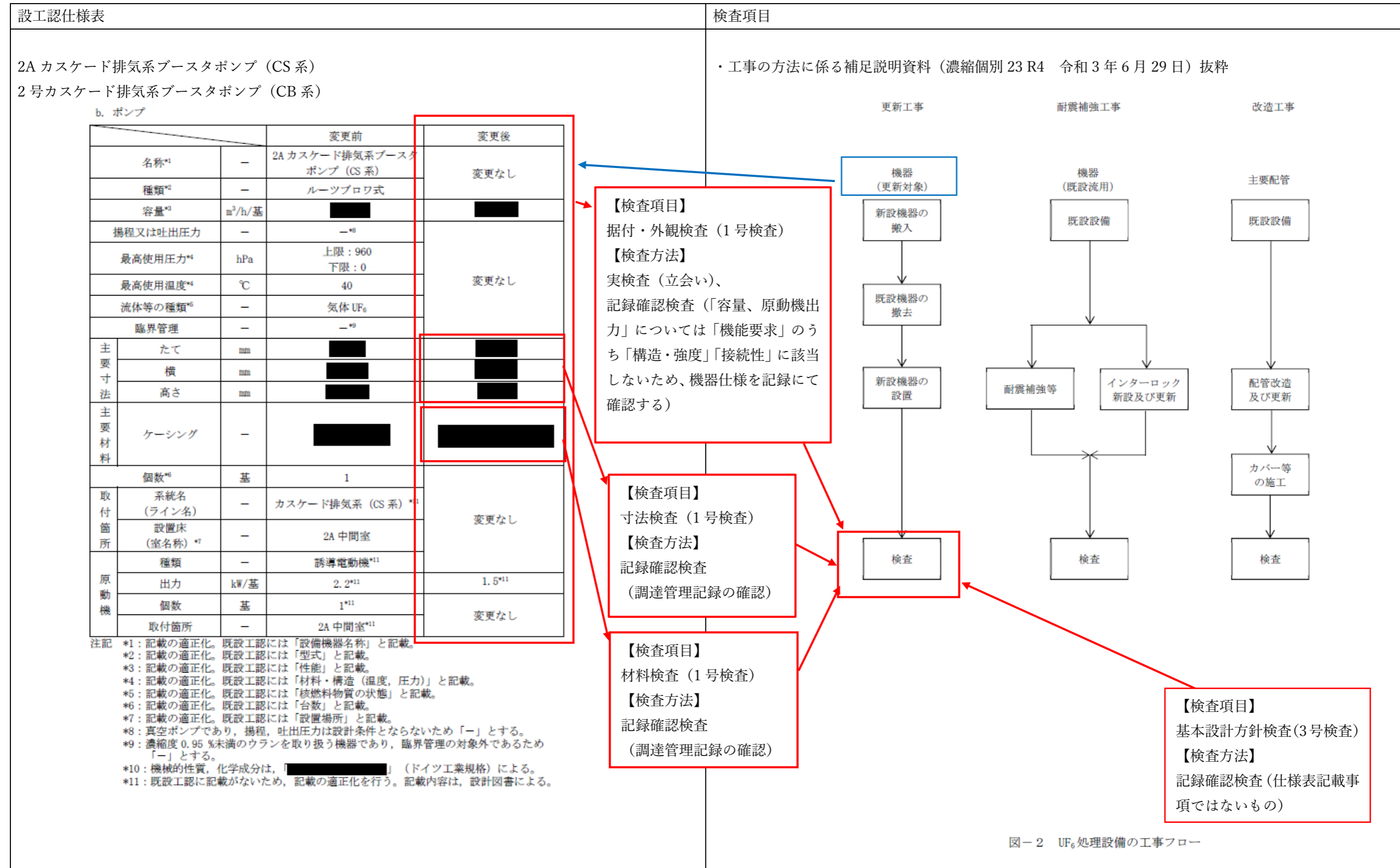


図-2 UF₆処理設備の工事フロー

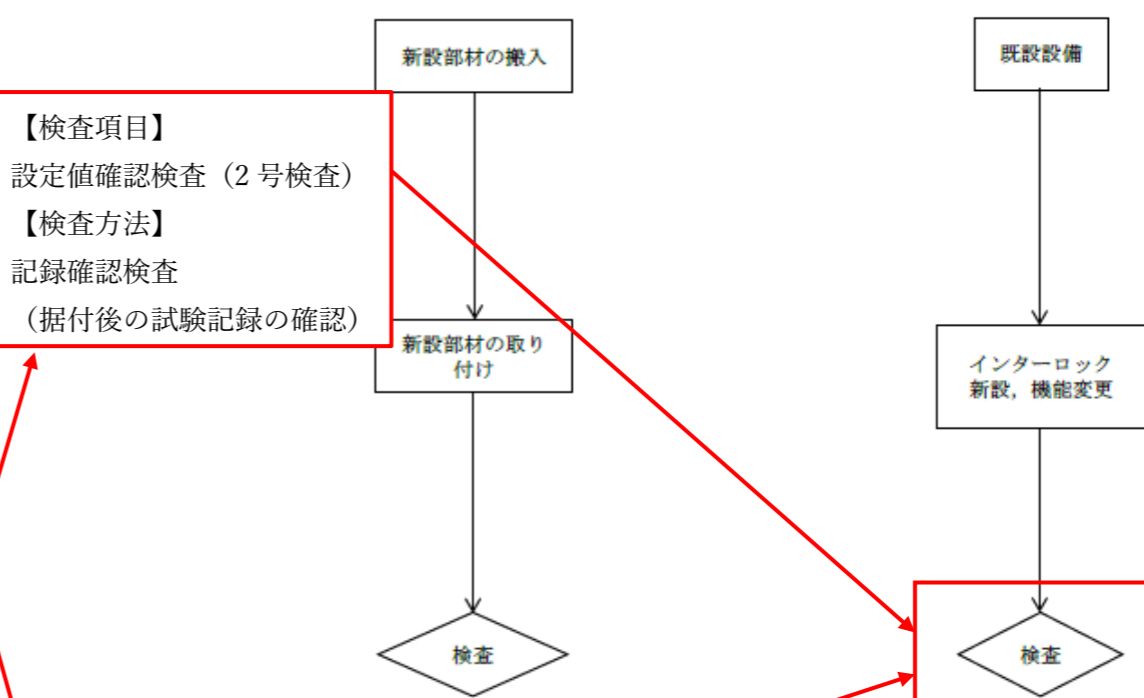
設工認仕様表	検査項目																																																														
<p>均質槽内圧力計 【5 回申請】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td colspan="2">均質槽内圧力計^{※1}</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">[] 検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>kPaG</td> <td colspan="2">-100 ~ 300</td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>—</td> <td colspan="2">通常使用圧力より有意な上昇と判断される圧力 [] kPaG 以下</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">6</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td colspan="2">均質槽内圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">2号発回均質室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本機器は、既存の設備である。</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <p>均質槽内圧力異常高による運転停止のインターロック (2号均質槽) 【5 回申請】</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-bottom: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>設定値</th> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>均質槽内圧力異常高による運転停止のインターロック (2号均質槽) *1*2</td> <td>均質槽内圧力計</td> <td>1</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号発回均質室</td> <td>[] kPaG</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本インターロックは、2号均質槽の加熱中に2号均質槽内圧力が上昇した場合に警報を発するとともに自動的に加熱を停止し、UF₆を閉じ込める。 *2: 本インターロックは、2号均質槽ごとに設置する。2号均質槽は6基あるため、本インターロックは計6式設置する。</p>	変更前		変更後		名称		均質槽内圧力計 ^{※1}		検出器の種類	—	[] 検出器		計測範囲	kPaG	-100 ~ 300		警報動作範囲	—	通常使用圧力より有意な上昇と判断される圧力 [] kPaG 以下		個数	—	6		取付箇所		均質槽内圧力				2号発回均質室		変更前					変更後					インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	設定値	—	—	—	—	—	均質槽内圧力異常高による運転停止のインターロック (2号均質槽) *1*2	均質槽内圧力計	1	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号発回均質室	[] kPaG	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 50 R4 令和4年1月18日 【5 回申請】) 抜粋</p> <div style="text-align: center;"> <p>(c) 設置工事 (主要配管, 2号減圧槽 (カバー, シート))</p> <p>(d) 設置工事 (2号均質槽 (防護カバー))</p> <p>(e) インターロック新設, 機能変更工事 (地震インターロック, ガス移送停止のインターロック, UF₆漏えい拡大防止のインターロック)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【検査項目】 計測範囲確認検査 (2号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【検査項目】 設定値確認検査 (2号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (据付後の試験記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【検査項目】 インターロック検査 (2号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> </div> <p style="text-align: center;">補足図-2 (2/2) 均質・ブレンディング設備の工事フロー</p>
変更前		変更後																																																													
名称		均質槽内圧力計 ^{※1}																																																													
検出器の種類	—	[] 検出器																																																													
計測範囲	kPaG	-100 ~ 300																																																													
警報動作範囲	—	通常使用圧力より有意な上昇と判断される圧力 [] kPaG 以下																																																													
個数	—	6																																																													
取付箇所		均質槽内圧力																																																													
		2号発回均質室																																																													
変更前					変更後																																																										
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	設定値																																																						
—	—	—	—	—	均質槽内圧力異常高による運転停止のインターロック (2号均質槽) *1*2	均質槽内圧力計	1	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称) 2号発回均質室	[] kPaG																																																						

設工認仕様表	検査項目																																												
<p>減圧槽内圧力計【5回申請】</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td colspan="2">減圧槽内圧力計^{*1}</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">[] 検出器</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>hPa</td> <td colspan="2">0 ~ 1333</td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>—</td> <td colspan="2">UF₆が流入したと判断される圧力 [] hPa) 以下</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>台</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td colspan="2">減圧槽内圧力</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">2号発回均質室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本機器は、既存の設備である。</p>	変更前		変更後		名称		減圧槽内圧力計 ^{*1}		検出器の種類	—	[] 検出器		計測範囲	hPa	0 ~ 1333		警報動作範囲	—	UF ₆ が流入したと判断される圧力 [] hPa) 以下		個数	台	1		取付箇所		減圧槽内圧力				2号発回均質室		<p>・工事の方法に係る補足説明資料（濃縮個別 50 R4 令和4年1月18日【5回申請】）抜粋</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 計測範囲確認検査 (2号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録または試験記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 設定値確認検査 (2号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (据付後の試験記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 インターロック検査 (2号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い) (設定値をあわせて確認する)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> </div>												
変更前		変更後																																											
名称		減圧槽内圧力計 ^{*1}																																											
検出器の種類	—	[] 検出器																																											
計測範囲	hPa	0 ~ 1333																																											
警報動作範囲	—	UF ₆ が流入したと判断される圧力 [] hPa) 以下																																											
個数	台	1																																											
取付箇所		減圧槽内圧力																																											
		2号発回均質室																																											
<p>減圧槽入口配管温度計【5回申請】</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td></td> <td colspan="2">減圧槽入口配管温度計^{*1}</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">測温抵抗体</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>℃</td> <td colspan="2">0.0 ~ 150.0</td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>—</td> <td colspan="2"> ・配管の最高使用温度 (100℃) を超えない範囲 (温度上昇時) ・UF₆固化を防止する温度 []℃) を下回らない範囲 (温度低下時) </td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>台</td> <td colspan="2">1</td> </tr> <tr> <td>取付箇所</td> <td></td> <td colspan="2">減圧槽入口配管温度</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="2">2号発回均質室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本機器は、既存の設備である。</p>	変更前		変更後		名称		減圧槽入口配管温度計 ^{*1}		検出器の種類	—	測温抵抗体		計測範囲	℃	0.0 ~ 150.0		警報動作範囲	—	・配管の最高使用温度 (100℃) を超えない範囲 (温度上昇時) ・UF ₆ 固化を防止する温度 []℃) を下回らない範囲 (温度低下時)		個数	台	1		取付箇所		減圧槽入口配管温度				2号発回均質室		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 設定値確認検査 (2号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (据付後の試験記録の確認)</p> </div>												
変更前		変更後																																											
名称		減圧槽入口配管温度計 ^{*1}																																											
検出器の種類	—	測温抵抗体																																											
計測範囲	℃	0.0 ~ 150.0																																											
警報動作範囲	—	・配管の最高使用温度 (100℃) を超えない範囲 (温度上昇時) ・UF ₆ 固化を防止する温度 []℃) を下回らない範囲 (温度低下時)																																											
個数	台	1																																											
取付箇所		減圧槽入口配管温度																																											
		2号発回均質室																																											
<p>減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロック (2号均質槽)【5回申請】</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th colspan="4">変更前</th> <th colspan="4">変更後</th> </tr> <tr> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロック (2号均質槽)^{*1*}</td> <td>減圧槽内圧力計</td> <td>1</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 (室名称)</td> <td>—</td> <td>[] hPa</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>減圧槽入口配管温度計</td> <td>1</td> <td>系統名 (ライン名) 設置床 (室名称)</td> <td>1</td> <td>100℃ 以下 (温度上昇時) []℃ (温度低下時)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本インターロックは、2号均質槽の加熱中に減圧槽入口配管温度が上昇又は低下した場合又は減圧槽内圧力が上昇した場合に警報を発するとともに自動的に加熱を停止し、UF₆を閉じ込める。 *2: 減圧槽入口配管温度又は減圧槽内圧力が設定値に達した場合にインターロックの起動信号を発生し、2号均質槽 (6基) に対してインターロックが動作する。</p>	変更前				変更後				インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	—	—	—	—	—	—	減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロック (2号均質槽) ^{*1*}	減圧槽内圧力計	1	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称)	—	[] hPa	—	—	—	—	—	—	—	減圧槽入口配管温度計	1	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称)	1	100℃ 以下 (温度上昇時) []℃ (温度低下時)	<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 設定値確認検査 (2号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (据付後の試験記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 インターロック検査 (2号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い) (設定値をあわせて確認する)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> </div>
変更前				変更後																																									
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値																																		
—	—	—	—	—	—	減圧槽故障による均質槽加熱停止インターロック (2号均質槽) ^{*1*}	減圧槽内圧力計	1	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称)	—	[] hPa																																		
—	—	—	—	—	—	—	減圧槽入口配管温度計	1	系統名 (ライン名) 設置床 (室名称)	1	100℃ 以下 (温度上昇時) []℃ (温度低下時)																																		

補足図-2 (2/2) 均質・ブレンディング設備の工事フロー

設工認仕様表	検査項目																																		
<p>2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック (2号均質槽) 【5回申請】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック (2号均質槽) *1*2</td> <td>2号局所排風機一式</td> <td>1</td> <td>系統名 (ライン名) 排気室</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本インターロックは、2号均質槽の加熱中に2号局所排風機が2台 (全数) 停止した場合、自動的に加熱を停止し、UF₆を排せしめる。 *2: 2号局所排風機が2台 (全数) 停止した場合にインターロックの起動信号を発生し、2号均質槽 (6基) に対してインターロックが動作する。</p>	変更前					変更後					インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	-	-	-	-	-	-	2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック (2号均質槽) *1*2	2号局所排風機一式	1	系統名 (ライン名) 排気室	1	-	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 50 R4 令和4年1月18日 【5回申請】) 抜粋</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(c) 設置工事 (主要配管, 2号減圧槽 (カバー, シート))</p> <p>(d) 設置工事 (2号均質槽 (防護カバー))</p> <pre> graph TD A[新設部材の搬入] --> B[新設部材の取り付け] B --> C{検査} </pre> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(e) インターロック新設, 機能変更工事 (地震インターロック, ガス移送停止のインターロック, UF₆漏えい拡大防止のインターロック)</p> <pre> graph TD D[既設設備] --> E[インターロック新設, 機能変更] E --> F{検査} </pre> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>【検査項目】 インターロック検査 (2号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p> <p>【検査項目】 基本設計方針検査(3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> </div>
変更前					変更後																														
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値																								
-	-	-	-	-	-	2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック (2号均質槽) *1*2	2号局所排風機一式	1	系統名 (ライン名) 排気室	1	-																								
<p>2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック (2号サンプル小分け装置) 【5回申請】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック (2号サンプル小分け装置) *1*2</td> <td>2号局所排風機一式</td> <td>1</td> <td>系統名 (ライン名) 排気室</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本インターロックは、2号サンプル小分け装置の加熱中に2号局所排風機が2台 (全数) 停止した場合、自動的に加熱を停止する。 *2: 本インターロックは、2号サンプル小分け装置に設置する。2号サンプル小分け装置は1基であるため、本インターロックは1式設置する。</p>	変更前					変更後					インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	-	-	-	-	-	-	2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック (2号サンプル小分け装置) *1*2	2号局所排風機一式	1	系統名 (ライン名) 排気室	1	-	<p>補足図-2 (2/2) 均質・ブレンディング設備の工事フロー</p>
変更前					変更後																														
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値																								
-	-	-	-	-	-	2号局所排風機2台停止による加熱停止のインターロック (2号サンプル小分け装置) *1*2	2号局所排風機一式	1	系統名 (ライン名) 排気室	1	-																								

設工認申請書と検査項目および検査方法の関連 (13/41)

設工認仕様表	検査項目																																																																																
<p>回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2号均質槽) 【5回申請】</p> <p>回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2号製品シリンダ槽) 【5回申請】</p> <p>回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2号原料シリンダ槽) 【5回申請】</p> <p>回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2号均質パージ系コールドトラップ) 【5回申請】</p> <table border="1" data-bbox="261 619 1439 1102"> <thead> <tr> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2号均質槽) *1*2</td> <td>製品シリンダ/廃品シリンダ内圧力計 (製品シリンダ槽入口圧力計)</td> <td>1</td> <td>系統名 (ライン名) - 設置床 (室名称) 2号発回均質室</td> <td>1</td> <td>960 hPa 以下</td> </tr> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>中間製品容器内圧力計 (均質槽入口圧力計)</td> <td>中間製品容器内圧力計 (均質槽入口圧力計)</td> <td>1</td> <td>系統名 (ライン名) - 設置床 (室名称) 2号発回均質室</td> <td>1</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本インターロックは、2号均質槽から製品シリンダ槽又は均質槽へのガス移送時に、回収側槽の圧力が上昇 (ただし大気圧以下) した場合に、大気圧を超えない範囲で警報を発するとともに、2号均質槽の移送停止及び回収側槽の回収を停止する。 *2: 本インターロックは、回収側槽ごとに設置する。回収側槽は2号均質槽6基、2号製品シリンダ槽6基であるため、本インターロックは計12式設置する。</p> <p>注) 検出計器類はすべて既設計器であり変更なし。</p> <p>工程用モニタ HF 濃度高による UF6 漏えい拡大防止のインターロック (2号局所排気装置) 【5回申請】</p> <table border="1" data-bbox="261 1302 1439 1627"> <thead> <tr> <th colspan="5">変更前</th> <th colspan="5">変更後</th> </tr> <tr> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> <th>インターロックの種類</th> <th>検出器の種類</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> <th>インターロックの起動に要する信号の個数</th> <th>設定値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>工程用モニタ HF 濃度高による UF6 漏えい拡大防止のインターロック (2号局所排気装置) *1*2*3*4</td> <td>2号工程用モニタ</td> <td>2</td> <td>系統名 (ライン名) - 設置床 (室名称) 2号発回均質室</td> <td>1</td> <td>0.2 ppm</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *2: 本インターロックは、2号工程用モニタの HF 濃度が異常に上昇した場合に、警報を発するとともに自動的に2号局所排気装置バイパスライン切替弁 (ダンパ) を閉じ、UF6 を閉じ込める。 *3: 2号工程用モニタは、2個中1個の2号工程用モニタが設定値に達した場合にインターロックの起動信号を発生し、2号局所排気装置バイパスライン切替弁 (ダンパ) に対してインターロックが動作する。 *4: UF6 が漏えいしている2号工程用モニタより漏えいを検知し、2号局所排気装置バイパスライン切替弁 (ダンパ) を閉止するまでの時間は、30秒以内とする。</p> <p>注) 検出計器類は既設計器であり変更なし。</p>	変更前					変更後					インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	-	-	-	-	-	-	回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2号均質槽) *1*2	製品シリンダ/廃品シリンダ内圧力計 (製品シリンダ槽入口圧力計)	1	系統名 (ライン名) - 設置床 (室名称) 2号発回均質室	1	960 hPa 以下	-	-	-	-	-	-	中間製品容器内圧力計 (均質槽入口圧力計)	中間製品容器内圧力計 (均質槽入口圧力計)	1	系統名 (ライン名) - 設置床 (室名称) 2号発回均質室	1	-	変更前					変更後					インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	-	-	-	-	-	-	工程用モニタ HF 濃度高による UF6 漏えい拡大防止のインターロック (2号局所排気装置) *1*2*3*4	2号工程用モニタ	2	系統名 (ライン名) - 設置床 (室名称) 2号発回均質室	1	0.2 ppm	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 50 R4 令和4年1月18日 【5回申請】) 抜粋</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1721 483 2122 535"> <p>(c) 設置工事 (主要配管、2号減圧槽 (カバー、シート))</p> </div> <div data-bbox="2285 493 2626 588"> <p>(e) インターロック新設、 機能変更工事 (地震インターロック、 ガス移送停止のインターロック、 UF6 漏えい拡大防止のインターロック)</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1795 577 2047 630"> <p>(d) 設置工事 (2号均質槽 (防護カバー))</p> </div> </div>  <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div data-bbox="1484 756 1840 997" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【検査項目】 設定値確認検査 (2号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (据付後の試験記録の確認)</p> </div> <div data-bbox="1484 1333 1958 1543" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【検査項目】 インターロック検査 (2号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <div data-bbox="2315 1407 2686 1638" style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">補足図-2 (2/2) 均質・ブレンディング設備の工事フロー</p>
変更前					変更後																																																																												
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値																																																																						
-	-	-	-	-	-	回収側槽類圧力異常上昇によるガス移送停止のインターロック (2号均質槽) *1*2	製品シリンダ/廃品シリンダ内圧力計 (製品シリンダ槽入口圧力計)	1	系統名 (ライン名) - 設置床 (室名称) 2号発回均質室	1	960 hPa 以下																																																																						
-	-	-	-	-	-	中間製品容器内圧力計 (均質槽入口圧力計)	中間製品容器内圧力計 (均質槽入口圧力計)	1	系統名 (ライン名) - 設置床 (室名称) 2号発回均質室	1	-																																																																						
変更前					変更後																																																																												
インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値	インターロックの種類	検出器の種類	個数	取付箇所	インターロックの起動に要する信号の個数	設定値																																																																						
-	-	-	-	-	-	工程用モニタ HF 濃度高による UF6 漏えい拡大防止のインターロック (2号局所排気装置) *1*2*3*4	2号工程用モニタ	2	系統名 (ライン名) - 設置床 (室名称) 2号発回均質室	1	0.2 ppm																																																																						

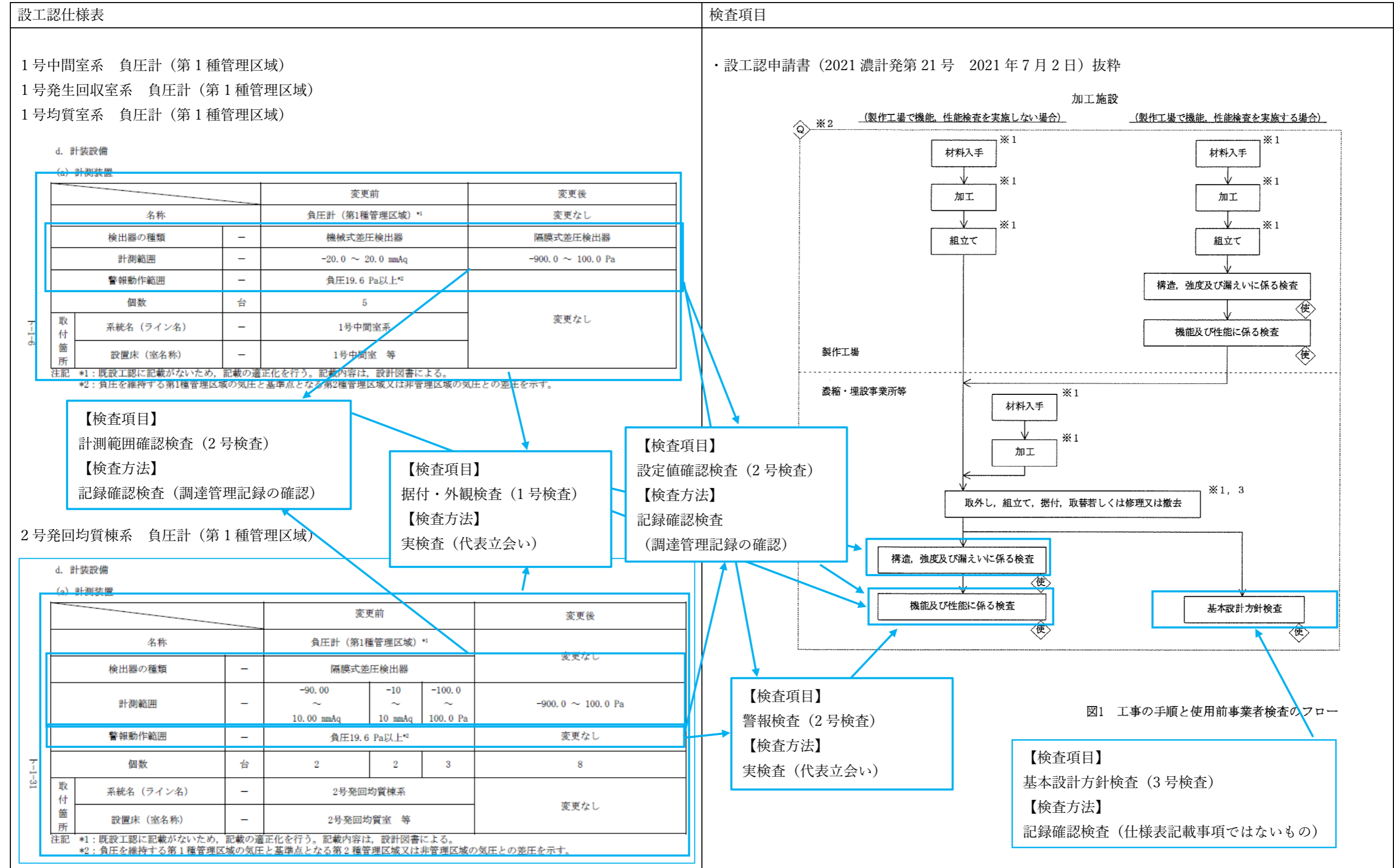


図1 工事の手順と使用前事業者検査のフロー

設工認仕様表				検査項目																																																
発生回収室換気用モニタ 均質室換気用モニタ				・設工認申請書 (2021 濃計発第 21 号 2021 年 7 月 2 日) 抜粋																																																
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称*<!--1</td--> <td>-</td> <td>発生回収室換気用モニタ</td> </td></tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>管体</td> <td>-</td> <td>鋼板*6</td> </tr> <tr> <td>サンプリング部</td> <td>-</td> <td>テフロン*6</td> </tr> <tr> <td colspan="2">検出器の種類*<!--2</td--> <td>-</td> <td>HF 検知式 (湿式捕集型双イオン電極法)</td> </td></tr> <tr> <td colspan="2">計測範囲*3</td> <td>ppb</td> <td>0.04 ~ 2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">警報動作範囲*3</td> <td>ppb</td> <td>0.04 ~ 2</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数*4</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>-*7</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称) *5</td> <td>-</td> <td>1号発生回収室</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>-</td> <td>-*8</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>mm</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td></td> <td>床面+100 以上</td> </tr> </tbody> </table>						変更前	変更後	名称* 1</td <td>-</td> <td>発生回収室換気用モニタ</td>		-	発生回収室換気用モニタ	主要材料	管体	-	鋼板*6	サンプリング部	-	テフロン*6	検出器の種類* 2</td <td>-</td> <td>HF 検知式 (湿式捕集型双イオン電極法)</td>		-	HF 検知式 (湿式捕集型双イオン電極法)	計測範囲*3		ppb	0.04 ~ 2	警報動作範囲*3		ppb	0.04 ~ 2	個数*4		台	1	取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-*7	設置床 (室名称) *5	-	1号発生回収室	溢水防護上の区画番号	-	-*8	溢水防護上の配慮が必要な高さ	mm	-				床面+100 以上	
		変更前	変更後																																																	
名称* 1</td <td>-</td> <td>発生回収室換気用モニタ</td>		-	発生回収室換気用モニタ																																																	
主要材料	管体	-	鋼板*6																																																	
	サンプリング部	-	テフロン*6																																																	
検出器の種類* 2</td <td>-</td> <td>HF 検知式 (湿式捕集型双イオン電極法)</td>		-	HF 検知式 (湿式捕集型双イオン電極法)																																																	
計測範囲*3		ppb	0.04 ~ 2																																																	
警報動作範囲*3		ppb	0.04 ~ 2																																																	
個数*4		台	1																																																	
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	-*7																																																	
	設置床 (室名称) *5	-	1号発生回収室																																																	
	溢水防護上の区画番号	-	-*8																																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	mm	-																																																	
			床面+100 以上																																																	
<p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備・機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *6: UF₀を内包する機器ではなく、UF₀を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS 規格番号は記載しない。 *7: 系統区別を必要としないため「-」とする。 *8: 溢水防護上の区画番号を設定していないことから「-」とする。</p>				<p>加工施設 ※2 (製作工場で機能、性能検査を実施しない場合) (製作工場で機能、性能検査を実施する場合)</p> <p>製作工場 濃縮・埋設事業所等</p>																																																
<p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (代表立会い)</p>		<p>【検査項目】 計測範囲確認検査 (2号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p>		<p>【検査項目】 設定値確認検査 (2号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p>																																																
<p>【検査項目】 警報検査 (2号検査) 【検査方法】 実検査 (代表立会い)</p>		<p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p>		<p>図1 工事の手順と使用前事業者検査のフロー</p>																																																

設工認仕様表	検査項目																																																																																	
<p>2号無停電電源装置 (A-1,A-2)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>2号無停電電源装置 (A-1, A-2) ^{*5}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">種類^{*2}</td> <td>インバータ盤</td> <td>—^{*6}</td> <td rowspan="2">蓄電池盤 (鉛蓄電池 (セル数: 180))</td> </tr> <tr> <td>出力切替盤</td> <td>—^{*6}</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">容量^{*2}</td> <td>インバータ盤</td> <td>kVA/台</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>蓄電池盤</td> <td>Ah/10 hr/台</td> <td>—^{*6}</td> </tr> <tr> <td>電圧</td> <td>V</td> <td>420^{*5}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>50^{*5}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">主要寸法</td> <td rowspan="3">インバータ盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1800</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1950</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">出力切替盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1600</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1950</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">蓄電池盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3800</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1950</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>インバータ盤</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*7}</td> </tr> <tr> <td>出力切替盤</td> <td>—</td> <td>—^{*6}</td> </tr> <tr> <td>蓄電池盤</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*7}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*3}</td> <td>台</td> <td>2</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>非常用電源系</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*4}</td> <td>—</td> <td>非常用電源室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *5: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *6: 新設機器であるため「—」とする。 *7: UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としな</p>			変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	2号無停電電源装置 (A-1, A-2) ^{*5}	変更なし	種類 ^{*2}	インバータ盤	— ^{*6}	蓄電池盤 (鉛蓄電池 (セル数: 180))	出力切替盤	— ^{*6}	容量 ^{*2}	インバータ盤	kVA/台	60	蓄電池盤	Ah/10 hr/台	— ^{*6}	電圧	V	420 ^{*5}	変更なし	周波数	Hz	50 ^{*5}	変更なし	主要寸法	インバータ盤	たて	mm	800	横	mm	1800	高さ	mm	1950	出力切替盤	たて	mm	800	横	mm	1600	高さ	mm	1950	蓄電池盤	たて	mm	900	横	mm	3800	高さ	mm	1950	主要材料	インバータ盤	—	炭素鋼 ^{*7}	出力切替盤	—	— ^{*6}	蓄電池盤	—	炭素鋼 ^{*7}	個数 ^{*3}	台	2	変更なし	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	非常用電源系	設置床 (室名称) ^{*4}	—	非常用電源室	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 23 R4 令和 3 年 6 月 29 日) 抜粋</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>仕様表上「変更なし」の項目があるが、既設品を撤去して新設する工事であるため、新設機器と同様の検査項目設定とする。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)、記録確認検査 (「種類」「容量」「電圧」等については「機能要求」のうち「構造・強度」「接続性」に該当しないため、機器仕様を記録にて確認する)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【検査項目】 材料検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> </div> <div style="width: 50%;"> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>※1: 2号無停電電源装置、直流電源設備 (直流 110V 蓄電池盤、直流 110V 充電器盤)</p> <p>※2: 2号無停電電源装置、1号直流電源設備 (蓄電池盤、充電器盤)、2号直流電源設備 (蓄電池盤、充電器盤)、直流電源設備 (充電器盤)</p> </div>
		変更前	変更後																																																																															
名称 ^{*1}	—	2号無停電電源装置 (A-1, A-2) ^{*5}	変更なし																																																																															
種類 ^{*2}	インバータ盤	— ^{*6}	蓄電池盤 (鉛蓄電池 (セル数: 180))																																																																															
	出力切替盤	— ^{*6}																																																																																
容量 ^{*2}	インバータ盤	kVA/台	60																																																																															
	蓄電池盤	Ah/10 hr/台	— ^{*6}																																																																															
電圧	V	420 ^{*5}	変更なし																																																																															
周波数	Hz	50 ^{*5}	変更なし																																																																															
主要寸法	インバータ盤	たて	mm	800																																																																														
		横	mm	1800																																																																														
		高さ	mm	1950																																																																														
	出力切替盤	たて	mm	800																																																																														
		横	mm	1600																																																																														
		高さ	mm	1950																																																																														
	蓄電池盤	たて	mm	900																																																																														
		横	mm	3800																																																																														
		高さ	mm	1950																																																																														
主要材料	インバータ盤	—	炭素鋼 ^{*7}																																																																															
	出力切替盤	—	— ^{*6}																																																																															
	蓄電池盤	—	炭素鋼 ^{*7}																																																																															
個数 ^{*3}	台	2	変更なし																																																																															
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	非常用電源系																																																																															
	設置床 (室名称) ^{*4}	—	非常用電源室																																																																															
<p>非常用電源設備 様式-8 24条非常用電源 項目番号 3</p> <p>三 変更に係る加工施設の区分並びに設計及び工事の方法【申請範囲】(変更に係るものに限る。)</p> <p>I 施設共通 I-1 基本設計方針 第2章 個別項目</p> <p>5. その他の加工施設 5.1 非常用設備</p> <p>直流電源設備及び無停電電源装置は、外部電源瞬時電圧降下時や外部電源喪失時に、連続して必要な設備に電力を供給できる設計とする。</p>	<p>実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則</p> <p>(設計及び工事の計画の認可等の申請) 第九条による「工事の計画」への記載事項として規定されている「常用電源設備との切換方法」に該当することから、2号検査として実施する。</p>																																																																																	

図-6 非常用設備 (非常用電源設備) の工事フロー

設工認仕様表	検査項目																																																																																	
<p>2号無停電電源装置 (B-1,B-2)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2">名称^{*1}</th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">種類^{*2}</td> <td>2号無停電電源装置 (B-1, B-2) ^{*5} インバータ盤 出力切替盤</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">容量^{*2}</td> <td>—^{*6}</td> <td>蓄電池盤 (鉛蓄電池 (セル数: 180))</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">容量^{*2}</td> <td>インバータ盤</td> <td>kVA/台</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>蓄電池盤</td> <td>Ah/10hr/台</td> <td>—^{*6}</td> </tr> <tr> <td colspan="2">電圧</td> <td>V</td> <td>420^{*6}</td> </tr> <tr> <td colspan="2">周波数</td> <td>Hz</td> <td>50^{*6}</td> </tr> <tr> <td rowspan="9">主要寸法</td> <td rowspan="3">インバータ盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td rowspan="3">たて: 1000 横: 5230 高さ: 1950</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1800</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1950</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">出力切替盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td rowspan="3">—^{*6}</td> <td>800</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1600</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1950</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">蓄電池盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td rowspan="3">—^{*6}</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>3800</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1950</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*7}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数^{*3}</td> <td>台</td> <td>2</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">取付箇所</td> <td>—</td> <td>非常用電源系</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td colspan="2">設置床(室名称)^{*4}</td> <td>—</td> <td>非常用電源室</td> <td>変更なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *5: 既設工認に記載がないため、記載の適正化を行う。記載内容は、設計図書による。 *6: 新設機器であるため「—」とする。 *7: UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としな</p>	名称 ^{*1}		変更前	変更後	種類 ^{*2}		2号無停電電源装置 (B-1, B-2) ^{*5} インバータ盤 出力切替盤	変更なし	容量 ^{*2}		— ^{*6}	蓄電池盤 (鉛蓄電池 (セル数: 180))	容量 ^{*2}	インバータ盤	kVA/台	60	蓄電池盤	Ah/10hr/台	— ^{*6}	電圧		V	420 ^{*6}	周波数		Hz	50 ^{*6}	主要寸法	インバータ盤	たて	mm	たて: 1000 横: 5230 高さ: 1950	800	横	mm	1800	高さ	mm	1950	出力切替盤	たて	mm	— ^{*6}	800	横	mm	1600	高さ	mm	1950	蓄電池盤	たて	mm	— ^{*6}	900	横	mm	3800	高さ	mm	1950	主要材料		—	炭素鋼 ^{*7}	変更なし	個数 ^{*3}		台	2	変更なし	取付箇所		—	非常用電源系	変更なし	設置床(室名称) ^{*4}		—	非常用電源室	変更なし	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 23 R4 令和3年6月29日) 抜粋</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>仕様表上「変更なし」の項目があるが、既設品を撤去して新設する工事であるため、新設機器と同様の検査項目設定とする。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)、記録確認検査 (「種類」「容量」「電圧」等については「機能要求」のうち「構造・強度」「接続性」に該当しないため、機器仕様を記録にて確認する)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【検査項目】 材料検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> </div> <div style="width: 50%;"> <p style="text-align: center;">更新工事</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>※1 新設機器</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">製作</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">搬入</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">据付</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">検査</div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>※2 既設機器</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">撤去</div> </div> <div style="text-align: center;"> <p>既設機器 (1号無停電電源装置)</p> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">既設設備</div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;">検査</div> </div> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px; width: fit-content; margin-left: auto;"> <p>【検査項目】 系統運転検査 (2号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> </div> </div>
名称 ^{*1}		変更前	変更後																																																																															
種類 ^{*2}		2号無停電電源装置 (B-1, B-2) ^{*5} インバータ盤 出力切替盤	変更なし																																																																															
容量 ^{*2}		— ^{*6}	蓄電池盤 (鉛蓄電池 (セル数: 180))																																																																															
容量 ^{*2}	インバータ盤	kVA/台	60																																																																															
	蓄電池盤	Ah/10hr/台	— ^{*6}																																																																															
電圧		V	420 ^{*6}																																																																															
周波数		Hz	50 ^{*6}																																																																															
主要寸法	インバータ盤	たて	mm	たて: 1000 横: 5230 高さ: 1950	800																																																																													
		横	mm		1800																																																																													
		高さ	mm		1950																																																																													
	出力切替盤	たて	mm	— ^{*6}	800																																																																													
		横	mm		1600																																																																													
		高さ	mm		1950																																																																													
	蓄電池盤	たて	mm	— ^{*6}	900																																																																													
		横	mm		3800																																																																													
		高さ	mm		1950																																																																													
主要材料		—	炭素鋼 ^{*7}	変更なし																																																																														
個数 ^{*3}		台	2	変更なし																																																																														
取付箇所		—	非常用電源系	変更なし																																																																														
設置床(室名称) ^{*4}		—	非常用電源室	変更なし																																																																														
<p>非常用電源設備 様式-8 24条非常用電源 項目番号3</p> <p>三 変更に係る加工施設の区分並びに設計及び工事の方法【申請範囲】(変更に係るものに限る。)</p> <p>I 施設共通 I-1 基本設計方針 第2章 個別項目</p> <p>5. その他の加工施設 5.1 非常用設備</p> <p>直流電源設備及び無停電電源装置は、外部電源瞬時電圧降下時や外部電源喪失時に、連続して必要な設備に電力を供給できる設計とする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則 (設計及び工事の計画の認可等の申請) 第九条による「工事の計画」への記載事項として規定されている「非常用電源設備との切換方法」に該当することから、2号検査として実施する。</p> </div> <p style="text-align: center; font-size: small;">図-6 非常用設備 (非常用電源設備) の工事フロー</p>																																																																																	

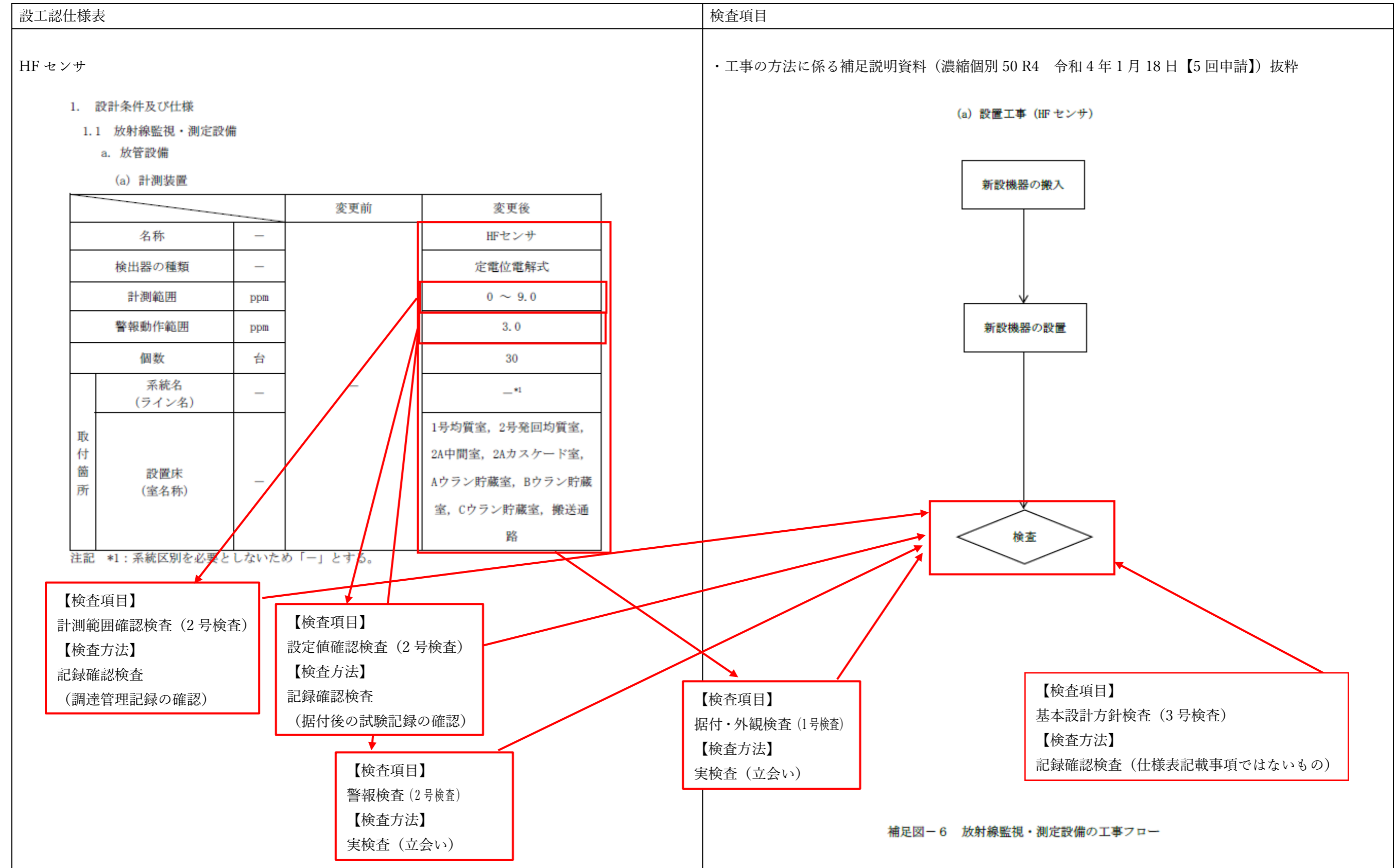
設工認仕様表	検査項目																																																																		
<p>2号無停電電源装置 (C-1,C-2)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>-</td> <td></td> <td>2号無停電電源装置 (C-1, C-2)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>-</td> <td></td> <td>インバータ盤 出力切替盤 蓄電池盤 (鉛蓄電池 (セル数: 180))</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">容量</td> <td>インバータ盤</td> <td>kVA/台</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>蓄電池盤</td> <td>Ah/10hr/台</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td colspan="2">電圧</td> <td>V</td> <td>420</td> </tr> <tr> <td colspan="2">周波数</td> <td>Hz</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">主要寸法</td> <td rowspan="3">インバータ盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">出力切替盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">蓄電池盤</td> <td>たて</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要材料</td> <td>インバータ盤</td> <td>-</td> <td>炭素鋼^{*2}</td> </tr> <tr> <td>出力切替盤</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td>蓄電池盤</td> <td>-</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>台</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>非常用電源系</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)</td> <td>-</td> <td>常用電源室</td> </tr> </tbody> </table> <p style="font-size: small; margin-top: 5px;">注記 *1: 新設機器であるため「-」とする。 *2: UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。</p>			変更前	変更後	名称	-		2号無停電電源装置 (C-1, C-2)	種類	-		インバータ盤 出力切替盤 蓄電池盤 (鉛蓄電池 (セル数: 180))	容量	インバータ盤	kVA/台	200	蓄電池盤	Ah/10hr/台	500	電圧		V	420	周波数		Hz	50	主要寸法	インバータ盤	たて	mm	横	mm	高さ	mm	出力切替盤	たて	mm	高さ	mm	蓄電池盤	たて	mm	高さ	mm	主要材料	インバータ盤	-	炭素鋼 ^{*2}	出力切替盤	-		蓄電池盤	-		個数		台	2	取付箇所	系統名 (ライン名)	-	非常用電源系	設置床 (室名称)	-	常用電源室	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 23 R4 令和3年6月29日) 抜粋</p> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>更新工事</p> </div> <div style="margin-top: 10px;"> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)、記録確認検査 (「種類」「容量」「電圧」等については「機能要求」のうち「構造・強度」「接続性」に該当しないため、機器仕様を記録にて確認する)</p> <p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> <p>【検査項目】 材料検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> <p>【検査項目】 系統運転検査 (2号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <p style="font-size: x-small; margin-top: 10px;">※1: 2号無停電電源装置、直流電源設備 (直流 110V 蓄電池盤、直流 110V 充電器盤) ※2: 2号無停電電源装置、1号直流電源設備 (蓄電池盤、充電器盤)、2号直流電源設備 (蓄電池盤、充電器盤)、直流電源設備 (充電器盤)</p>
		変更前	変更後																																																																
名称	-		2号無停電電源装置 (C-1, C-2)																																																																
種類	-		インバータ盤 出力切替盤 蓄電池盤 (鉛蓄電池 (セル数: 180))																																																																
容量	インバータ盤	kVA/台	200																																																																
	蓄電池盤	Ah/10hr/台	500																																																																
電圧		V	420																																																																
周波数		Hz	50																																																																
主要寸法	インバータ盤	たて	mm																																																																
		横	mm																																																																
		高さ	mm																																																																
	出力切替盤	たて	mm																																																																
		高さ	mm																																																																
	蓄電池盤	たて	mm																																																																
高さ		mm																																																																	
主要材料	インバータ盤	-	炭素鋼 ^{*2}																																																																
	出力切替盤	-																																																																	
	蓄電池盤	-																																																																	
個数		台	2																																																																
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	非常用電源系																																																																
	設置床 (室名称)	-	常用電源室																																																																
<p>非常用電源設備 様式-8 24条非常用電源 項目番号 3</p> <p>三 変更に係る加工施設の区分並びに設計及び工事の方法【申請範囲】(変更に係るものに限る。)</p> <p>I 施設共通 I-1 基本設計方針 第2章 個別項目</p> <p>5. その他の加工施設 5.1 非常用設備</p> <p>直流電源設備及び無停電電源装置は、外部電源瞬時電圧降下時や外部電源喪失時に、連続して必要な設備に電力を供給できる設計とする。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>实用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則 (設計及び工事の計画の認可等の申請) 第九条による「工事の計画」への記載事項として規定されている「常用電源設備との切換方法」に該当することから、2号検査として実施する。</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 10px;">図-6 非常用設備 (非常用電源設備) の工事フロー</p>																																																																		

設工認仕様表	検査項目																																																							
<p>直流電源設備 (直流 110V 蓄電池盤)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>1号直流電源設備 (蓄電池盤)</td> <td>直流電源設備</td> </tr> <tr> <td>—</td> <td>2号直流電源設備 (蓄電池盤)</td> <td>(直流 110V 蓄電池盤)</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>鉛蓄電池 (セル数: 55)</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">容量^{*3}</td> <td>1号直流電源設備 (蓄電池盤)</td> <td>Ah/10hr 1200</td> <td>直流 110V 蓄電池盤 (A, B)</td> </tr> <tr> <td>2号直流電源設備 (蓄電池盤)</td> <td>/台 1600</td> <td>500</td> </tr> <tr> <td>電圧^{*3}</td> <td>V</td> <td>110</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>—^{*6}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td rowspan="2">1号直流電源設備 (蓄電池盤)</td> <td>たて</td> <td>mm 1500</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4800</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">2号直流電源設備 (蓄電池盤)</td> <td>たて</td> <td>mm 1800</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm 4800</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">主要材料</td> <td>直流 110V 蓄電池盤 (A, B)</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*7}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*4}</td> <td>台 4</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>非常用電源系</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称) ^{*5}</td> <td>—</td> <td>非常用電源室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。</p>			変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	1号直流電源設備 (蓄電池盤)	直流電源設備	—	2号直流電源設備 (蓄電池盤)	(直流 110V 蓄電池盤)	種類 ^{*2}	—	鉛蓄電池 (セル数: 55)	変更なし	容量 ^{*3}	1号直流電源設備 (蓄電池盤)	Ah/10hr 1200	直流 110V 蓄電池盤 (A, B)	2号直流電源設備 (蓄電池盤)	/台 1600	500	電圧 ^{*3}	V	110	変更なし	周波数	Hz	— ^{*6}	変更なし	主要寸法	1号直流電源設備 (蓄電池盤)	たて	mm 1500	横	mm 4800	2号直流電源設備 (蓄電池盤)	たて	mm 1800	横	mm 4800	主要材料	直流 110V 蓄電池盤 (A, B)	—	炭素鋼 ^{*7}	個数 ^{*4}	台 4	2	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	非常用電源系	設置床 (室名称) ^{*5}	—	非常用電源室	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 23 R4 令和 3 年 6 月 29 日) 抜粋</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>仕様表上「変更なし」の項目があるが、既設品を撤去して新設する工事であるため、新設機器と同様の検査項目設定とする。</p> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)、記録確認検査 (「種類」「容量」「電圧」等については「機能要求」のうち「構造・強度」「接続性」に該当しないため、機器仕様を記録にて確認する)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【検査項目】 材料検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>【検査項目】 系統運転検査 (2号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <p>※1: 2号無停電電源装置、直流電源設備 (直流 110V 蓄電池盤、直流 110V 充電器盤) ※2: 2号無停電電源装置、1号直流電源設備 (蓄電池盤、充電器盤)、2号直流電源設備 (蓄電池盤、充電器盤)、直流電源設備 (充電器盤)</p>
		変更前	変更後																																																					
名称 ^{*1}	—	1号直流電源設備 (蓄電池盤)	直流電源設備																																																					
	—	2号直流電源設備 (蓄電池盤)	(直流 110V 蓄電池盤)																																																					
種類 ^{*2}	—	鉛蓄電池 (セル数: 55)	変更なし																																																					
容量 ^{*3}	1号直流電源設備 (蓄電池盤)	Ah/10hr 1200	直流 110V 蓄電池盤 (A, B)																																																					
	2号直流電源設備 (蓄電池盤)	/台 1600	500																																																					
電圧 ^{*3}	V	110	変更なし																																																					
周波数	Hz	— ^{*6}	変更なし																																																					
主要寸法	1号直流電源設備 (蓄電池盤)	たて	mm 1500																																																					
		横	mm 4800																																																					
	2号直流電源設備 (蓄電池盤)	たて	mm 1800																																																					
		横	mm 4800																																																					
主要材料	直流 110V 蓄電池盤 (A, B)	—	炭素鋼 ^{*7}																																																					
	個数 ^{*4}	台 4	2																																																					
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	非常用電源系																																																					
	設置床 (室名称) ^{*5}	—	非常用電源室																																																					
<p>非常用電源設備 様式-8 24条非常用電源 項目番号 3</p> <p>三 変更に係る加工施設の区分並びに設計及び工事の方法【申請範囲】(変更に係るものに限る。)</p> <p>I 施設共通 I-1 基本設計方針 第2章 個別項目</p> <p>5. その他の加工施設 5.1 非常用設備</p> <p>直流電源設備及び無停電電源装置は、外部電源瞬時電圧降下時や外部電源喪失時に、連続して必要な設備に電力を供給できる設計とする。</p>	<p>実用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則 (設計及び工事の計画の認可等の申請) 第九条による「工事の計画」への記載事項として規定されている「常用電源設備との切換方法」に該当することから、2号検査として実施する。</p> <p style="text-align: right; font-size: small;">図-6 非常用設備 (非常用電源設備) の工事フロー</p>																																																							

設工認仕様表	検査項目																																																																																			
<p>直流電源設備 (直流 110V 充電器盤)</p> <table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">名称*<!--1</td--> <td>1号直流電源設備 (充電器盤)</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">直流電源設備 (直流 110V 充電器盤)</td> </td></tr> <tr> <td>2号直流電源設備 (充電器盤)</td> </tr> <tr> <td>直流電源設備 (充電器盤)</td> </tr> <tr> <td>種類*<!--2</td--> <td>-</td> <td>サイリスタ整流器</td> <td>変更なし</td> </td></tr> <tr> <td rowspan="3">容量*<!--3</td--> <td>1号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))</td> <td>A</td> <td>250</td> <td rowspan="3">直流 110V 充電器盤 (A, B), 共通直流 110V 充電器盤 180</td> </td></tr> <tr> <td>2号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))</td> <td>A</td> <td>200</td> </tr> <tr> <td>直流電源設備 (充電器盤 (A, B))</td> <td>A</td> <td>250</td> </tr> <tr> <td>電圧*<!--3</td--> <td>V</td> <td>110</td> <td>変更なし</td> </td></tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td>-*<!--3</td--> <td>変更なし</td> </td></tr> <tr> <td rowspan="9">主要寸法</td> <td rowspan="3">1号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1500</td> <td rowspan="9">直流 110V 充電器盤 (A, B) たて: 1500 横: 2000 高さ: 2350</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2000</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2350</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1500</td> <td rowspan="9">共通直流 110V 充電器盤 たて: 1500 横: 1000 高さ: 2350</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2000</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2350</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">直流電源設備 (充電器盤 (A, B))</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1500</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2350</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>直流 110V 充電器盤 (A, B) 共通直流 110V 充電器盤</td> <td>-</td> <td>炭素鋼*<!--7</td--> <td>変更なし</td> </td></tr> <tr> <td>個数*<!--4</td--> <td>台</td> <td>6</td> <td>3</td> </td></tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>-</td> <td>非常用電源系</td> <td rowspan="2">変更なし</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)*5</td> <td>-</td> <td>非常用電源室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。</p>			変更前	変更後	名称* 1</td <td>1号直流電源設備 (充電器盤)</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">直流電源設備 (直流 110V 充電器盤)</td>	1号直流電源設備 (充電器盤)	-	直流電源設備 (直流 110V 充電器盤)	2号直流電源設備 (充電器盤)	直流電源設備 (充電器盤)	種類* 2</td <td>-</td> <td>サイリスタ整流器</td> <td>変更なし</td>	-	サイリスタ整流器	変更なし	容量* 3</td <td>1号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))</td> <td>A</td> <td>250</td> <td rowspan="3">直流 110V 充電器盤 (A, B), 共通直流 110V 充電器盤 180</td>	1号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))	A	250	直流 110V 充電器盤 (A, B), 共通直流 110V 充電器盤 180	2号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))	A	200	直流電源設備 (充電器盤 (A, B))	A	250	電圧* 3</td <td>V</td> <td>110</td> <td>変更なし</td>	V	110	変更なし	周波数	Hz	-* 3</td <td>変更なし</td>	変更なし	主要寸法	1号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))	たて	mm	1500	直流 110V 充電器盤 (A, B) たて: 1500 横: 2000 高さ: 2350	横	mm	2000	高さ	mm	2350	2号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))	たて	mm	1500	共通直流 110V 充電器盤 たて: 1500 横: 1000 高さ: 2350	横	mm	2000	高さ	mm	2350	直流電源設備 (充電器盤 (A, B))	たて	mm	1500	横	mm	1000	高さ	mm	2350	主要材料	直流 110V 充電器盤 (A, B) 共通直流 110V 充電器盤	-	炭素鋼* 7</td <td>変更なし</td>	変更なし	個数* 4</td <td>台</td> <td>6</td> <td>3</td>	台	6	3	取付箇所	系統名 (ライン名)	-	非常用電源系	変更なし	設置床 (室名称)*5	-	非常用電源室	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 23 R4 令和 3 年 6 月 29 日) 抜粋</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>仕様表上「変更なし」の項目があるが、既設品を撤去して新設する工事であるため、新設機器と同様の検査項目設定とする。</p> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)、 記録確認検査 (「種類」「容量」「電圧」等については「機能要求」のうち「構造・強度」「接続性」に該当しないため、機器仕様を記録にて確認する)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 材料検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 系統運転検査 (2号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <p>※1: 2号無停電電源装置、直流電源設備 (直流 110V 蓄電池盤、直流 110V 充電器盤) ※2: 2号無停電電源装置、1号直流電源設備 (蓄電池盤、充電器盤)、2号直流電源設備 (蓄電池盤、充電器盤)、直流電源設備 (充電器盤)</p>
		変更前	変更後																																																																																	
名称* 1</td <td>1号直流電源設備 (充電器盤)</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">直流電源設備 (直流 110V 充電器盤)</td>	1号直流電源設備 (充電器盤)	-	直流電源設備 (直流 110V 充電器盤)																																																																																	
	2号直流電源設備 (充電器盤)																																																																																			
	直流電源設備 (充電器盤)																																																																																			
種類* 2</td <td>-</td> <td>サイリスタ整流器</td> <td>変更なし</td>	-	サイリスタ整流器	変更なし																																																																																	
容量* 3</td <td>1号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))</td> <td>A</td> <td>250</td> <td rowspan="3">直流 110V 充電器盤 (A, B), 共通直流 110V 充電器盤 180</td>	1号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))	A	250	直流 110V 充電器盤 (A, B), 共通直流 110V 充電器盤 180																																																																																
	2号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))	A	200																																																																																	
	直流電源設備 (充電器盤 (A, B))	A	250																																																																																	
電圧* 3</td <td>V</td> <td>110</td> <td>変更なし</td>	V	110	変更なし																																																																																	
周波数	Hz	-* 3</td <td>変更なし</td>	変更なし																																																																																	
主要寸法	1号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))	たて	mm	1500	直流 110V 充電器盤 (A, B) たて: 1500 横: 2000 高さ: 2350																																																																															
		横	mm	2000																																																																																
		高さ	mm	2350																																																																																
	2号直流電源設備 (充電器盤 (A, B))	たて	mm	1500		共通直流 110V 充電器盤 たて: 1500 横: 1000 高さ: 2350																																																																														
		横	mm	2000																																																																																
		高さ	mm	2350																																																																																
	直流電源設備 (充電器盤 (A, B))	たて	mm	1500																																																																																
		横	mm	1000																																																																																
		高さ	mm	2350																																																																																
主要材料	直流 110V 充電器盤 (A, B) 共通直流 110V 充電器盤	-	炭素鋼* 7</td <td>変更なし</td>	変更なし																																																																																
個数* 4</td <td>台</td> <td>6</td> <td>3</td>	台	6	3																																																																																	
取付箇所	系統名 (ライン名)	-	非常用電源系	変更なし																																																																																
	設置床 (室名称)*5	-	非常用電源室																																																																																	
<p>非常用電源設備 様式-8 24条非常用電源 項目番号 3</p> <p>三 変更に係る加工施設の区分並びに設計及び工事の方法【申請範囲】(変更に係るものに限る。)</p> <p>I 施設共通 I-1 基本設計方針 第2章 個別項目</p> <p>5. その他の加工施設 5.1 非常用設備</p> <p>直流電源設備及び無停電電源装置は、外部電源瞬時電圧降下時や外部電源喪失時に、連続して必要な設備に電力を供給できる設計とする。</p>	<p>实用発電用原子炉の設置、運転等に関する規則 (設計及び工事の計画の認可等の申請) 第九条による「工事の計画」への記載事項として規定されている「非常用電源設備との切換方法」に該当することから、2号検査として実施する。</p>																																																																																			

図-6 非常用設備 (非常用電源設備) の工事フロー

設工認仕様表				検査項目		
ANSI 又は ISO 規格 30B 付着ウラン回収容器				・設工認申請書 (2021 濃計発第 21 号 2021 年 7 月 2 日) 抜粋		
		変更前	変更後	<p>加工施設 ※2 (製作工場で機能、性能検査を実施しない場合) (製作工場で機能、性能検査を実施する場合)</p> <p>製作工場 濃縮・埋設事業所等</p> <p>※1 材料入手 ※1 加工 ※1 組立て</p> <p>※1 材料入手 ※1 加工 ※1 組立て</p> <p>※1 材料入手 ※1 加工</p> <p>※1, 3 取外し、組立て、据付、取替若しくは修理又は撤去</p> <p>構造、強度及び漏えいに係る検査</p> <p>機能及び性能に係る検査</p> <p>基本設計方針検査</p>		
名称 (型式) *1	—	ANSI 又は ISO 規格 30B*7*8*9	変更なし			
種類*2	—	横置き円筒型*10				
容量*3	kg-UF ₆ / 本	2277*11 (約 1540 kg-U)				
最高使用圧力*4	hPa	上限：960 下限：0				
最高使用温度*4	℃	94				
流体等の種類*5	—	固体 UF ₆ 、気体 UF ₆				
臨界管理	核的制限値	濃縮度			%	5 以下*12*13
		減速度			H/U-235	1.7 以下*12*13
	他ユニットとの相互間隔	cm			30 以上*12*13	
主要寸法	胴内径	mm			737 (29 in) *11	変更なし
	全長	mm	2070 (81 1/2 in) *11			
	厚さ	mm	8 以上 (13 (1/2 in) *11)		8.2 以上 (13 (1/2 in) *11)	
主要材料	胴本体	—	ASTM A516 / ASME SA516 *11		変更なし	
	鏡板	—	ASTM A516 / ASME SA516 *11			
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—*14	変更なし		
	設置床 (室名称) *6	—	A ウラン貯蔵室 B ウラン貯蔵室 *15			
<p>注記</p> <p>*1：記載の適正化。既設工認には「機器名」と記載。</p> <p>*2：記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。</p> <p>*3：記載の適正化。既設工認には「その他の性能」と記載。</p> <p>*4：記載の適正化。既設工認には「温度、圧力」と記載。</p> <p>*5：記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。</p> <p>*6：記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。</p> <p>*7：記載の適正化。既設工認には「製品シリンダ (ANSI 規格 30B)」, 「廃品シリンダ (ANSI 規格 30B)」と記載。</p> <p>*8：「ANSI 又は ISO 規格 30B」は、事業変更許可申請書の主要な設備及び機器で示す「製品シリンダ (ANSI 又は ISO 規格 30B)」, 「廃品シリンダ (ANSI 又は ISO 規格 30B)」である。</p> <p>*9：「ANSI 又は ISO 規格 30B」に濃縮 UF₆ を充填したものを製品シリンダ、劣化 UF₆ を充填したものを廃品シリンダとする。</p> <p>*10：記載の適正化。既設工認には「ANSI 規格 30B」と記載。</p> <p>*11：ANSI 又は ISO 規格に基づく設計値又は材料を示す。</p> <p>*12：本シリンダに劣化 UF₆ を充填し廃品シリンダとして取り扱う場合は、臨界管理の対象外とする。</p> <p>*13：他ユニットとの相互間隔は、本シリンダを定置する「ANSI 又は ISO 規格 30B 置台」, 「2号製品シリンダ槽」の配置にて確保する。</p> <p>*14：系統区別を必要としないため「—」とする。</p> <p>*15：「ANSI 又は ISO 規格 30B 置台」を介して貯蔵する。</p>				<p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p>		
				<p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p>		



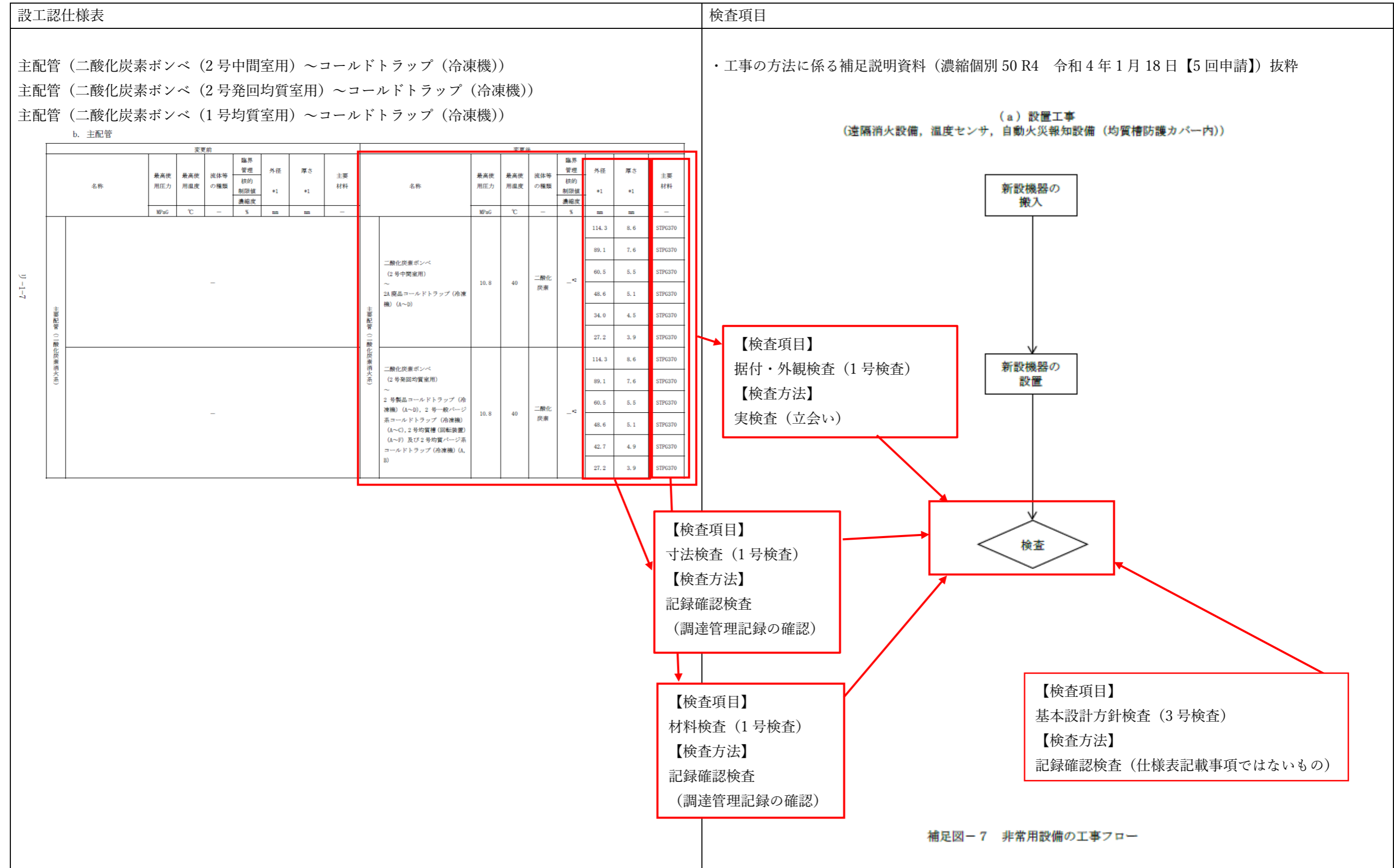
設工認仕様表	検査項目																																																												
<p>ハロンボンベ (2号中間室, 2号発回均質室用) ハロンボンベ (1号均質室用)</p> <p>1. 設計条件及び仕様</p> <p>1.1 非常用設備</p> <p>1.1.1 非常用設備 (遠隔消火設備)</p> <p>(1) ハロン消火系</p> <p>a. 容器</p> <table border="1" data-bbox="335 703 1308 1671"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td></td> <td>ハロンボンベ (2号中間室, 2号発回均質室用)</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>一般継目なし容器</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>L/本</td> <td></td> <td>68 以上 (68^{*1})</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力</td> <td>MPaG</td> <td></td> <td>5.2</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度</td> <td>℃</td> <td></td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>ハロン 1301</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—^{*2}</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>外径</td> <td>—</td> <td>267.4^{*1}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>—</td> <td>1515^{*1}</td> </tr> <tr> <td>胴部厚さ</td> <td>—</td> <td>6.0 (6.0^{*1})</td> </tr> <tr> <td>底部厚さ</td> <td>—</td> <td>12.0 (12.0^{*1})</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td></td> <td>マンガン鋼^{*3}</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>本</td> <td></td> <td>19</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>ハロン消火系</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)</td> <td>—</td> <td>搬送通路 (2号発回均質室前)</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本機器は, UF₆を取り扱う機器ではなく, 臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *3: UF₆を内包する機器ではなく, UF₆を閉じ込めるための耐食性, 耐圧強度を必要としないため, JIS規格番号は記載しない。</p>			変更前	変更後	名称	—		ハロンボンベ (2号中間室, 2号発回均質室用)	種類	—		一般継目なし容器	容量	L/本		68 以上 (68 ^{*1})	最高使用圧力	MPaG		5.2	最高使用温度	℃		40	流体等の種類	—		ハロン 1301	臨界管理	—	—	— ^{*2}	主要寸法	外径	—	267.4 ^{*1}	高さ	—	1515 ^{*1}	胴部厚さ	—	6.0 (6.0 ^{*1})	底部厚さ	—	12.0 (12.0 ^{*1})	主要材料	—		マンガン鋼 ^{*3}	個数	本		19	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ハロン消火系	設置床 (室名称)	—	搬送通路 (2号発回均質室前)	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 50 R4 令和4年1月18日【5回申請】) 抜粋</p> <p>(a) 設置工事 (遠隔消火設備, 温度センサ, 自動火災報知設備 (均質槽防護カバー内))</p> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)、 記録確認検査 (種類、容量、最高仕様圧力、最高仕様温度、液体等の種類) については「機能要求」のうち「構造・強度」「接続性」に該当しないため、機器仕様を記録にて確認する)</p> <p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> <p>【検査項目】 材料検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> <p>補足図-7 非常用設備の工事フロー</p>
		変更前	変更後																																																										
名称	—		ハロンボンベ (2号中間室, 2号発回均質室用)																																																										
種類	—		一般継目なし容器																																																										
容量	L/本		68 以上 (68 ^{*1})																																																										
最高使用圧力	MPaG		5.2																																																										
最高使用温度	℃		40																																																										
流体等の種類	—		ハロン 1301																																																										
臨界管理	—	—	— ^{*2}																																																										
主要寸法	外径	—	267.4 ^{*1}																																																										
	高さ	—	1515 ^{*1}																																																										
	胴部厚さ	—	6.0 (6.0 ^{*1})																																																										
	底部厚さ	—	12.0 (12.0 ^{*1})																																																										
主要材料	—		マンガン鋼 ^{*3}																																																										
個数	本		19																																																										
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	ハロン消火系																																																										
	設置床 (室名称)	—	搬送通路 (2号発回均質室前)																																																										

設工認仕様表	検査項目																																																																																		
<p>主配管 (ハロンポンベ (2号中間室, 2号発回均質室用) ~コールドトラップ (冷凍機)) 主配管 (ハロンポンベ ~ (1号均質室用) ~コールドトラップ (冷凍機))</p> <p>b. 主配管</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">変更前</th> <th colspan="4">変更後</th> <th rowspan="2">名称</th> <th colspan="4">変更後</th> <th rowspan="2">外径 φ1</th> <th rowspan="2">厚さ φ1</th> <th rowspan="2">主要材料</th> </tr> <tr> <th>最高使用圧力 MPaG</th> <th>最高使用温度 ℃</th> <th>液体等の種類</th> <th>臨界管理 的 制限値 濃縮度 %</th> <th>最高使用圧力 MPaG</th> <th>最高使用温度 ℃</th> <th>液体等の種類</th> <th>臨界管理 的 制限値 濃縮度 %</th> <th>最高使用圧力 MPaG</th> <th>最高使用温度 ℃</th> <th>液体等の種類</th> <th>臨界管理 的 制限値 濃縮度 %</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">(注) 均質室 (ハロンポンベ)</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">5.2</td> <td rowspan="10">40</td> <td rowspan="10">ハロン 1301</td> <td rowspan="10">-*2</td> <td>ハロンポンベ (2号中間室, 2号発回均質室用)</td> <td>76.3</td> <td>5.2</td> <td>STPG370</td> <td rowspan="10">-</td> <td rowspan="10">mm</td> <td rowspan="10">mm</td> <td rowspan="10">-</td> </tr> <tr> <td>~</td> <td>60.5</td> <td>3.9</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>2号製品コールドトラップ (冷凍機) (A~D), 2号一般パージ系コールドトラップ (冷凍機) (A~C), 2号均質槽 (回転装置) (A~F), 2号均質パージ系コールドトラップ (冷凍機) (A, B) 及び 2A 製品コールドトラップ (冷凍機) (A~D)</td> <td>48.6</td> <td>3.7</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>~</td> <td>42.7</td> <td>3.6</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>~</td> <td>34.0</td> <td>3.4</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>~</td> <td>27.2</td> <td>2.9</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>ハロンポンベ (1号均質室用)</td> <td>60.5</td> <td>3.9</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>~</td> <td>34.0</td> <td>3.4</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>回収系混合ガスコールドトラップ (冷凍機) (A~C)</td> <td>27.2</td> <td>2.9</td> <td>STPG370</td> </tr> <tr> <td>~</td> <td>27.2</td> <td>2.9</td> <td>STPG370</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: UF₆を取り扱う配管ではなく、臨界管理の対象外であるため「-」とする。</p>	名称	変更前				変更後				名称	変更後				外径 φ1	厚さ φ1	主要材料	最高使用圧力 MPaG	最高使用温度 ℃	液体等の種類	臨界管理 的 制限値 濃縮度 %	最高使用圧力 MPaG	最高使用温度 ℃	液体等の種類	臨界管理 的 制限値 濃縮度 %	最高使用圧力 MPaG	最高使用温度 ℃	液体等の種類	臨界管理 的 制限値 濃縮度 %	(注) 均質室 (ハロンポンベ)	-	-	-	-	5.2	40	ハロン 1301	-*2	ハロンポンベ (2号中間室, 2号発回均質室用)	76.3	5.2	STPG370	-	mm	mm	-	~	60.5	3.9	STPG370	2号製品コールドトラップ (冷凍機) (A~D), 2号一般パージ系コールドトラップ (冷凍機) (A~C), 2号均質槽 (回転装置) (A~F), 2号均質パージ系コールドトラップ (冷凍機) (A, B) 及び 2A 製品コールドトラップ (冷凍機) (A~D)	48.6	3.7	STPG370	~	42.7	3.6	STPG370	~	34.0	3.4	STPG370	~	27.2	2.9	STPG370	ハロンポンベ (1号均質室用)	60.5	3.9	STPG370	~	34.0	3.4	STPG370	回収系混合ガスコールドトラップ (冷凍機) (A~C)	27.2	2.9	STPG370	~	27.2	2.9	STPG370	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 50 R4 令和4年1月18日【5回申請】) 抜粋</p> <p>(a) 設置工事 (遠隔消火設備, 温度センサ, 自動火災報知設備 (均質槽防護カバー内))</p> <pre> graph TD A[新設機器の搬入] --> B[新設機器の設置] B --> C{検査} D["【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)"] --> C E["【検査項目】 寸法検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)"] --> C F["【検査項目】 材料検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)"] --> C G["【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)"] --> C </pre>
名称		変更前				変更後					名称	変更後						外径 φ1	厚さ φ1	主要材料																																																															
	最高使用圧力 MPaG	最高使用温度 ℃	液体等の種類	臨界管理 的 制限値 濃縮度 %	最高使用圧力 MPaG	最高使用温度 ℃	液体等の種類	臨界管理 的 制限値 濃縮度 %	最高使用圧力 MPaG	最高使用温度 ℃		液体等の種類	臨界管理 的 制限値 濃縮度 %																																																																						
(注) 均質室 (ハロンポンベ)	-	-	-	-	5.2	40	ハロン 1301	-*2	ハロンポンベ (2号中間室, 2号発回均質室用)	76.3	5.2	STPG370	-	mm	mm	-																																																																			
									~	60.5	3.9	STPG370																																																																							
									2号製品コールドトラップ (冷凍機) (A~D), 2号一般パージ系コールドトラップ (冷凍機) (A~C), 2号均質槽 (回転装置) (A~F), 2号均質パージ系コールドトラップ (冷凍機) (A, B) 及び 2A 製品コールドトラップ (冷凍機) (A~D)	48.6	3.7	STPG370																																																																							
									~	42.7	3.6	STPG370																																																																							
									~	34.0	3.4	STPG370																																																																							
									~	27.2	2.9	STPG370																																																																							
									ハロンポンベ (1号均質室用)	60.5	3.9	STPG370																																																																							
									~	34.0	3.4	STPG370																																																																							
									回収系混合ガスコールドトラップ (冷凍機) (A~C)	27.2	2.9	STPG370																																																																							
									~	27.2	2.9	STPG370																																																																							

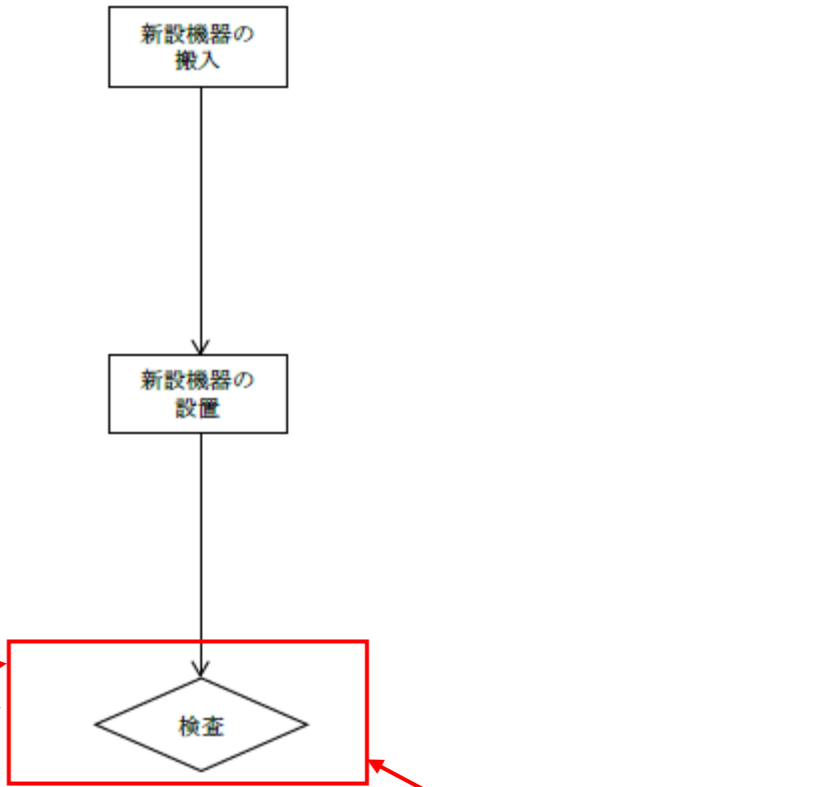
補足図-7 非常用設備の工事フロー

設工認仕様表			検査項目		
二酸化炭素ポンペ (2号中間室用) 二酸化炭素ポンペ (2号発回均質室用) 二酸化炭素ポンペ (1号均質室用)			・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 50 R4 令和4年1月18日【5回申請】) 抜粋		
(2) 二酸化炭素消火系 a. 容器			(a) 設置工事 (遠隔消火設備, 温度センサ, 自動火災報知設備 (均質槽防護カバー内))		
	変更前	変更後		新設機器の搬入 ↓ 新設機器の設置 ↓ 検査 ↓ 基本設計方針検査 (3号検査) ↓ 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)	
名称	—	二酸化炭素ポンペ (2号中間室用)			
種類	—	一般継目なし容器			
容量	L/本	68 以上 (68 ^{*1})			
最高使用圧力	MPaG	10.8			
最高使用温度	℃	40			
流体等の種類	—	二酸化炭素			
臨界管理	—	— ^{*2}			
主要寸法	外径	mm			267.4 ^{*1}
	高さ	mm			1515 ^{*1}
	胴部厚さ	mm			6.0 (6.0 ^{*1})
	底部厚さ	mm			12.0 (12.0 ^{*1})
主要材料	本体	—			マンガン鋼 ^{*3}
	個数	本			22
取付箇所	系統名 (ライン名)	—			二酸化炭素消火系
	設置床 (室名称)	—	搬送通路 (2号発回均質室前)		
注記 *1: 公称値を示す。 *2: 本機器は, UF ₆ を取り扱う機器ではなく, 臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *3: UF ₆ を内包する機器ではなく, UF ₆ を閉じ込めるための耐食性, 耐圧強度を必要としないため, JIS 規格番号は記載しない。					

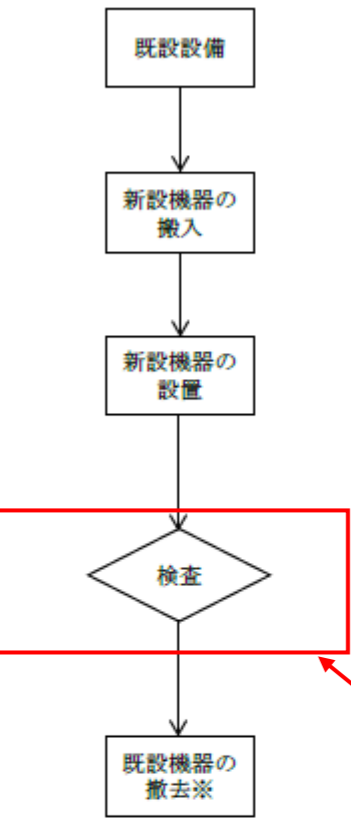
補足図-7 非常用設備の工事フロー



補足図-7 非常用設備の工事フロー

設工認仕様表	検査項目																															
<p>温度センサ</p> <p>1.1.2 非常用設備</p> <p>a. 計装設備</p> <p>(a) 計測装置</p> <table border="1" data-bbox="278 604 1299 1115"> <thead> <tr> <th colspan="2">変更前</th> <th colspan="2">変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td colspan="2">温度センサ</td> </tr> <tr> <td>検出器の種類</td> <td>—</td> <td colspan="2">熱電対</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>℃</td> <td colspan="2">0 ~ 1000</td> </tr> <tr> <td>警報動作範囲</td> <td>℃</td> <td colspan="2">制限値 (70) 以下</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>—</td> <td colspan="2">22</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td colspan="2">—*1</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)</td> <td colspan="2">1号均質室, 2号発回均質室, 2A中間室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 系統区別を必要としないため「—」とする。</p> <div data-bbox="270 1310 661 1549"> <p>【検査項目】 計測範囲確認検査 (2号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div data-bbox="685 1346 1065 1585"> <p>【検査項目】 設定値確認検査 (2号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (据付後の試験記録の確認)</p> </div> <div data-bbox="798 1619 1121 1812"> <p>【検査項目】 警報検査 (2号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <div data-bbox="1427 1493 1751 1686"> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <div data-bbox="2050 1472 2635 1665"> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> </div>	変更前		変更後		名称		温度センサ		検出器の種類	—	熱電対		計測範囲	℃	0 ~ 1000		警報動作範囲	℃	制限値 (70) 以下		個数	—	22		取付箇所	系統名 (ライン名)	—*1		設置床 (室名称)	1号均質室, 2号発回均質室, 2A中間室		<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 50 R4 令和4年1月18日【5回申請】) 抜粋</p> <p>(a) 設置工事 (遠隔消火設備, 温度センサ, 自動火災報知設備 (均質槽防護カバー内))</p>  <pre> graph TD A[新設機器の搬入] --> B[新設機器の設置] B --> C{検査} C --> D["【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)"] </pre> <p>補足図-7 非常用設備の工事フロー</p>
変更前		変更後																														
名称		温度センサ																														
検出器の種類	—	熱電対																														
計測範囲	℃	0 ~ 1000																														
警報動作範囲	℃	制限値 (70) 以下																														
個数	—	22																														
取付箇所	系統名 (ライン名)	—*1																														
	設置床 (室名称)	1号均質室, 2号発回均質室, 2A中間室																														

設工認仕様表	検査項目																																																																																																	
<p>火災区域構造物 (ウラン濃縮建屋) 火災区域構造物 (ウラン貯蔵・廃棄物建屋)</p> <p>b. 建物・構築物 (a) 火災区域構造物 火災区域構造物 (ウラン濃縮建屋)</p> <table border="1" data-bbox="261 577 1439 1092"> <thead> <tr> <th colspan="6">変更前</th> <th colspan="6">変更後</th> </tr> <tr> <th colspan="3">名称</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">主要寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">材料</th> <th colspan="3">名称</th> <th rowspan="2">種類</th> <th rowspan="2">主要寸法 (mm)</th> <th rowspan="2">材料</th> </tr> <tr> <th>火災区域名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> <th>火災区域名称</th> <th>区分</th> <th>番号</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="6">壁</td> <td>150 以上 (300^φ)</td> <td rowspan="3">鉄筋コンクリート</td> <td>2号発回均質室^{*1} (2号Qマス室含む)</td> <td>火災区域</td> <td>R-1</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>150 以上 (300^φ)</td> <td></td> <td>2号中間室^{*1} (搬入室含む)</td> <td>火災区域</td> <td>R-2</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>150 以上 (350^φ)</td> <td></td> <td>1号均質室^{*1}</td> <td>火災区域</td> <td>R-3</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>120^φ</td> <td rowspan="3">PC板</td> <td>2Aカスケード室^{*1}</td> <td>火災区域</td> <td>R-4</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>120^φ</td> <td></td> <td>2Bカスケード室^{*1}</td> <td>火災区域</td> <td>R-5</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>120^φ</td> <td></td> <td>2Cカスケード室^{*1}</td> <td>火災区域</td> <td>R-6</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 本設備は既存の設備である。 *2: 公称値のうち最小のものを示す。</p>	変更前						変更後						名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	火災区域名称	区分	番号	火災区域名称	区分	番号				壁	150 以上 (300 ^φ)	鉄筋コンクリート	2号発回均質室 ^{*1} (2号Qマス室含む)	火災区域	R-1							150 以上 (300 ^φ)		2号中間室 ^{*1} (搬入室含む)	火災区域	R-2							150 以上 (350 ^φ)		1号均質室 ^{*1}	火災区域	R-3							120 ^φ	PC板	2Aカスケード室 ^{*1}	火災区域	R-4							120 ^φ		2Bカスケード室 ^{*1}	火災区域	R-5							120 ^φ		2Cカスケード室 ^{*1}	火災区域	R-6				<p>・設工認申請書 (2021 濃計発第 56 号 2022 年 1 月 18 日) 【5 回申請】 抜粋</p> <p style="text-align: center;">加工施設</p> <p>※2 (製作工場で機能、性能検査を実施しない場合) (製作工場で機能、性能検査を実施する場合)</p> <p>製作工場</p> <p>濃縮・埋設事業所等</p> <p>図1 工事の手順と使用前事業者検査のフロー</p> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>【検査項目】 構造検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 20px;"> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> </div>
変更前						変更後																																																																																												
名称			種類	主要寸法 (mm)	材料	名称			種類	主要寸法 (mm)	材料																																																																																							
火災区域名称	区分	番号				火災区域名称	区分	番号																																																																																										
			壁	150 以上 (300 ^φ)	鉄筋コンクリート	2号発回均質室 ^{*1} (2号Qマス室含む)	火災区域	R-1																																																																																										
				150 以上 (300 ^φ)			2号中間室 ^{*1} (搬入室含む)	火災区域	R-2																																																																																									
				150 以上 (350 ^φ)			1号均質室 ^{*1}	火災区域	R-3																																																																																									
				120 ^φ	PC板	2Aカスケード室 ^{*1}	火災区域	R-4																																																																																										
				120 ^φ			2Bカスケード室 ^{*1}	火災区域	R-5																																																																																									
				120 ^φ			2Cカスケード室 ^{*1}	火災区域	R-6																																																																																									

設工認仕様表	検査項目																																													
<p>サンプル保管戸棚</p> <p>1.2 核燃料物質の検査設備</p> <p>a. ラック/ピット/棚</p> <table border="1" data-bbox="329 531 1299 1318"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>サンプル保管戸棚</td> <td rowspan="4">変更なし</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>—^{*6}</td> </tr> <tr> <td>容量</td> <td>kg-U/台</td> <td>約 4.5</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*3}</td> <td>—</td> <td>固体ウラン化合物</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—^{*7}</td> <td rowspan="5">変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>700^{*8}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>1800^{*8}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1950^{*8}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>筐体</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*9}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*4}</td> <td>台</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—^{*10}</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*6}</td> <td>—</td> <td>分析室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *6: 種別を必要としないため「—」とする。 *7: 分析室で取り扱う UF₆ サンプル等は総量として約 16 kg-U (サンプル保管戸棚での最大取扱ウラン量を約 4.5 kg-U) 以下に制限 (運用管理) することにより臨界管理を実施することから「—」とする。 *8: 公称値を示す。 *9: UF₆ を内包する機器ではなく、UF₆ を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS 規格番号は記載しない。 *10: 系統区別を必要としないため「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	サンプル保管戸棚	変更なし	種類 ^{*2}	—	— ^{*6}	容量	kg-U/台	約 4.5	流体等の種類 ^{*3}	—	固体ウラン化合物	臨界管理	—	— ^{*7}	変更なし	主要寸法	たて	mm	700 ^{*8}	横	mm	1800 ^{*8}	高さ	mm	1950 ^{*8}	主要材料	筐体	—	炭素鋼 ^{*9}	個数 ^{*4}	台	1	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	— ^{*10}	設置床 (室名称) ^{*6}	—	分析室	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 50 R4 令和 4 年 1 月 18 日【5 回申請】) 抜粋</p> <p>(a) 更新工事 (サンプル保管戸棚)</p>  <pre> graph TD A[既設設備] --> B[新設機器の搬入] B --> C[新設機器の設置] C --> D{検査} D --> E[既設機器の撤去※] </pre> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p> <p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> <p>※ サンプルウラン収納のため、新設機器の検査終了までの間、既設機器にてサンプルウランを収納する。</p> <p>補足図-8 核燃料物質の検査設備の工事フロー</p>
		変更前	変更後																																											
名称 ^{*1}	—	サンプル保管戸棚	変更なし																																											
種類 ^{*2}	—	— ^{*6}																																												
容量	kg-U/台	約 4.5																																												
流体等の種類 ^{*3}	—	固体ウラン化合物																																												
臨界管理	—	— ^{*7}	変更なし																																											
主要寸法	たて	mm		700 ^{*8}																																										
	横	mm		1800 ^{*8}																																										
	高さ	mm		1950 ^{*8}																																										
主要材料	筐体	—		炭素鋼 ^{*9}																																										
個数 ^{*4}	台	1																																												
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	— ^{*10}																																											
	設置床 (室名称) ^{*6}	—	分析室																																											

設工認仕様表				検査項目																																													
除染ハウス				・設工認申請書 (2021 濃計発第 56 号 2022 年 1 月 18 日) 【5 回申請】 抜粋																																													
<p>e. 核物質等取扱ボックス</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>除染ハウス</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>—^{*6}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td>開口部風速 (排気フード)^{*3}</td> <td>m/s</td> <td>0.5 以上</td> <td>—^{*11}</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>—</td> <td>—^{*7}</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>4000^{*8}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>7085^{*8}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>4150^{*8}</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>本体</td> <td>—</td> <td>炭素鋼^{*9}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*4}</td> <td>式</td> <td>1</td> <td>変更なし</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—^{*10}</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*5}</td> <td>—</td> <td>除染室</td> </tr> </tbody> </table>						変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	除染ハウス	変更なし	種類 ^{*2}	—	— ^{*6}	変更なし	開口部風速 (排気フード) ^{*3}	m/s	0.5 以上	— ^{*11}	臨界管理	—	— ^{*7}	変更なし	主要寸法	たて	mm	4000 ^{*8}	横	mm	7085 ^{*8}	高さ	mm	4150 ^{*8}	主要材料	本体	—	炭素鋼 ^{*9}	個数 ^{*4}	式	1	変更なし	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	— ^{*10}	設置床 (室名称) ^{*5}	—	除染室	<p>加工施設</p> <p>※2 (製作工場で機能、性能検査を実施しない場合) (製作工場で機能、性能検査を実施する場合)</p> <p>製作工場</p> <p>濃縮・埋設事業所等</p> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p>
		変更前	変更後																																														
名称 ^{*1}	—	除染ハウス	変更なし																																														
種類 ^{*2}	—	— ^{*6}	変更なし																																														
開口部風速 (排気フード) ^{*3}	m/s	0.5 以上	— ^{*11}																																														
臨界管理	—	— ^{*7}	変更なし																																														
主要寸法	たて	mm	4000 ^{*8}																																														
	横	mm	7085 ^{*8}																																														
	高さ	mm	4150 ^{*8}																																														
主要材料	本体	—	炭素鋼 ^{*9}																																														
個数 ^{*4}	式	1	変更なし																																														
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	— ^{*10}																																														
	設置床 (室名称) ^{*5}	—	除染室																																														
<p>注記</p> <p>*1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「性能」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *6: 種別を必要としないため「—」とする。 *7: 本機器は、UF₆を取り扱う機器ではなく、臨界管理の対象外であるため「—」とする。 *8: 公称値を示す。 *9: UF₆を内包する機器ではなく、UF₆を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 *10: 系統区別を必要としないため「—」とする。 *11: 除染ハウス内部の排気フードについては、これまでの機器点検等の実績を踏まえ、使用する用途がないこと及び今後も使用予定がないことから撤去する。</p>				<p>図1 工事の手順と使用前事業者検査のフロー</p>																																													

設工認仕様表		検査項目																																		
溢水防護堰（固定式） 1.6 溢水防護設備 a. 建物・構築物 (a) 防水区画構造物		・工事の方法に係る補足説明資料（濃縮個別 50 R4 令和 4 年 1 月 18 日【5 回申請】）抜粋																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td></td> <td>溢水防護堰（固定式）</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>固定式</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ</td> <td></td> <td>100 以上</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>堰本体</td> <td></td> <td>ステンレス鋼</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td></td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)</td> <td></td> <td>1号中間室, 2号中間室, 1号発生 回収室, 1号均質室, 2号発回均 質室, ホット予備品室, 付着ウラ ン回収廃棄物室</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td></td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が 必要な高さ</td> <td></td> <td>—*3</td> </tr> </tbody> </table>				変更前	変更後	名称	—		溢水防護堰（固定式）	種類	—		固定式	主要寸法	高さ		100 以上	主要材料	堰本体		ステンレス鋼	取付箇所	系統名 (ライン名)		—*1	設置床 (室名称)		1号中間室, 2号中間室, 1号発生 回収室, 1号均質室, 2号発回均 質室, ホット予備品室, 付着ウラ ン回収廃棄物室	溢水防護上の区画番号		—*2	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—*3	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(a) -1 設置工事 (遮断弁, 溢水防護堰, 被水防護板)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(a) -2 設置工事 (水が流出し易い扉)</p> </div> </div>	
		変更前	変更後																																	
名称	—		溢水防護堰（固定式）																																	
種類	—		固定式																																	
主要寸法	高さ		100 以上																																	
主要材料	堰本体		ステンレス鋼																																	
取付箇所	系統名 (ライン名)		—*1																																	
	設置床 (室名称)		1号中間室, 2号中間室, 1号発生 回収室, 1号均質室, 2号発回均 質室, ホット予備品室, 付着ウラ ン回収廃棄物室																																	
	溢水防護上の区画番号		—*2																																	
	溢水防護上の配慮が 必要な高さ		—*3																																	
<p>注記 *1: 系統区別を必要としないため「—」とする。 *2: 溢水防護上の区画番号を設定していないことから「—」とする。 *3: 溢水による火災の発生の可能性のある機器又はプラント監視に用いる機器ではないことから溢水防護上の配慮が必要な高さは「—」とする。</p>		<div style="display: flex; flex-direction: column; align-items: center;"> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 材料検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> </div> </div>																																		
<p>補足図-10 溢水防護設備の工事フロー</p>																																				

設工認仕様表		検査項目																																		
溢水防護堰（着脱式）		・工事の方法に係る補足説明資料（濃縮個別 50 R4 令和 4 年 1 月 18 日【5 回申請】）抜粋																																		
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td></td> <td>溢水防護堰（着脱式）</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>着脱式</td> </tr> <tr> <td>主要寸法</td> <td>高さ</td> <td></td> <td>100 以上</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>堰本体</td> <td>—</td> <td>アルミニウム合金</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">取付箇所</td> <td>系統名（ライン名）</td> <td>—</td> <td>—*1</td> </tr> <tr> <td>設置床（室名称）</td> <td>—</td> <td>更衣エリア、搬送通路、渡り廊下（中央操作棟—ウラン貯蔵・廃棄物建屋）</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の区画番号</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>溢水防護上の配慮が必要な高さ</td> <td>—</td> <td>—*3</td> </tr> </tbody> </table>				変更前	変更後	名称	—		溢水防護堰（着脱式）	種類	—		着脱式	主要寸法	高さ		100 以上	主要材料	堰本体	—	アルミニウム合金	取付箇所	系統名（ライン名）	—	—*1	設置床（室名称）	—	更衣エリア、搬送通路、渡り廊下（中央操作棟—ウラン貯蔵・廃棄物建屋）	溢水防護上の区画番号	—	—*2	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(a) -1 設置工事 (遮断弁、溢水防護堰、被水防護板)</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(a) -2 設置工事 (水が流出し易い扉)</p> </div> </div>	
		変更前	変更後																																	
名称	—		溢水防護堰（着脱式）																																	
種類	—		着脱式																																	
主要寸法	高さ		100 以上																																	
主要材料	堰本体	—	アルミニウム合金																																	
取付箇所	系統名（ライン名）	—	—*1																																	
	設置床（室名称）	—	更衣エリア、搬送通路、渡り廊下（中央操作棟—ウラン貯蔵・廃棄物建屋）																																	
	溢水防護上の区画番号	—	—*2																																	
	溢水防護上の配慮が必要な高さ	—	—*3																																	
<p>注記 *1：系統区別を必要としないため「—」とする。 *2：溢水防護上の区画番号を設定していないことから「—」とする。 *3：溢水による火災の発生の可能性のある機器又はプラント監視に用いる機器ではないことから溢水防護上の配慮が必要な高さは「—」とする。</p>		<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 状態確認検査運用要求（1号検査）</p> <p>【検査方法】 記録確認検査（運用手順が整備されていることの確認）</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 寸法検査（1号検査）</p> <p>【検査方法】 記録確認検査（調達管理記録の確認）</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 材料検査（1号検査）</p> <p>【検査方法】 記録確認検査（調達管理記録の確認）</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 基本設計方針検査（3号検査）</p> <p>【検査方法】 記録確認検査（仕様表記載事項ではないもの）</p> </div>																																		

補足図-10 溢水防護設備の工事フロー

設工認仕様表	検査項目																																								
<p>竜巻防護扉</p> <p>1.7 竜巻防護設備</p> <p>a. 建物・構築物</p> <p>(a) 飛来物防護設備</p> <table border="1" data-bbox="290 600 1219 1247"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称</td> <td>—</td> <td></td> <td>竜巻防護扉</td> </tr> <tr> <td>種類</td> <td>—</td> <td></td> <td>手動片開き式</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>218.3^{*1}</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>850^{*1}</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>1926^{*1}</td> </tr> <tr> <td>表側鋼板厚さ</td> <td>mm</td> <td>8.2 以上 (16^{*1})</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>表側鋼板</td> <td>—</td> <td>SUS304</td> </tr> <tr> <td>個数</td> <td>基</td> <td>—</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—^{*2}</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)</td> <td>—</td> <td>2号発回均質室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 系統区別を必要としないため「—」とする。</p>			変更前	変更後	名称	—		竜巻防護扉	種類	—		手動片開き式	主要寸法	たて	mm	218.3 ^{*1}	横	mm	850 ^{*1}	高さ	mm	1926 ^{*1}	表側鋼板厚さ	mm	8.2 以上 (16 ^{*1})	主要材料	表側鋼板	—	SUS304	個数	基	—	1	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	— ^{*2}	設置床 (室名称)	—	2号発回均質室	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 50 R4 令和4年1月18日【5回申請】) 抜粋</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div data-bbox="1804 489 2021 548" style="text-align: center;"> <p>(a) -1 設置工事 (竜巻防護扉)</p> <pre> graph TD A[新設機器の搬入] --> B[既設機器の撤去] B --> C[新設機器の設置] C --> D{検査} </pre> </div> <div data-bbox="2249 489 2451 548" style="text-align: center;"> <p>(a) -2 設置工事 (竜巻防護板 (A,B))</p> <pre> graph TD E[新設機器の搬入] --> F[新設機器の設置] F --> G{検査} </pre> </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p> <p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> <p>【検査項目】 材料検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> </div> <p style="text-align: center;">補足図-11 竜巻防護設備の工事フロー</p>
		変更前	変更後																																						
名称	—		竜巻防護扉																																						
種類	—		手動片開き式																																						
主要寸法	たて	mm	218.3 ^{*1}																																						
	横	mm	850 ^{*1}																																						
	高さ	mm	1926 ^{*1}																																						
	表側鋼板厚さ	mm	8.2 以上 (16 ^{*1})																																						
主要材料	表側鋼板	—	SUS304																																						
個数	基	—	1																																						
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	— ^{*2}																																						
	設置床 (室名称)	—	2号発回均質室																																						

設工認仕様表			検査項目																																									
竜巻防護板 (A,B)			・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 50 R4 令和 4 年 1 月 18 日【5 回申請】) 抜粋																																									
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="2">名称</td> <td>—</td> <td>竜巻防護板 (A, B)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">種類</td> <td>—</td> <td>防護板</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1888*1</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2200*1</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2625*1</td> </tr> <tr> <td>鋼板厚さ</td> <td>mm</td> <td>8.2 以上 (16*1)</td> </tr> <tr> <td colspan="2">主要材料</td> <td>—</td> <td>SS400</td> </tr> <tr> <td colspan="2">個数</td> <td>基</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>—*2</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)</td> <td>—</td> <td>予備室, 搬入室</td> </tr> </tbody> </table>					変更前	変更後	名称		—	竜巻防護板 (A, B)	種類		—	防護板	主要寸法	たて	mm	1888*1	横	mm	2200*1	高さ	mm	2625*1	鋼板厚さ	mm	8.2 以上 (16*1)	主要材料		—	SS400	個数		基	2	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—*2	設置床 (室名称)	—	予備室, 搬入室	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(a) -1 設置工事 (竜巻防護扉)</p> <pre> graph TD A[新設機器の搬入] --> B[既設機器の撤去] B --> C[新設機器の設置] C --> D{検査} </pre> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(a) -2 設置工事 (竜巻防護板 (A, B))</p> <pre> graph TD E[新設機器の搬入] --> F[新設機器の設置] F --> G{検査} </pre> </div> </div>	
		変更前	変更後																																									
名称		—	竜巻防護板 (A, B)																																									
種類		—	防護板																																									
主要寸法	たて	mm	1888*1																																									
	横	mm	2200*1																																									
	高さ	mm	2625*1																																									
	鋼板厚さ	mm	8.2 以上 (16*1)																																									
主要材料		—	SS400																																									
個数		基	2																																									
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	—*2																																									
	設置床 (室名称)	—	予備室, 搬入室																																									
<p>注記 *1: 公称値を示す。 *2: 系統区別を必要としないため「—」とする。</p>			<div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>【検査項目】 材料検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div style="border: 1px solid red; padding: 5px;"> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> </div>																																									
			<p>補足図-11 竜巻防護設備の工事フロー</p>																																									

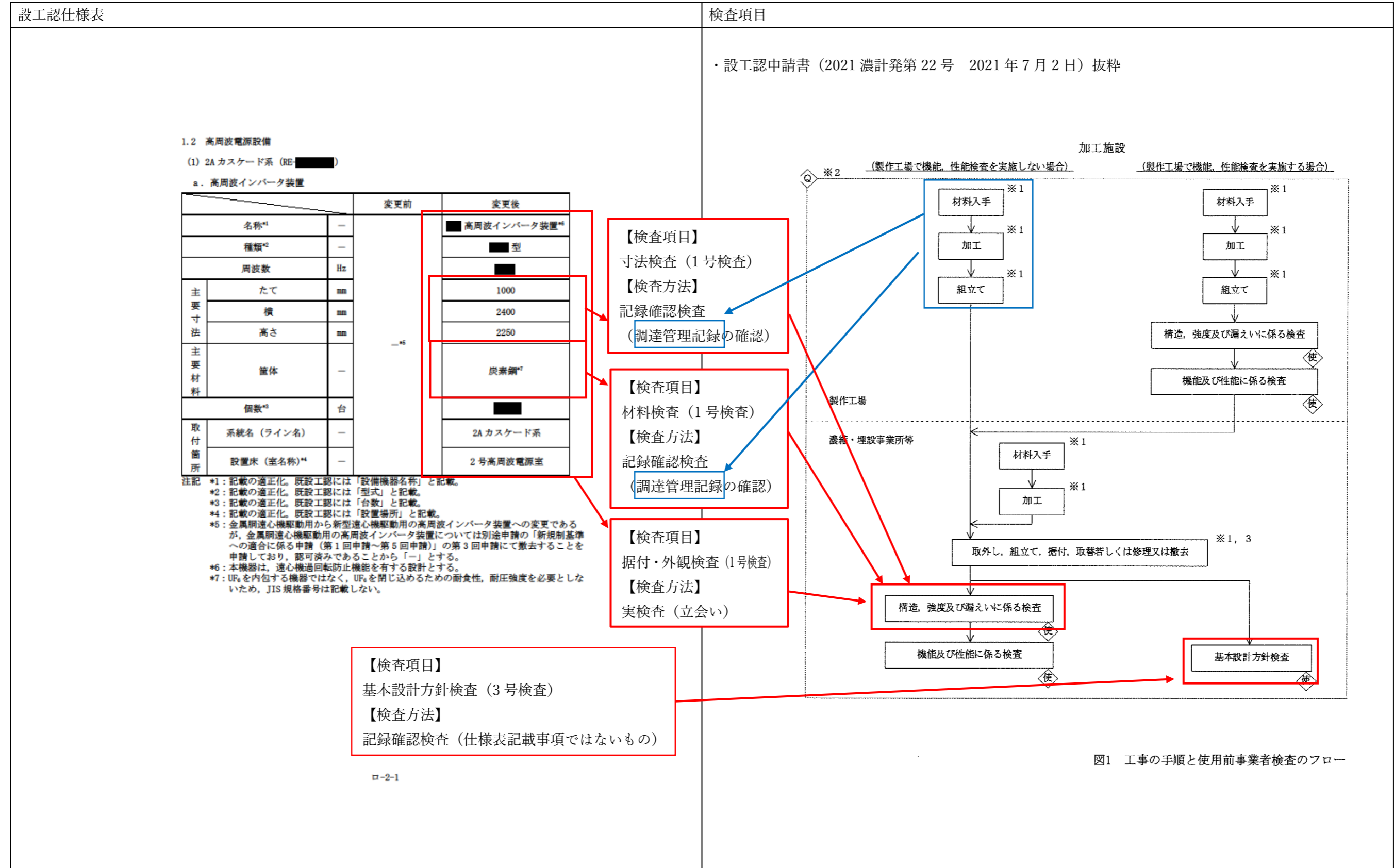
設工認申請書と検査項目および検査方法の関連 (1/7)

設工認仕様表	検査項目																																																																																					
<p>・設工認申請書 (2021 濃計発第 22 号 2021 年 7 月 2 日) 抜粋</p> <p>・様式-8「検査方法」欄抜粋</p> <p>1. 設計条件及び仕様</p> <p>1.1 カスケード設備</p> <p>(1) 2A カスケード系 (RE-)</p> <p>a. 主配管</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">名称*</th> <th rowspan="2">最高使用圧力 #2</th> <th rowspan="2">最高使用温度 #2</th> <th rowspan="2">媒体等の種類 #3</th> <th colspan="2">境界管理</th> <th rowspan="2">外径 #4</th> <th rowspan="2">厚さ #4</th> <th rowspan="2">主要材料</th> <th rowspan="2">名称*</th> <th rowspan="2">最高使用圧力 #2</th> <th rowspan="2">最高使用温度 #2</th> <th rowspan="2">媒体等の種類 #3</th> <th colspan="2">境界管理</th> <th rowspan="2">外径 #4</th> <th rowspan="2">厚さ #4</th> <th rowspan="2">主要材料</th> </tr> <tr> <th>目的</th> <th>制限値</th> <th>目的</th> <th>制限値</th> </tr> <tr> <th></th> <th>MPa</th> <th>℃</th> <th></th> <th>%</th> <th>%</th> <th></th> <th></th> <th></th> <th></th> <th>℃</th> <th></th> <th>%</th> <th>%</th> <th></th> <th></th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">2A カスケード系 (RE-)</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td>2A カスケード</td> <td rowspan="3">40</td> <td rowspan="3">960⁰</td> <td rowspan="3">気体</td> <td rowspan="3">5 以下</td> <td>上層:</td> <td>34.0</td> <td>3.0</td> <td rowspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>2A カスケード</td> <td>114.3</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>2A カスケード</td> <td>139.8</td> <td>3.4</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">2A カスケード系 (RE-)</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td rowspan="3">-</td> <td>2A カスケード</td> <td rowspan="3">40</td> <td rowspan="3">960⁰</td> <td rowspan="3">気体</td> <td rowspan="3">5 以下</td> <td>上層:</td> <td>34.0</td> <td>3.0</td> <td rowspan="3">-</td> </tr> <tr> <td>2A カスケード</td> <td>114.3</td> <td>3.0</td> </tr> <tr> <td>2A カスケード</td> <td>139.8</td> <td>3.4</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「材料・構造 (温度, 圧力)」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「主要寸法」と記載。 *5: 金属製遠心機の主配管から新型遠心機の主配管への変更であるが, 金属製遠心機の主配管については別途申請の「新規制基準への適合に係る申請 (第 1 回申請~第 5 回申請)」の第 3 回申請にて撤去することを申請しており, 認可済みであることから「-」とする。 *6: 圧力の表記は, 絶対圧力とする。なお, ゲージ圧力を示す場合は単位記号の後に G 又は Gauge を付し, ゲージ圧力であることを明確にする。以降の圧力の表記も同様とする。</p>	名称*	最高使用圧力 #2	最高使用温度 #2	媒体等の種類 #3	境界管理		外径 #4	厚さ #4	主要材料	名称*	最高使用圧力 #2	最高使用温度 #2	媒体等の種類 #3	境界管理		外径 #4	厚さ #4	主要材料	目的	制限値	目的	制限値		MPa	℃		%	%					℃		%	%				2A カスケード系 (RE-)	-	-	-	-	-	-	-	2A カスケード	40	960 ⁰	気体	5 以下	上層:	34.0	3.0	-	2A カスケード	114.3	3.0	2A カスケード	139.8	3.4	2A カスケード系 (RE-)	-	-	-	-	-	-	-	2A カスケード	40	960 ⁰	気体	5 以下	上層:	34.0	3.0	-	2A カスケード	114.3	3.0	2A カスケード	139.8	3.4	<p>・工事の方法に係る補足説明資料 (濃縮個別 23 R4 令和 3 年 6 月 29 日) 抜粋</p> <p style="text-align: center;">遠心分離機 (新型遠心機) の製作、 据付 (主配管、配管架構含む)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>(遠心分離機 (RE-2A 後半))</p> <p>加工</p> <p>↓</p> <p>検査</p> <p>↓</p> <p>組立</p> <p>↓</p> <p>検査</p> <p>↓</p> <p>搬入</p> <p>↓</p> <p>据付</p> <p>↓</p> <p>検査</p> </div> <div style="text-align: center;"> <p>(主配管 (配管架構含む) (RE-2A 後半))</p> <p>加工・組立</p> <p>↓</p> <p>検査</p> <p>↓</p> <p>搬入</p> <p>↓</p> <p>据付</p> <p>↓</p> <p>検査</p> </div> </div> <p style="text-align: right;">図-7 カスケード設備 (新型遠心機への更新等) の工事フロー</p>
名称*					最高使用圧力 #2	最高使用温度 #2								媒体等の種類 #3	境界管理				外径 #4	厚さ #4	主要材料	名称*	最高使用圧力 #2	最高使用温度 #2	媒体等の種類 #3	境界管理		外径 #4	厚さ #4	主要材料																																																								
	目的	制限値	目的	制限値																																																																																		
	MPa	℃		%	%					℃		%	%																																																																									
2A カスケード系 (RE-)	-	-	-	-	-	-	-	2A カスケード	40	960 ⁰	気体	5 以下	上層:	34.0	3.0	-																																																																						
								2A カスケード					114.3	3.0																																																																								
								2A カスケード					139.8	3.4																																																																								
2A カスケード系 (RE-)	-	-	-	-	-	-	-	2A カスケード	40	960 ⁰	気体	5 以下	上層:	34.0	3.0	-																																																																						
								2A カスケード					114.3	3.0																																																																								
								2A カスケード					139.8	3.4																																																																								
<p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p>	<p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)</p>																																																																																					
<p>【検査項目】 材料検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p>	<p>【検査項目】 状態確認検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (保安規定等該当文書により確認する)</p>																																																																																					
<p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p>	<p>7/7 参照</p>																																																																																					

設工認申請書と検査項目および検査方法の関連 (2/7)

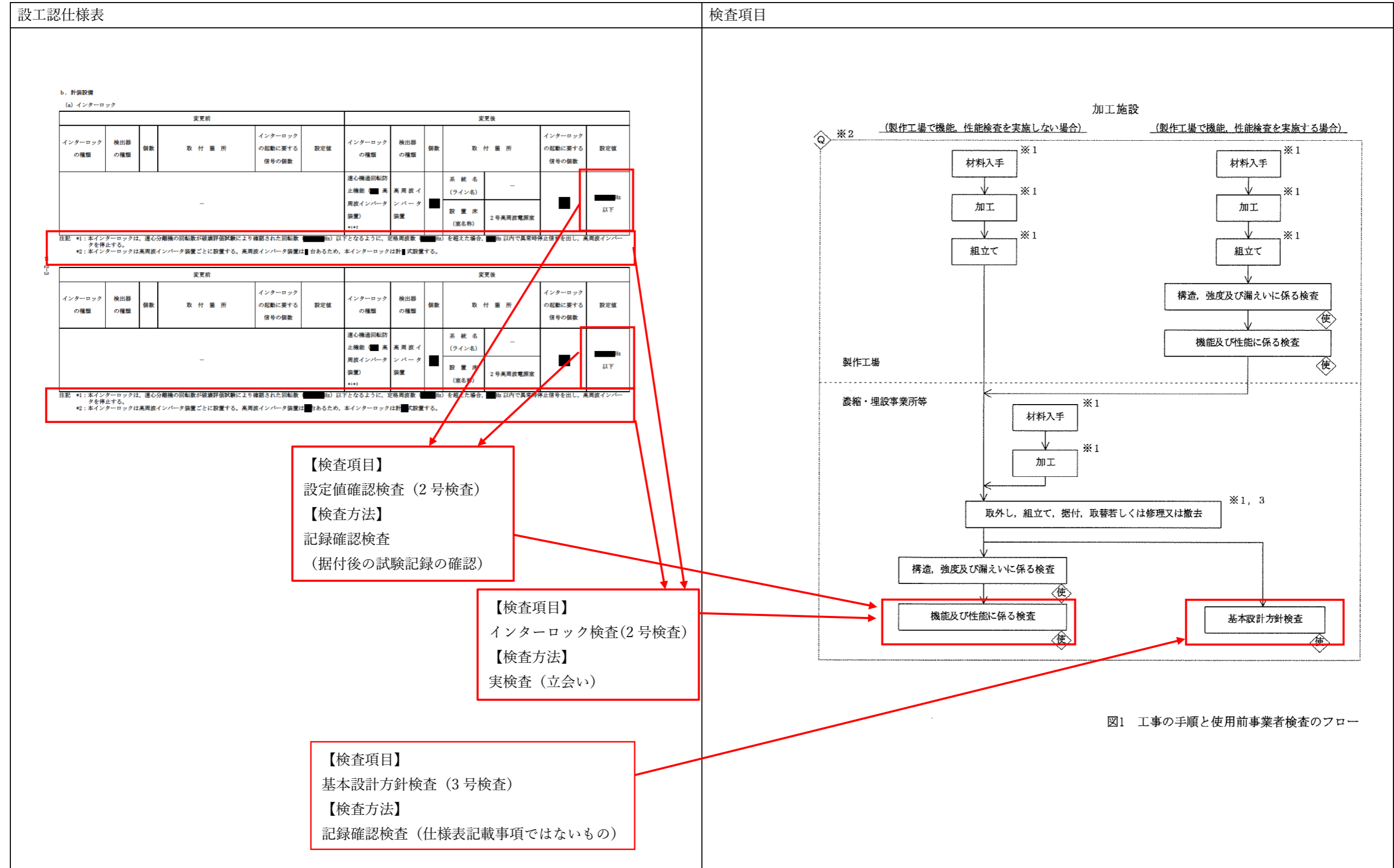
設工認仕様表		検査項目																																																																																							
<p>b. 遠心分離機</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>遠心分離機 (RE-XXXXXXXXXX)</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>最高使用圧力^{*3}</td> <td>hPa</td> <td>—</td> <td>上限: 960 下限: 0</td> </tr> <tr> <td>最高使用温度^{*3}</td> <td>℃</td> <td>—</td> <td>40</td> </tr> <tr> <td>流体等の種類^{*4}</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>気体 UF₆</td> </tr> <tr> <td>臨界管理</td> <td>核的制限値</td> <td>濃縮度</td> <td>%</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>5 以下</td> </tr> <tr> <td rowspan="7">主要寸法</td> <td rowspan="2">上フランジ</td> <td>肉厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>胴内径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">ケーシング</td> <td>高さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>肉厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>肉厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下端板</td> <td>外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>外周部肉厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">下フランジ</td> <td>肉厚</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">ブロック配管</td> <td>外径</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td>厚さ</td> <td>mm</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">主要材料</td> <td>上フランジ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ケーシング</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>下端板</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>下フランジ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ブロック配管</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">取付箇所</td> <td>個数^{*5}</td> <td>機</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>2A カスケード系</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*6}</td> <td>—</td> <td>2A カスケード室</td> </tr> </tbody> </table>				変更前	変更後	名称 ^{*1}	—	—	遠心分離機 (RE- XXXXXXXXXX)	種類 ^{*2}	—	—	—	最高使用圧力 ^{*3}	hPa	—	上限: 960 下限: 0	最高使用温度 ^{*3}	℃	—	40	流体等の種類 ^{*4}	—	—	気体 UF ₆	臨界管理	核的制限値	濃縮度	%				5 以下	主要寸法	上フランジ	肉厚	mm	胴内径	mm	ケーシング	高さ	mm	肉厚	mm	肉厚	mm	下端板	外径	mm	外周部肉厚	mm	下フランジ	肉厚	mm	外径	mm	ブロック配管	外径	mm	厚さ	mm	主要材料	上フランジ	—	—	ケーシング	—	—	下端板	—	—	下フランジ	—	—	ブロック配管	—	—	取付箇所	個数 ^{*5}	機	—	系統名 (ライン名)	—	2A カスケード系	設置床 (室名称) ^{*6}	—	2A カスケード室	<p>遠心分離機 (新型遠心機) の製作、据付 (主配管、配管架構含む)</p>	
		変更前	変更後																																																																																						
名称 ^{*1}	—	—	遠心分離機 (RE- XXXXXXXXXX)																																																																																						
種類 ^{*2}	—	—	—																																																																																						
最高使用圧力 ^{*3}	hPa	—	上限: 960 下限: 0																																																																																						
最高使用温度 ^{*3}	℃	—	40																																																																																						
流体等の種類 ^{*4}	—	—	気体 UF ₆																																																																																						
臨界管理	核的制限値	濃縮度	%																																																																																						
			5 以下																																																																																						
主要寸法	上フランジ	肉厚	mm																																																																																						
		胴内径	mm																																																																																						
	ケーシング	高さ	mm																																																																																						
		肉厚	mm																																																																																						
		肉厚	mm																																																																																						
	下端板	外径	mm																																																																																						
		外周部肉厚	mm																																																																																						
下フランジ	肉厚	mm																																																																																							
	外径	mm																																																																																							
ブロック配管	外径	mm																																																																																							
	厚さ	mm																																																																																							
主要材料	上フランジ	—	—																																																																																						
	ケーシング	—	—																																																																																						
	下端板	—	—																																																																																						
	下フランジ	—	—																																																																																						
	ブロック配管	—	—																																																																																						
取付箇所	個数 ^{*5}	機	—																																																																																						
	系統名 (ライン名)	—	2A カスケード系																																																																																						
	設置床 (室名称) ^{*6}	—	2A カスケード室																																																																																						
<p>注記 *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「材料・構造 (温度、圧力)」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「核燃料物質の状態」と記載。 *5: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。</p>		<p>図-7 カスケード設備 (新型遠心機への更新等) の工事フロー</p>																																																																																							
<p>【検査項目】 状態確認検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (保安規定等該当文書により確認する)</p>		<p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの) 7/7 参照</p>																																																																																							
<p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p>		<p>【検査項目】 材料検査 (1号検査) 【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p>																																																																																							
<p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p>		<p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査) 【検査方法】 実検査 (立会い)</p>																																																																																							

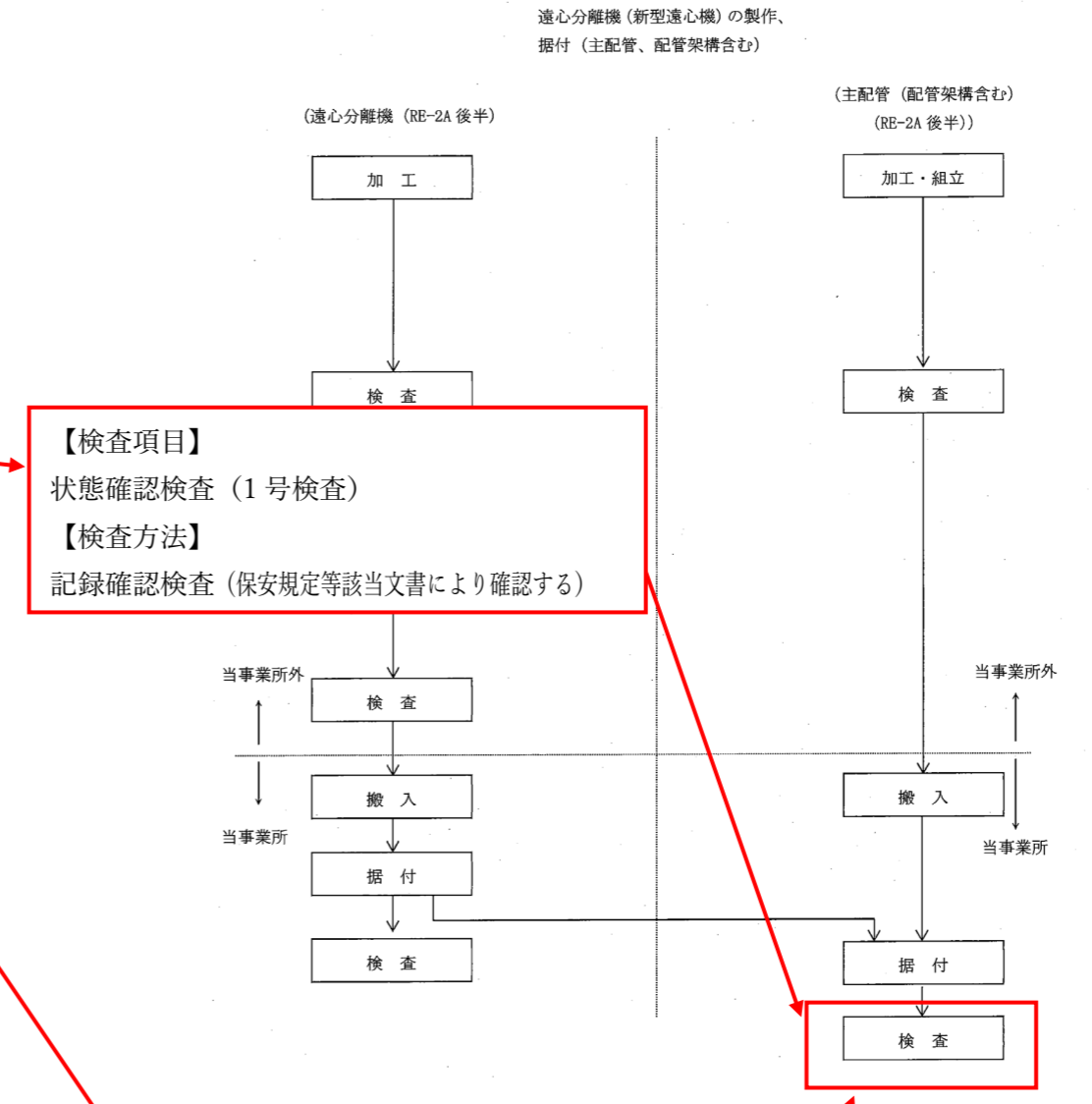
設工認仕様表	検査項目																																																																																														
<div style="border: 1px solid red; padding: 10px;"> <p style="text-align: right;">別紙 1</p> <p style="text-align: center;">アルミニウム合金 () の機械的性質及び化学成分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材料名</th> <th colspan="3">機械的性質</th> </tr> <tr> <th>引張強さ (N/mm²)</th> <th>耐力 (N/mm²)</th> <th>伸び (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム合金 ()</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材料名</th> <th colspan="10">化学成分 (wt%)</th> </tr> <tr> <th>Si</th> <th>Fe</th> <th>Cu</th> <th>Mn</th> <th>Mg</th> <th>Cr</th> <th>Zn</th> <th>Ti</th> <th colspan="3">その他 (個々)</th> <th rowspan="2">Al</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム合金 ()</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">別紙 1</p> <p style="text-align: center;">アルミニウム合金 () の機械的性質及び化学成分</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材料名</th> <th colspan="3">機械的性質</th> </tr> <tr> <th>引張強さ (N/mm²)</th> <th>耐力 (N/mm²)</th> <th>伸び (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム合金 ()</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">材料名</th> <th colspan="10">化学成分 (wt%)</th> </tr> <tr> <th>Si</th> <th>Fe</th> <th>Cu</th> <th>Mn</th> <th>Mg</th> <th>Cr</th> <th>Zn</th> <th>Ti</th> <th colspan="3">その他 (個々)</th> <th rowspan="2">Al</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>アルミニウム合金 ()</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> <td style="text-align: center;">■</td> </tr> </tbody> </table> </div>	材料名	機械的性質			引張強さ (N/mm ²)	耐力 (N/mm ²)	伸び (%)	アルミニウム合金 ()	■	■	■	材料名	化学成分 (wt%)										Si	Fe	Cu	Mn	Mg	Cr	Zn	Ti	その他 (個々)			Al	アルミニウム合金 ()	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	材料名	機械的性質			引張強さ (N/mm ²)	耐力 (N/mm ²)	伸び (%)	アルミニウム合金 ()	■	■	■	材料名	化学成分 (wt%)										Si	Fe	Cu	Mn	Mg	Cr	Zn	Ti	その他 (個々)			Al	アルミニウム合金 ()	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	<div style="border: 1px solid red; padding: 10px; margin-top: 100px;"> <p>【検査項目】 材料検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div>
材料名		機械的性質																																																																																													
	引張強さ (N/mm ²)	耐力 (N/mm ²)	伸び (%)																																																																																												
アルミニウム合金 ()	■	■	■																																																																																												
材料名	化学成分 (wt%)																																																																																														
	Si	Fe	Cu	Mn	Mg	Cr	Zn	Ti	その他 (個々)			Al																																																																																			
アルミニウム合金 ()	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■																																																																																		
材料名	機械的性質																																																																																														
	引張強さ (N/mm ²)	耐力 (N/mm ²)	伸び (%)																																																																																												
アルミニウム合金 ()	■	■	■																																																																																												
材料名	化学成分 (wt%)																																																																																														
	Si	Fe	Cu	Mn	Mg	Cr	Zn	Ti	その他 (個々)			Al																																																																																			
アルミニウム合金 ()	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■		■																																																																																		



設工認仕様表	検査項目																																									
<p>1.2 高周波電源設備</p> <p>(1) 2A カスケード系 (RE-XXXXXXXXXX)</p> <p>a. 高周波インバータ装置</p> <table border="1" data-bbox="516 621 1270 1142"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>変更前</th> <th>変更後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>名称^{*1}</td> <td>—</td> <td></td> <td>■ 高周波インバータ装置^{*6}</td> </tr> <tr> <td>種類^{*2}</td> <td>—</td> <td></td> <td>■ 型</td> </tr> <tr> <td>周波数</td> <td>Hz</td> <td></td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">主要寸法</td> <td>たて</td> <td>mm</td> <td>1000</td> </tr> <tr> <td>横</td> <td>mm</td> <td>2400</td> </tr> <tr> <td>高さ</td> <td>mm</td> <td>2250</td> </tr> <tr> <td>主要材料</td> <td>—</td> <td>—^{*5}</td> <td>炭素鋼^{*7}</td> </tr> <tr> <td>個数^{*3}</td> <td>台</td> <td></td> <td>■</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">取付箇所</td> <td>系統名 (ライン名)</td> <td>—</td> <td>2A カスケード系</td> </tr> <tr> <td>設置床 (室名称)^{*4}</td> <td>—</td> <td>2号高周波電源室</td> </tr> </tbody> </table> <p>注記</p> <ul style="list-style-type: none"> *1: 記載の適正化。既設工認には「設備機器名称」と記載。 *2: 記載の適正化。既設工認には「型式」と記載。 *3: 記載の適正化。既設工認には「台数」と記載。 *4: 記載の適正化。既設工認には「設置場所」と記載。 *5: 金属鋼連心機駆動用から新型連心機駆動用の高周波インバータ装置への変更であるが、金属鋼連心機駆動用の高周波インバータ装置については別途申請の「新規制基準への適合に係る申請 (第1回申請～第5回申請)」の第3回申請にて撤去することを申請しており、認可済みであることから「—」とする。 *6: 本機器は、連心機過回転防止機能を有する設計とする。 *7: UF₀を内包する機器ではなく、UF₀を閉じ込めるための耐食性、耐圧強度を必要としないため、JIS規格番号は記載しない。 			変更前	変更後	名称 ^{*1}	—		■ 高周波インバータ装置 ^{*6}	種類 ^{*2}	—		■ 型	周波数	Hz		■	主要寸法	たて	mm	1000	横	mm	2400	高さ	mm	2250	主要材料	—	— ^{*5}	炭素鋼 ^{*7}	個数 ^{*3}	台		■	取付箇所	系統名 (ライン名)	—	2A カスケード系	設置床 (室名称) ^{*4}	—	2号高周波電源室	<p>前ページに同じ</p> <div data-bbox="1299 674 1626 919" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 100px;"> <p>【検査項目】 寸法検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div data-bbox="1299 947 1626 1192" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【検査項目】 材料検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (調達管理記録の確認)</p> </div> <div data-bbox="1299 1220 1626 1409" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【検査項目】 据付・外観検査 (1号検査)</p> <p>【検査方法】 実検査 (立会い)</p> </div> <div data-bbox="854 1436 1436 1625" style="border: 1px solid red; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【検査項目】 基本設計方針検査 (3号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査 (仕様表記載事項ではないもの)</p> </div> <p style="text-align: center; margin-top: 20px;">ロ-2-1</p>
		変更前	変更後																																							
名称 ^{*1}	—		■ 高周波インバータ装置 ^{*6}																																							
種類 ^{*2}	—		■ 型																																							
周波数	Hz		■																																							
主要寸法	たて	mm	1000																																							
	横	mm	2400																																							
	高さ	mm	2250																																							
主要材料	—	— ^{*5}	炭素鋼 ^{*7}																																							
個数 ^{*3}	台		■																																							
取付箇所	系統名 (ライン名)	—	2A カスケード系																																							
	設置床 (室名称) ^{*4}	—	2号高周波電源室																																							

設工認申請書と検査項目および検査方法の関連 (6/7)



設工認仕様表	検査項目
<p>遠心分離機 様式-8 8条外部衝撃 項目番号 15</p> <p>三 変更に係る加工施設の区分並びに設計及び工事の方法</p> <p>【申請範囲】(変更に係るものに限る。)</p> <p>I 施設共通 I-1 基本設計方針 第1章 共通項目</p> <p>3.3.2.2.3 竜巻防護設計</p> <p>(2) 設備又は運用により防護する施設</p> <p>設計上考慮する竜巻の影響により建屋が損傷し、防護できない可能性のある施設は、設計荷重による影響に対して安全機能を損なわない設計とすることを基本とする。</p> <p>a. 2号カスケード棟のカスケード設備内のUF₆は、竜巻の襲来が予想される場合には、2号発回均質棟のケミカルトラップに排気回収する。</p>	<p>・工事の方法に係る補足説明資料(濃縮個別 23 R4 令和3年6月29日)抜粋</p> <p>遠心分離機(新型遠心機)の製作、据付(主配管、配管架構含む)</p>  <p>【検査項目】 状態確認検査(1号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査(保安規定等該当文書により確認する)</p>
<p>遠心分離機 様式-8 15条材料および構造 項目番号 5</p> <p>三 変更に係る加工施設の区分並びに設計及び工事の方法</p> <p>【申請範囲】(変更に係るものに限る。)</p> <p>I 施設共通 I-1 基本設計方針 第1章 共通項目</p> <p>8.2.4 耐圧試験等</p> <p>本施設の容器及び管のうち、本施設の安全性を確保する上で重要なものは、適切な耐圧試験又は漏えい試験を行ったとき、これに耐え、かつ、著しい漏えいがない設計とする。</p>	<p>【検査項目】 基本設計方針検査(3号検査)</p> <p>【検査方法】 記録確認検査(仕様表記載事項ではないもの)</p>
<p>遠心分離機 様式-8 15条材料および構造 項目番号 2</p> <p>(3) 加工施設の技術基準への適合性に関する説明書</p> <p>IV 強度に関する説明書</p> <p>3. 強度設計</p> <p>3.1 外圧に対する強度設計</p> <p>遠心分離機及び主要配管は、使用条件を踏まえ、UF₆等の取り扱う物質に対して耐腐食性を有する材料を使用するとともに、発生する応力に対して必要な強度を有する設計とする。</p>	<p>図-7 カスケード設備(新型遠心機への更新等)の工事フロー</p>